

# 誰でもできる 作曲ソフト

## 取り扱い説明書

シリアルナンバーは大切に保管してください。

IRT0327

※ソフトインストール時や最新版アップデートの際に必要となります。

製品ご利用の前に必ずお読みください。  
この取り扱い説明書は大切に保管してください。  
※本書及びシリアルナンバーを再発行することはできません。

**IRT**<sup>III</sup>  
software

# 目次

動作環境・その他	2
インストール方法とアンインストール方法	3~5
起動方法	6

## 画面・各部の説明

メイン画面	7~32
音符入力画面	33~37

## 作曲してみる

簡単な曲を作曲する	38~50
自動作曲を使って作曲する	51~60

## その他の機能・操作説明

コードの入力をする	61~62
小節の挿入と削除	63~64
メロディーのコピーと貼り付け	65
自動コード	66
サンプルコード進行を使って作曲する	67~68
音色などの設定をする	69~75
ステレオの調節で音の出る方向を設定する	76~79
三連符を作成する	80~85
ドラムパターンを編集する	86~89
パワードラムを作成する	90~94
パワーベースを作成する	95~99
歌詞を入力する	100~101
声の調整をする	102
クリスタルコードを作成する	103~104
「楽器」チャンネルを使う	105~107
連続した小節の音色を変更する	108~109
コードを作成する	110~111
ディストーションを使用する	112~113
楽譜を画像として保存する	114

Q&A	115~118
ユーザーサポート	裏表紙

# 動作環境

- 対応OS：Windows XP / Vista / 7 ※Mac OSには対応していません。
- CPU：1.0GHz Pentiumまたは同等クラスのプロセッサ以上
- メモリ：512MB以上必須1GB推奨（Windows Vista、7の場合は1GB以上必須）
- ディスプレイ：1280×1024以上の解像度で色深度32bit True Color以上の表示をサポートしている環境
- CD-ROM：倍速以上
- ハードディスク：1GB以上の空き容量（インストール時）別途データを保存するための空き容量が必要です。
- 対応ファイル形式：保存形式：MIDI / WAVE  
画像保存：BMP
- その他：※本ソフトの最新情報の確認、アップデートを行う際にインターネット接続環境が必要です。
- OSについて
  - ※上記OSが正常に機能し、OSの最低動作環境を満たしていることが前提です。
  - ※日本語版32ビットOSのみの対応です。64ビットでは、WOW64(32ビット互換モード)で動作します。
  - 各種Server OS等には対応していません。
  - ※最新のサービスパック(SP)及び各種パッチが適用されている環境が前提です。
  - ※管理者権限を持ったユーザーでお使いください。
  - ※マイクロソフトのサポート期間が終了したOSでの動作は保証いたしません。

# その他

- ご注意
  - ※激安革命シリーズや他のソフトとの互換性はありません。
  - ※パソコン環境によっては、パソコンの動作に遅延等が見られる場合もありますのでご注意ください。
  - ※歌詞の入力はひらがな文字のみとなります。カタカナ、漢字、アルファベット等は使用できません。
  - ※MIDI / WAVE / BMP以外の形式で保存はできません。
  - ※全てのファイルの入力、出力を保証するものではありません。
  - ※著作権を遵守してご利用ください。
  - ※メロディーを作成するには先にコードの作成が必須となります。  
メロディーだけを作成することはできません。
  - ※1小節に複数のコード作成や小節ごとに異なるコード数を設定することはできません。
- サポートについて
  - ※弊社ではソフトの動作関係のみのサポートとさせていただきます。  
専門知識等に関してのご質問・ご相談は一切お答えできません。  
また、製品の仕様やパッケージ、ユーザーサポートなどすべてのサービス等は  
予告無く変更、または終了することがあります。予めご了承ください。
  - ※パソコン本体や各種ハードウェアについてのお問い合わせやサポートにつきましては、  
各メーカーに直接お問い合わせください。
- その他
  - ※本ソフトを著作者の許可無く賃貸業等の営利目的で使用することを禁止します。  
改造、リバースエンジニアリングすることを禁止します。
  - ※本ソフトを複数のパソコン上で使用するには台数分のソフトを必要とします。
  - ※本ソフトを運用された結果の影響につきましては、当社は一切の責任を負いかねます。  
また、本ソフトに瑕疵が認められる場合以外の返品はお受け致しかねますので  
予めご了承ください。
  - ※著作者の許諾無しに、画像・イラスト・文章等の内容全て、  
もしくは一部を無断で改変・頒布・送信・転用・転載等は法律で禁止されております。
- 商標
  - ※Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows 7は、  
米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録標または商標です。
  - ※Pentium はアメリカ合衆国および他の国におけるIntel Corporationの登録商標または商標です。
  - ※Mac OSは米国および他国のApple Inc.の登録商標または商標です。
  - ※その他記載されている会社名・団体名及び商品名などは、登録商標または商標です。
  - ※本製品は、株式会社アイアルティーのオリジナル製品です。

# インストール・アンインストール方法

## インストール方法

お使いのパソコンに『誰でもできる作曲ソフト』をインストールします。

本ソフトをインストールする前に、次の項目をご確認ください。

### ○ハードディスクの空き容量

ハードディスクの空き容量が1GB以上必要（左記以外に作成するデータ用の空き容量も必要）です。

### ○管理者権限について

インストールするパソコンの管理者権限を持っているユーザーがインストールを行ってください。

### ○アプリケーションソフトの停止

インストールする前にウイルス対策ソフトなどの常駐ソフトや他のアプリケーションを停止してください。

※Windows OSやお使いのパソコンそのものが不安定な場合も、正常にインストールが行われない場合があります。

## 1 本ソフトのCD-ROMをCD-ROMドライブに入れてください。

CDが認識されましたら、自動でセットアップが始まります。  
パソコンの設定によっては自動でセットアップが始まらない場合があります。  
その場合は、[コンピューター※]→[CDまたはDVDドライブ]→[SETUP.EXE]をダブルクリックしてください。

※Windows XPの場合は[マイコンピュータ]

Windows Vistaの場合は[コンピュータ]



## 2 使用許諾契約の内容を確認してください。

使用許諾契約書の内容を確認し、**使用許諾契約の条項に同意します**をクリックして選択した後、**次へ** ボタンをクリックしてください。



## 3 インストール先のフォルダーを確認してください。

この画面からインストール先を選択できます。  
インストール先を変更しない場合は **次へ** ボタンをクリック、インストール先を変更する場合は **変更** ボタンをクリックしてください。  
※通常は、インストール先を変更しなくても結構です。





# インストール・アンインストール方法

## 4 設定の内容を確認してください。

確認用の画面が表示されます。  
よろしければ **インストール** ボタンをクリックしてください。

インストールが始まります。




## 5 インストール完了！


インストールが正常に終了すると右のような画面が表示されますので **完了** ボタンをクリックしてください。



## アンインストール方法

お使いのパソコンから『誰でもできる作曲ソフト』をアンインストール（削除）します。

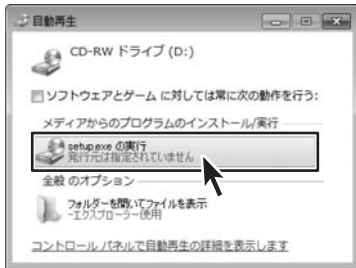
本ソフトを完全に終了して  ボタン→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」で一覧表示されるプログラムの中から「誰でもできる作曲ソフト」を選択して「アンインストール」をクリックすると、確認メッセージがでますので、**はい** ボタンをクリックするとアンインストールが実行されます。

※Windows OSがVistaの場合、 ボタン→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストールと変更」から、アンインストールを行ってください。

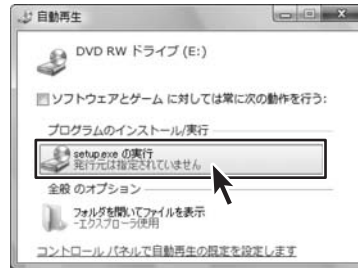
※Windows OSがXPの場合、「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」から、アンインストールを行ってください。

# インストール・アンインストール方法

インストール中、またはアンインストール中に下のような画面が表示された場合  
次の手順で作業を続けてください。



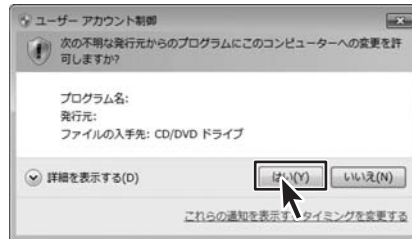
Windows Vistaで  
[自動再生]画面が表示された場合  
[setup.exeの実行]をクリックしてください。



Windows 7で  
[自動再生]画面が表示された場合  
[setup.exeの実行]をクリックしてください。



Windows Vistaで  
[ユーザーアカウント制御]画面が表示された場合  
[許可]をクリックしてください。





Windows 7で[ユーザーアカウント制御]画面が  
表示された場合  
[はい]をクリックしてください。

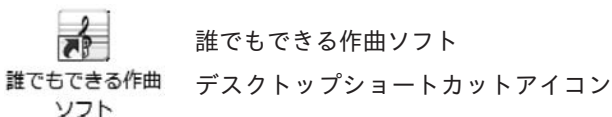
# 起動方法

より良い環境でソフトを使用していただくために、**IRTホームページ (<http://irtnet.jp/>)** をご確認ください、アップデートを行うことをおすすめいたします。アップデートはソフト上で発生している問題等の修正や、より使いやすく改良が行われている場合があります。



デスクトップのショートカットアイコンをダブルクリックするか、デスクトップ左下の  ボタン (Windows Vistaの場合は  ボタン、Windows XPの場合は[スタート]ボタン) をクリックして「すべてのプログラム」→「IRT」→「誰でもできる作曲ソフト」→「誰でもできる作曲ソフト」をクリックしますと本ソフトが起動します。

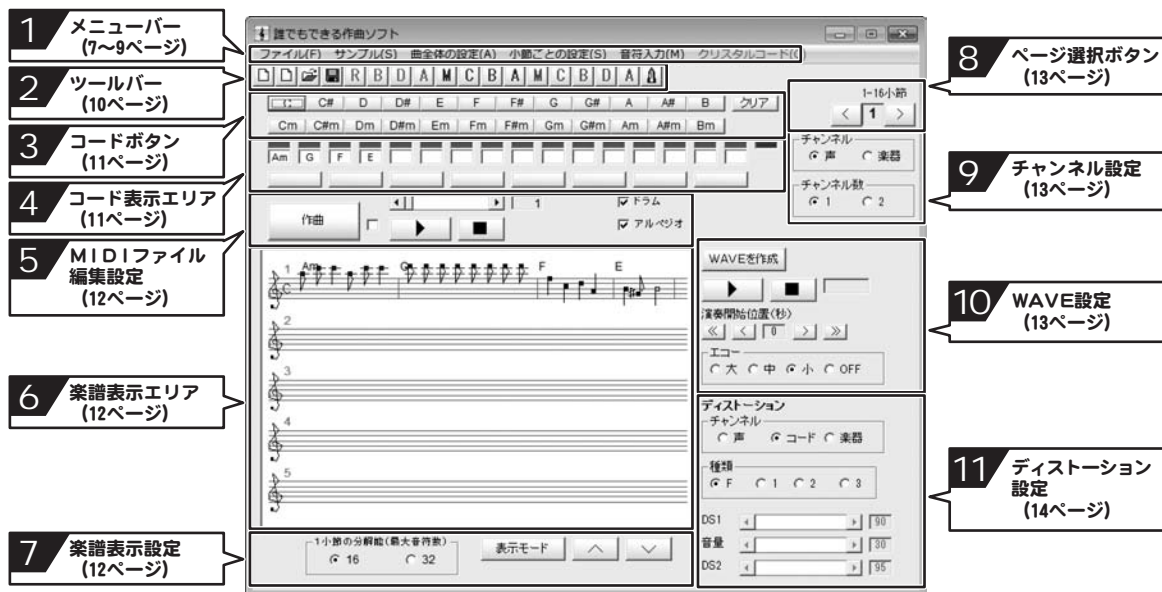
本ソフトをインストールすると、デスクトップ上に「誰でもできる作曲ソフト」のショートカットアイコンが作成されます。



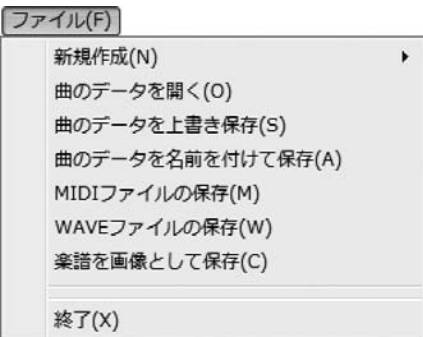
# 画面・各部の説明

「誰でもできる作曲ソフト」を起動(方法は6ページを参照)すると下のようなメイン画面が表示されます。

## メイン画面



## 1 メニューバー



[ファイル]メニュー

### 新規作成

新しい曲を作るときにクリックします。

▶をクリックして、3拍子の曲を作るか4拍子の曲を作るかを選択します。

### 曲のデータを開く

保存したファイルを開きます。

### 曲のデータを上書き保存

名前を付けて保存している曲を上書きします。

### 曲のデータを名前を付けて保存

作曲した曲を名前を付けて保存します。(保存形式: dmu)

### MIDIファイルの保存

MIDIファイルを保存します。(保存形式: mid)

### WAVEファイルの保存

WAVEファイルを保存します。(保存形式: wav)

### 楽譜を画像として保存

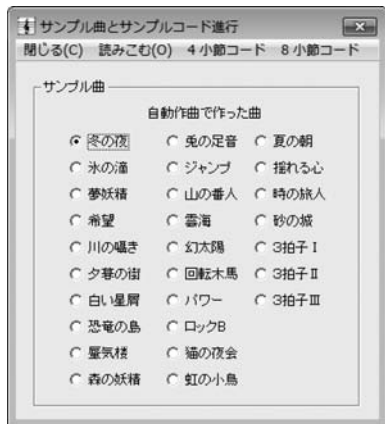
作曲した曲を画像として保存します。(保存形式: BMP)

### 終了

ソフトを終了します。

# 画面・各部の説明

サンプルメニューをクリックすると、サンプル曲とサンプルコード進行画面が表示されます。



サンプル曲とサンプルコード進行画面



[曲全体の設定]メニュー

## 閉じる

画面を閉じます。

## 読み込む

サンプル曲をメイン画面に読み込みます。

## 4小節コード

4小節コードのサンプルコードを作成します。

## 8小節コード

8小節コードのサンプルコードを作成します。

## サンプル曲

収録されたサンプル曲、27曲をリスト表示します。

一曲選択して読み込むをクリックすると、メイン画面に選択したサンプル曲が読み込まれます。

**リズム** リズムパターン画面を表示します。(14ページを参照。)

**ベース** ベースパターン画面を表示します。(15、16ページを参照。)

**ドラム** ドラムパターン画面を表示します。(17、18ページを参照。)

**アルペジオ** アルペジオパターン画面を表示します。(19ページを参照。)

**テンポ** テンポ画面を表示します。(22ページを参照。)

## 音色

**メロディー** メロディーの音色画面を表示します。(19ページを参照。)

**コード** コードの音色画面を表示します。(21ページを参照。)

**ベース** ベースの音色画面を表示します。(22ページを参照。)

**アルペジオ** アルペジオの音色画面を表示します。(22ページを参照。)

## 音量

**メロディー** メロディーの音量画面を表示します。(19ページを参照。)

**コード** コードの音量画面を表示します。(21ページを参照。)

**ベース** ベースの音量画面を表示します。(22ページを参照。)

**ドラム** ドラムの音量画面を表示します。(22ページを参照。)

**アルペジオ** アルペジオの音量画面を表示します。(22ページを参照。)

## ステレオ

**メロディー** メロディーのステレオ画面を表示します。(23ページを参照。)

**コード** コードのステレオ画面を表示します。(23ページを参照。)

**ベース** ベースのステレオ画面を表示します。(23ページを参照。)

**ドラム** ドラムのステレオ画面を表示します。(24ページを参照。)

**アルペジオ** アルペジオのステレオ画面を表示します。(24ページを参照。)

## 調を変える

**半音上げる** 表示された楽譜の音階を半音上げます。

**半音下げる** 表示された楽譜の音階を半音下げます。

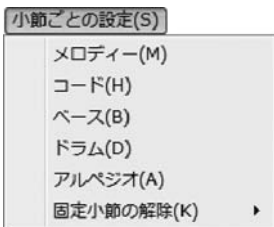
**1オクターブ下げる** 表示された楽譜の音階を1オクターブ下げます。

**自動コード** 自動コード画面を表示します。(25ページを参照。)

**小節の挿入と削除** 小節の挿入と削除画面を表示します。(26ページを参照。)

**コードを作成** コードを作成画面を表示します。(27ページを参照。)

# 画面・各部の説明



[小節ごとの設定]メニュー

## メロディー

小節ごとのメロディーの音色を設定します。

## コード

小節ごとのコードの音色を設定します。

## ベース

小節ごとのベースの音色を設定します。

## ドラム

小節ごとのドラムの音色を設定します。

## アルペジオ

小節ごとのアルペジオの音色を設定します。

## 固定小節の解除

固定小節を解除します。

※固定小節とは、曲全体の音量などを変えても変化しない小節です。

メロディーの音色・音量 リズムパターン コードの音色、音量

ベースパターン ベースの音色、音量 ドラムパターン ドラムの音量

アルペジオパターン アルペジオの音色、音量 から選択します。

## 音符入力

音符入力画面を表示します。(詳細は33~37ページ)

## クリスタルコード

Crystalchord画面を表示します。(詳細は103ページ)

# 画面・各部の説明

## 2 ツールバー



### 3拍子の曲を作る

3拍子の曲を、新規作成します。



### 4拍子の曲を作る

4拍子の曲を、新規作成します。



### 開く

曲のデータを開きます。



### 上書き保存

現在、開いているファイルを上書きします。



### リズムパターン

リズムパターン画面を表示します。  
(14ページを参照ください。)



### ベースパターン

ベースパターン画面を表示します。  
(15、16ページを参照ください。)



### ドラムパターン

ドラムパターン画面を表示します。  
(17、18ページを参照ください。)



### アルペジオパターン

アルペジオパターン画面を表示します。  
(19ページを参照ください。)



### メロディーの音色

メロディーの音色画面を表示します。  
(19ページを参照ください。)



### コードの音色

コードの音色画面を表示します。  
(20ページを参照ください。)



### ベースの音色

ベースの音色画面を表示します。  
(20ページを参照ください。)



### アルペジオの音色

アルペジオの音色画面を表示します。  
(21ページを参照ください。)



### メロディーの音量

メロディーの音量画面を表示します。  
(21ページを参照ください。)



### コードの音量

コードの音量画面を表示します。  
(21ページを参照ください。)



### ベースの音量

ベースの音量画面を表示します。  
(22ページを参照ください。)



### ドラムの音量

ドラムの音量画面を表示します。  
(22ページを参照ください。)



### アルペジオの音量

アルペジオの音量画面を表示します。  
(22ページを参照ください。)



### テンポ

テンポ画面を表示します。  
(22ページを参照ください。)

# 画面・各部の説明

## 3 コードボタン



C C# D D# E F F# G G# A A# B  
Cm C#m Dm D#m Em Fm F#m Gm G#m Am A#m Bm

24種類のコードがボタン表示されています。

各コードボタンをクリックすると、「小節表示エリア」のコードに、1小節から順に設定されます。

小節ごとに、使われるコードを決めます。

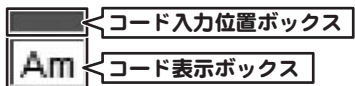
### クリア

設定したコードを、設定されているの後ろのコードから順にクリアしていきます。

## 4 コード表示エリア



### コード入力位置表示ボックス (インジケータ) 17個



### コード入力位置ボックス

色設定では茶色に表示されていて、クリックすると緑色に変わります。

緑色表示の状態、コード一覧のコードボタンをクリックすると、小節にコードが入力されます。

### コード表示ボックス

コード一覧からクリックで設定されたコードが表示されます。

1番左に1小節目のコードが表示され、順に右方向に小節が増えていきます。

ここを左クリックすると、表示されているコードの色が、青-赤-黒と変化します。

色が変わるとコードが変化します。

Cコードを例にすると、青はC7、赤はCmaj7、黒はCを表します。

ここを右クリックすると、この小節に対応した音符入力画面が表示されます。

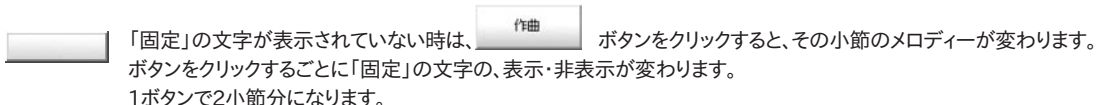
### コード追加チェック欄

クリックすると緑色に表示されます。緑色に表示されている時は、

コードボタンをクリックする度に、曲の終了位置にコードが追加表示され、曲が長くなっていきます。

### 固定設定ボタン

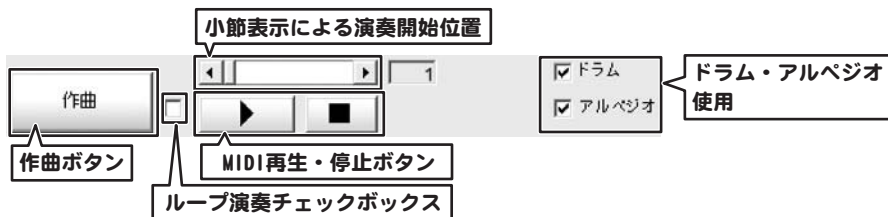
勝手にメロディーが変化しないように設定するボタンです。(自動作曲機能を解除します。)





# 画面・各部の説明

## 5 MIDIファイル編集設定



作曲

### 作曲ボタン

クリックすると、MIDIの曲が更新されます。  
各種設定を変更したら、曲を聴く前に  
ボタンをクリックします。

### ループ演奏チェックボックス

チェックを入れると、MIDIの曲を繰り返し演奏します。

### 小節表示による演奏開始位置

MIDIの曲の、何小節目から演奏を開始するかを表示します。

### MIDI再生・停止ボタン

 クリックすると、MIDIで作られた曲を再生します。

 クリックすると、MIDIで作られた曲を停止します。

### 小節表示による演奏開始位置

演奏中に、小節数と演奏時間(秒)が表示されます。  
小節は分数で表示されます。  
分子は現在演奏されている小節、分母は全小節数です。

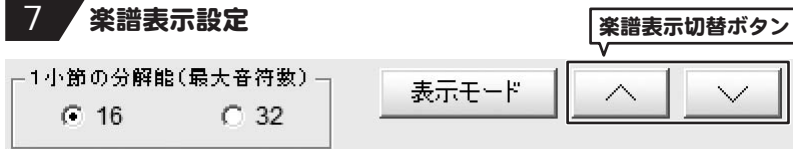
### ドラムとアルペジオ使用

ドラムとアルペジオを使用するときにチェックマークをいれます。

## 6 楽譜表示エリア

設定したコード・音符が楽譜で表示されます。  
曲が編集される度に、表示が変わります。

## 7 楽譜表示設定



### 1小節の分解能(最大音符数)

1小節に分解可能な最大音符数を選択できます。16・32で選択します。

1小節に2つのコードを付ける曲の場合、「2」にチェックを付けます。

### 表示モードボタン

楽譜の高音部だけを表示するか、低音部も一緒に表示するかを選択します。

### 楽譜表示切替ボタン

長い楽譜が画面の下に沈んで見えない場合に使います。

## 画面・各部の説明

### 8 ページ選択ボタン



#### 小節表示

表示されたページの小節数を表示します。

#### 戻る

ひとつ前のページを表示します。

#### 表示ページ

現在表示されているページ数を表示します。

#### 進む

ひとつ後のページを表示します。

### 9 チャンネル設定

#### チャンネル

編集するチャンネルが「歌声」か「楽器」かを、チェックを入れて設定します。

#### チャンネル数

メロディーに「声」だけを使う場合はチャンネル数を「1」にします。

メロディーに歌声と楽器を使う場合はチャンネル数を「2」にします。

メロディーに歌声と楽器を使う曲でも、一時的に楽器を使わない場合はチャンネル数を「1」にします。

### 10 WAVE設定



#### WAVEを作成

#### WAVEを作成ボタン

MIDIデータと歌詞データを元にWAVEを作ります。



#### WAVE再生ボタン

WAVEで作られた曲を聴く時にクリックします。



#### WAVE停止ボタン

WAVEで作られた曲を停止する時にクリックします。



#### WAVE作成中の状態表示ボックス

「WAVEを作成」ボタンを押すと、「作成中」から「完了」と表示が変わります。

#### 演奏開始位置 (秒)

WAVEの演奏開始位置を秒単位で設定します。

#### エコー

歌声にエコーをかけます。

エコーのレベルは、大中小の3段階とOFFで設定します。

# 画面・各部の説明

## 11 ディストーション設定



### ディストーション

歪みを発生させて、音色を加工する効果のことを指します。  
(※ディストーション機能の使い方については、112ページで詳細を説明します。)

### チャンネル

チェックを入れると、歌声・コード・楽器にそれぞれディストーションをかけます。

### 種類

ディストーション1を使う場合は、「種類」は「1」にチェックを入れます。  
ディストーション2を使う場合は、「種類」は「2」にチェックを入れます。  
ディストーション1と2を同時に使う場合は、「種類」は「3」にチェックを入れます。  
ディストーションを使わない場合は、「種類」は「F」にチェックを入れます。

### DS1

ディストーション1の振幅を調節します。

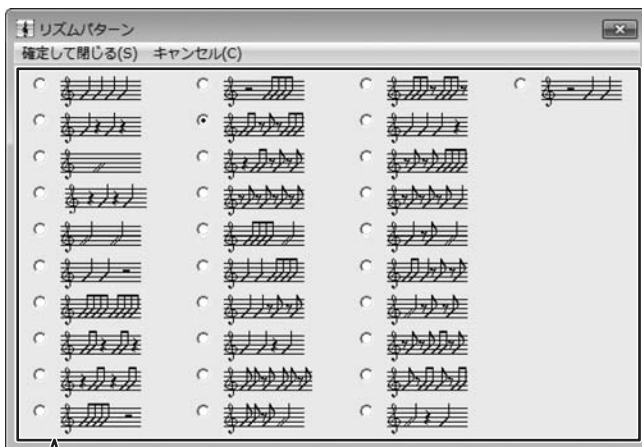
### 音量

ディストーション1の音量を調節します。  
※ディストーション2には、音量の設定はありません。

### DS2

ディストーション2の振幅を調節します。

## リズムパターン画面



### 確定して閉じる

選択したリズムパターンに確定して画面を閉じます。

### キャンセル

リズムパターンの変更をキャンセルします。

### リズムパターン一覧

31種類のリズムパターンが表示されています。  
現在使われているリズムパターンに、チェックが入ります。

# 画面・各部の説明

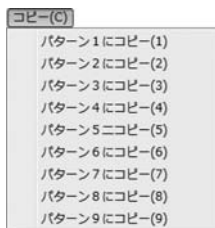


## 確定して閉じる

選択したベースパターンを確定して画面を閉じます。

## コピー

クリックすると、ポップアップ画面が表示されます。



ベース一覧からチェックを入れたパターンを、パターン1～パターン9の中の選択したパターンにコピーします。

## ベースパターンを編集

ベースパターンを編集画面を表示します。

## キャンセル

ベースパターンの変更をキャンセルして画面を閉じます。

## ベースパターン一覧

ベースパターンのサンプルの一覧表示です。

チェックを入れて、確定して閉じると

作曲中の曲のベースパターンの確定されます。

## オリジナルベースパターン一覧

チェックを入れて、オリジナルで作成した

ベースパターンを選択します。

## パワーベース音数

パワーベースの音数を、1・3から設定します。

# 画面・各部の説明

## ベースパターンの編集画面



### ファイル

#### ファイル(F)

- ベースパターンを読み込む(O)
- 上書き保存(S)
- 名前を付けて保存(A)
- 閉じる(C)

#### ベースパターンの読み込み

作成したベースパターンを読み込みます。

#### 上書き保存

作成したベースパターンで上書きします。

#### 閉じる

ベースパターン編集画面を閉じます。

### エディット画面

この画面上でベースパターンを編集します。

### オリジナルベースパターン一覧


オリジナルで作成したベースパターンを、パターン1～パターン9まで登録して、選択できます。

#### コピーボタン


ベースパターンをコピーします。

#### パワーベース

パワーベースのパターンを表示します。

 クリア クリックすると、ベースパターンの編集をクリアします。

 クリックすると、編集したベースパターンを再生します。

 クリックすると、再生を停止します。

# 画面・各部の説明

## ドラムパターン画面



ドラムパターン一覧

オリジナルドラムパターン一覧

### 確定して閉じる

選択したドラムパターンを確定して画面を閉じます。

### コピー

クリックすると、ポップアップ画面が表示されます。

#### コピー(C)

パターン 1 にコピー(1)  
パターン 2 にコピー(2)  
パターン 3 にコピー(3)  
パターン 4 にコピー(4)  
パターン 5 にコピー(5)  
パターン 6 にコピー(6)  
パターン 7 にコピー(7)  
パターン 8 にコピー(8)  
パターン 9 にコピー(9)

ドラム一覧からチェックを入れたパターンを、パターン1~パターン9 中の選択したパターンにコピーします。

### ドラムパターンを編集

ドラムパターンを編集画面を表示します。

### キャンセル

ドラムパターンの変更をキャンセルして画面を閉じます。

### ドラムパターン一覧

ドラムパターンのサンプルの一覧表示です。

チェックを入れて、確定して閉じると作曲中の曲のドラムパターンの確定されます。

### オリジナルドラムパターン一覧

チェックを入れて、オリジナルで作成したドラムパターンを選択します。



再生

ドラムパターンを聴くことができます。



停止

再生中のドラムパターンを停止します。

# 画面・各部の説明

## ドラムパターンの編集画面

ドラムパターンを編集

オリジナルドラムパターン一覧

ファイル(F)

Kick Drum 2  
Kick Drum 1  
Side Stick  
Snare Drum 1  
Hand Clap  
Snare Drum 2  
Low Tom 2  
Closed Hi-hat  
Low Tom 1  
Pedal Hi-hat  
Mid Tom 2  
Open Hi-hat  
Mid Tom 1  
High Tom 2  
Crash Cymbal 1  
High Tom 1  
Ride Cymbal 1  
Chinese Cymbal  
Ride Bell  
Tambourine  
Splash Cymbal  
Cowbell  
Crash Cymbal 2  
Vibra-slap  
Ride Cymbal 2  
High Bongo  
Low Bongo  
Mute High Conga  
Open High Conga  
Low Conga  
High Timbale  
Low Timbale  
High Agogo  
Low Agogo  
Cabasa  
Maracas  
Short Hi Whistle  
Long Low Whistle  
Short Guiro  
Long Guiro  
Claves  
High Wood Block  
Low Wood Block  
Mute Cuica  
Open Cuica  
Mute Triangle  
Open Triangle

エディット画面

1 C  
2 C  
3 C  
4 C  
5 C  
6 C  
7 C  
8 C  
9 C  
P C

クリア

▶

■

### ファイル

#### ファイル(F)

- ドラムパターンを読み込む(O)
- 上書き保存(S)
- 名前を付けて保存(A)
- 閉じる(C)

### ドラムパターンの読み込み

作成したドラムパターンを読み込みます。

### 上書き保存

作成したドラムパターンで上書きします。

### 閉じる

ドラムパターン編集画面を閉じます。

### エディット画面

この画面上でベースパターンを編集します。

### オリジナルドラムパターン一覧

オリジナルで作成したドラムパターンを、パターン1~パターン9まで登録して、選択できます。



#### コピーボタン

ドラムパターンをコピーします。



#### パワードラム

パワードラムのパターンを表示します



#### クリア

クリックすると、ドラムパターンの編集をクリアします。



クリックすると、編集したドラムパターンを再生します。



クリックすると、再生を停止します。

# 画面・各部の説明

## アルペジオパターン画面



### アルペジオパターン一覧

#### 確定して閉じる

選択したアルペジオパターンを確定して画面を閉じます。

#### キャンセル

アルペジオパターンの変更をキャンセルして画面を閉じます。

#### アルペジオパターン一覧

アルペジオパターンのサンプルの一覧表示です。

チェックを入れて、確定して閉じると

作曲中の曲のアルペジオパターンが確定されます。

## メロディーの音色画面



#### 確定して閉じる

選択したメロディーの音色を確定して画面を閉じます。

#### キャンセル

メロディーの音色の変更をキャンセルして画面を閉じます。



クリックすると、メロディーの音色を再生します。

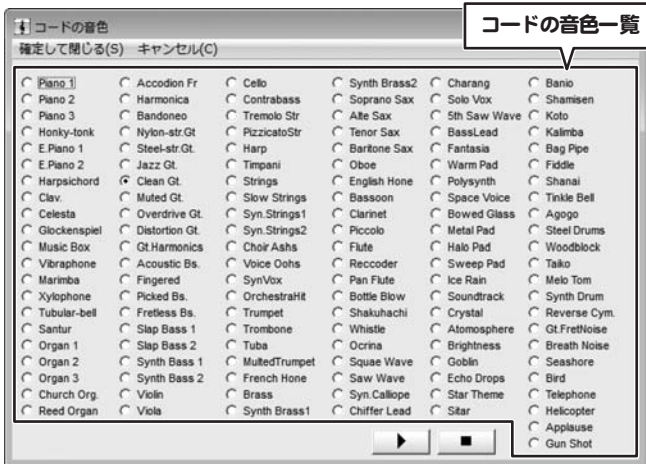


クリックすると、再生を停止します。



# 画面・各部の説明

## コードの音色画面



### 確定して閉じる

選択したコードの音色を確定して画面を閉じます。

### キャンセル

コードの音色の変更をキャンセルして画面を閉じます。



クリックすると、選択したコードの音色を再生します。



クリックすると、再生を停止します。

## ベースの音色画面



### 確定して閉じる

選択したベースの音色を確定して画面を閉じます。

### キャンセル

ベースの音色の変更をキャンセルして画面を閉じます。



クリックすると、選択したベースの音色を再生します。



クリックすると、再生を停止します。

# 画面・各部の説明

## アルペジオの音色画面



### 確定して閉じる

選択したアルペジオの音色を確定して画面を閉じます。

### キャンセル

アルペジオの音色の変更をキャンセルして画面を閉じます。

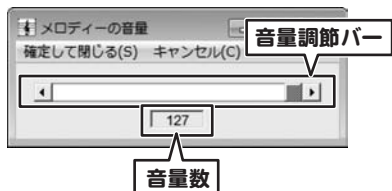


クリックすると、選択したアルペジオの音色を再生します。



クリックすると、再生を停止します。

## メロディーの音量画面



### 確定して閉じる

調節したメロディーの音量を確定して、画面を閉じます。

### キャンセル

メロディーの音量の変更をキャンセルして、画面を閉じます。

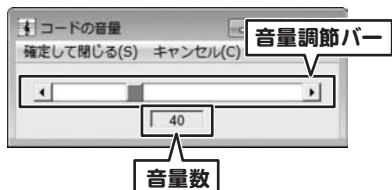
### 音量調節バー

バーをドラッグで左右に移動させて、音量調節をします。

### 音量数

音量調節バーで調節した音量数が表示されます。

## コードの音量画面



### 確定して閉じる

調節したコードの音量を確定して、画面を閉じます。

### キャンセル

コードの音量の変更をキャンセルして、画面を閉じます。

### 音量調節バー

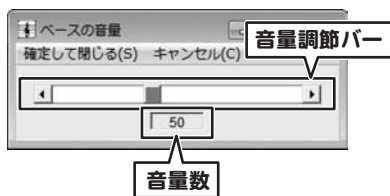
バーをドラッグで左右に移動させて、音量調節をします。

### 音量数

音量調節バーで調節した音量数が表示されます。

## 画面・各部の説明

### ベースの音量画面



#### 確定して閉じる

調節したベースの音量を確定して、画面を閉じます。

#### キャンセル

ベースの音量の変更をキャンセルして、画面を閉じます。

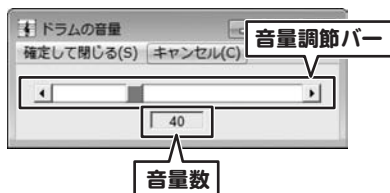
#### 音量調節バー

バーをドラッグで左右に移動させて、音量調節をします。

#### 音量数

音量調節バーで調節した音量数が表示されます。

### ドラムの音量画面



#### 確定して閉じる

調節したドラムの音量を確定して、画面を閉じます。

#### キャンセル

ドラムの音量の変更をキャンセルして、画面を閉じます。

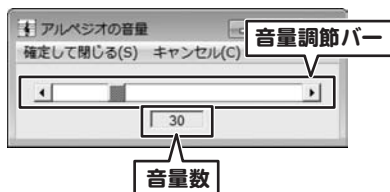
#### 音量調節バー

バーをドラッグで左右に移動させて、音量調節をします。

#### 音量数

音量調節バーで調節した音量数が表示されます。

### アルペジオの音量画面



#### 確定して閉じる

調節したアルペジオの音量を確定して、画面を閉じます。

#### キャンセル

アルペジオの音量の変更をキャンセルして、画面を閉じます。

#### 音量調節バー

バーをドラッグで左右に移動させて、音量調節をします。

#### 音量数

音量調節バーで調節した音量数が表示されます。

### テンポ画面



#### 閉じる

調節したテンポ数を確定して、画面を閉じます。

#### テンポ調節バー

バーをドラッグで左右に移動させて、テンポ速度調節をします。

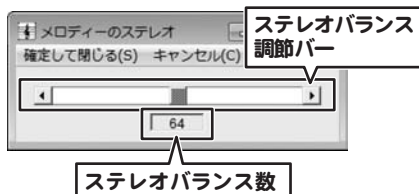
#### 速度数

テンポ調節バーで調節したテンポ速度数が、表示されます。

# 画面・各部の説明

## メロディーのステレオ画面

メニューバー「曲全体の設定」→「ステレオ」→「メロディー」をクリックすると、下の画面が表示されます。



### 確定して閉じる

調節したメロディーのステレオバランスを確定して、画面を閉じます。

### キャンセル

メロディーのステレオの変更をキャンセルして、画面を閉じます。

### ステレオバランスの調節バー

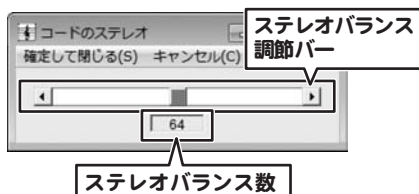
バーをドラッグで左右に移動させて、ステレオバランスの調節をします。

### ステレオバランス数

ステレオバランスの調節バーで調節した音量数が表示されます。

## コードのステレオ画面

メニューバー「曲全体の設定」→「ステレオ」→「コード」をクリックすると、下の画面が表示されます。



### 確定して閉じる

調節したコードのステレオバランスを確定して、画面を閉じます。

### キャンセル

コードのステレオの変更をキャンセルして、画面を閉じます。

### ステレオバランスの調節バー

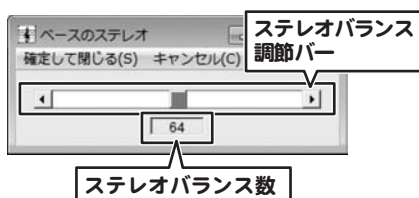
バーをドラッグで左右に移動させて、ステレオバランスの調節をします。

### ステレオバランス数

ステレオバランスの調節バーで調節した音量数が表示されます。

## ベースのステレオ画面

メニューバー「曲全体の設定」→「ステレオ」→「ベース」をクリックすると、下の画面が表示されます。



### 確定して閉じる

調節したベースのステレオバランスを確定して、画面を閉じます。

### キャンセル

ベースのステレオの変更をキャンセルして、画面を閉じます。

### ステレオバランスの調節バー

バーをドラッグで左右に移動させて、ステレオバランスの調節をします。

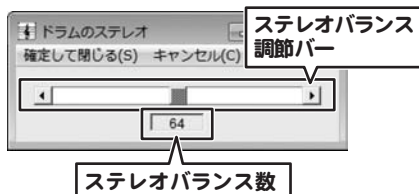
### ステレオバランス数

ステレオバランスの調節バーで調節した音量数が表示されます。

## 画面・各部の説明

### ドラムのステレオ画面

メニューバー「曲全体の設定」→「ステレオ」→「ドラム」をクリックすると、下の画面が表示されます。



#### 確定して閉じる

調節したドラムのステレオバランスを確定して、画面を閉じます。

#### キャンセル

ドラムのステレオの変更をキャンセルして、画面を閉じます。

#### ステレオバランスの調節バー

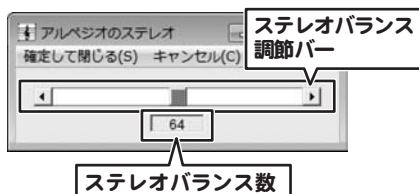
バーをドラッグで左右に移動させて、ステレオバランスの調節をします。

#### ステレオバランス数

ステレオバランスの調節バーで調節した音量数が表示されます。

### アルペジオのステレオ画面

メニューバー「曲全体の設定」→「ステレオ」→「アルペジオ」をクリックすると、下の画面が表示されます。



#### 確定して閉じる

調節したアルペジオのステレオバランスを確定して、画面を閉じます。

#### キャンセル

アルペジオのステレオの変更をキャンセルして、画面を閉じます。

#### ステレオバランスの調節バー

バーをドラッグで左右に移動させて、ステレオバランスの調節をします。

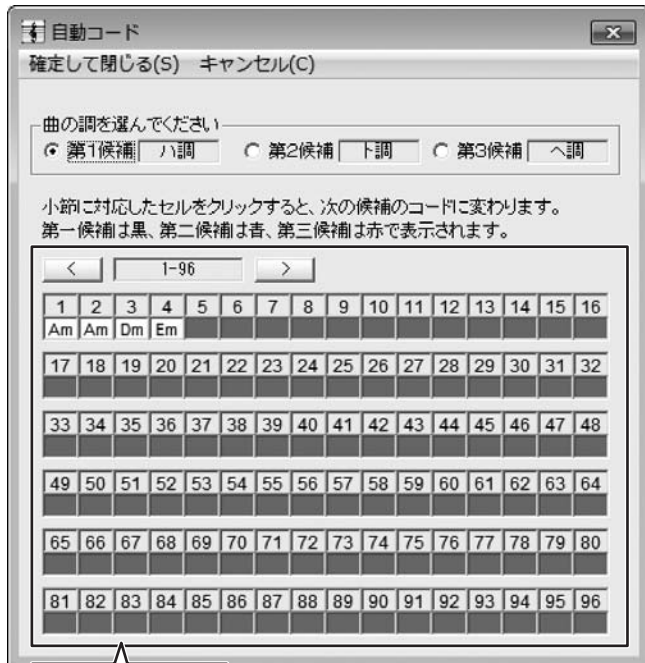
#### ステレオバランス数

ステレオバランスの調節バーで調節した音量数が表示されます。

# 画面・各部の説明

## 自動コード画面

メニューバー「曲全体の設定」→「自動コード」をクリックすると、下の画面が表示されます。



小節のコード表示

### 確定して閉じる

選択した自動コードを確定して画面を閉じます。

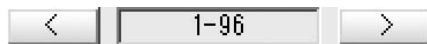
### キャンセル

自動コードの変更をキャンセルして画面を閉じます。

### 曲の調を選んでください

第一候補「ハ調」・第二候補「下調」・第三候補「へ調」から、チェックを入れて和音を選択します。

### ページ表示



<・>で、ページの変更をします。

3ページ(1~256コード)まで表示されます。

### 小節のコード表示



#### 小節数

小節数を表示します。

#### コード

曲の調を選ぶと、コード表示が変わります。

# 画面・各部の説明

## 小節の挿入と削除画面

メニューバー「曲全体の設定」→「小節の挿入と削除」をクリックすると、下の画面が表示されます。



### キャンセル

小節の挿入と削除をキャンセルして画面を閉じます。

### コピー

選択した小節をコピーします。

### 削除

選択した小節を削除します。

### 挿入

コピーした小節を、選択した小節に挿入します。

### やり直し

小節の選択を解除します。

# 画面・各部の説明

## コードの作成画面

メニューバー「曲全体の設定」→「コードの作成」をクリックすると、下の画面が表示されます。



### 閉じる

コード作成画面を閉じます。

### コード名

任意のコード名を入力して、新規コードの名前を設定します。

※コード名は、半角文字で8文字以内に入力してください。

### コード調節欄

新規コードのコード内容を調節します。

※コードの構成音は、必ず4音で

作らなくてはなりません。

※4オクターブの「C」(ド)から6オクターブの「B」(シ)までを使います。

※詳細は110ページを参照してください。

### コード表示

新規コードには名前が格納するため番号が割り振られます。

0～999までのコード番号が表示されます。

名前順に並べ替え

### 名前順に並べ替えボタン

コード名をアルファベット順に並べ替えます。

コピー

### コピーボタン

作成したコードを別の位置にコピーします。

1-128 小節切り替え

### 小節切り替えボタン

画面下の128個のセルを、1～128小節に対応させるか、129～256小節に対応させるかを選択します。

### コード表示セル

作成したコードを読み込ませるセル。任意に作成したコード名を入力して、元の楽譜に反映させます。



# 画面・各部の説明

## 小節ごとの設定 メロディー画面

メニューバー「小節ごとの設定」→「メロディー」をクリックすると、下の画面が表示されます。



### 閉じる

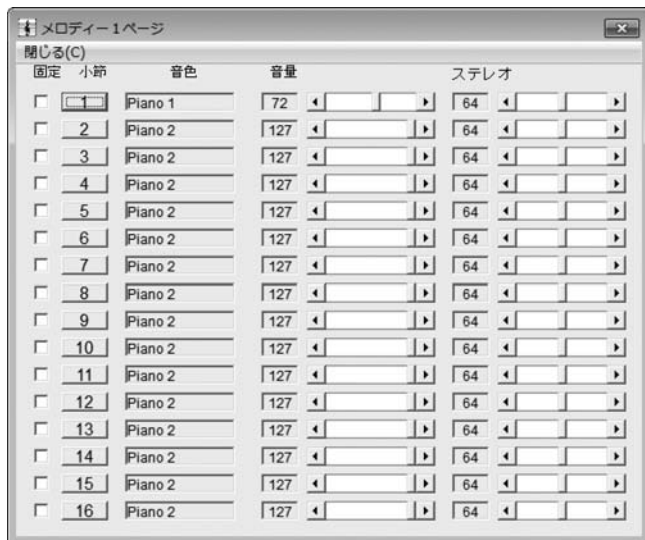
メロディー画面を閉じます。

### ページボタン

クリックするとページごとの小節設定画面が表示されます。

## 小節ごとの設定 メロディーページ画面

メニューバー「小節ごとの設定」→「メロディー」→「ページボタン」をクリックすると、下の画面が表示されます。



### 閉じる

メロディーページ画面を閉じます。

### 固定

チェックを入れると、曲全体の設定などで、曲やメロディーの設定が変更されなくなります。

### 小節

クリックすると、メロディーの音色画面を表示します。  
※21ページを参照してください。

### 音色

選択した音色が表示されます。

### 音量

調節バーをドラッグで調節して音量を設定します。

### ステレオ

調節バーをドラッグで調節してステレオバランスを調節します。

# 画面・各部の説明

## 小節ごとの設定 コード画面

メニューバー「小節ごとの設定」→「コード」をクリックすると、下の画面が表示されます。



### 閉じる

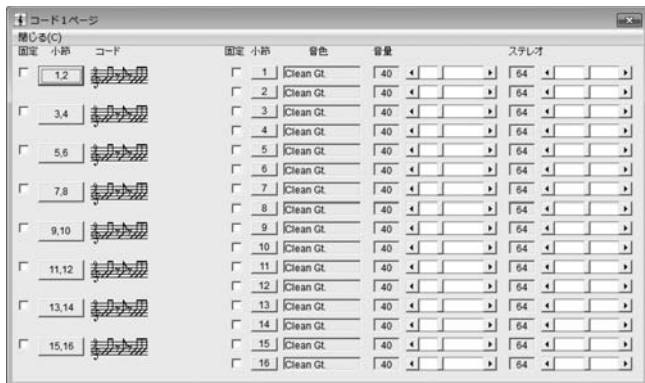
コード画面を閉じます。

### ページボタン

クリックするとページごとの小節設定画面が表示されます。

## 小節ごとの設定 コードページ画面

メニューバー「小節ごとの設定」→「コード」→「ページボタン」をクリックすると、下の画面が表示されます。



### 閉じる

コードページ画面を閉じます。

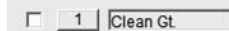
### 固定 小節 コード



**固定** チェックを入れると、曲全体の設定などで、コードの設定が変更されなくなります。

**小節** クリックすると、リズムパターン画面を表示します。  
※14ページを参照してください。

### 固定 小節 音色



**固定** チェックを入れると、曲全体の設定などで、アルペジオの設定が変更されなくなります。

**小節** クリックすると、コードの音色画面を表示します。  
※20ページを参照してください。

**音色** 調節バーをドラッグで調節して音量を設定します。

### ステレオ

調節バーをドラッグで調節してステレオバランスを調節します。

# 画面・各部の説明

## 小節ごとの設定 ベース画面

メニューバー「小節ごとの設定」→「ベース」をクリックすると、下の画面が表示されます。



### 閉じる

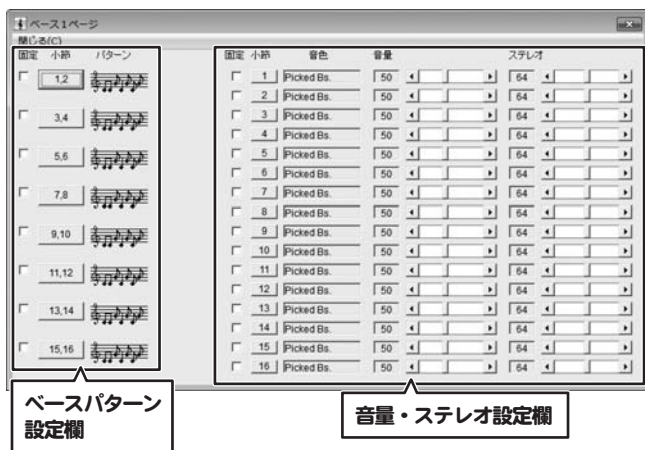
ベース画面を閉じます。

### ページボタン

クリックするとページごとの小節設定画面が表示されます。

## 小節ごとの設定 ベースページ画面

メニューバー「小節ごとの設定」→「ベース」→「ページボタン」をクリックすると、下の画面が表示されます。



### 閉じる

ベースページ画面を閉じます。



### 固定

チェックを入れると、曲全体の設定などで、ベースの設定が変更されなくなります。

### 小節

クリックすると、ベースパターン画面を表示します。

※15ページを参照してください。

### 音量・ステレオ設定欄

#### 固定

チェックを入れると、曲全体の設定などで、ベースの設定が変更されなくなります。

#### 小節

クリックすると、ベースの音色画面を表示します。

※20ページを参照してください。

#### 音色

調節バーをドラッグで調節して音量を設定します。

#### ステレオ

調節バーをドラッグで調節してステレオバランスを調節します。

# 画面・各部の説明

## 小節ごとの設定 ドラム画面

メニューバー「小節ごとの設定」→「ドラム」をクリックすると、下の画面が表示されます。



### 閉じる

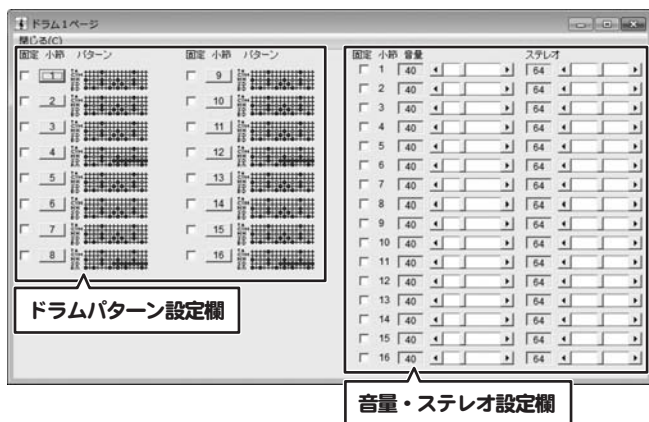
ドラム画面を閉じます。

### ページボタン

クリックするとページごとの小節設定画面が表示されます。

## 小節ごとの設定 ドラムページ画面

メニューバー「小節ごとの設定」→「ドラム」→「ページボタン」をクリックすると、下の画面が表示されます。



### 閉じる

ドラムページ画面を閉じます。

### ドラムパターン設定欄



### 固定

チェックを入れると、曲全体の設定などで、ドラムの設定が変更されなくなります。

### 小節

クリックすると、ドラムパターン画面を表示します。

※17、18ページを参照してください。

### 音量・ステレオ設定欄

### 固定

チェックを入れると、曲全体の設定などで、ドラムの設定が変更されなくなります。

### 音色

調節バーをドラッグで調節して音量を設定します。

### ステレオ

調節バーをドラッグで調節してステレオバランスを調節します。

# 画面・各部の説明

## 小節ごとの設定 アルペジオ画面

メニューバー「小節ごとの設定」→「アルペジオ」をクリックすると、下の画面が表示されます。



### 閉じる

アルペジオ画面を閉じます。

### ページボタン

クリックするとページごとの小節設定画面が表示されます。

## 小節ごとの設定 アルペジオページ画面

メニューバー「小節ごとの設定」→「アルペジオ」→「ページボタン」をクリックすると、下の画面が表示されます。



### 閉じる

アルペジオページ画面を閉じます。

### アルペジオパターン設定欄

固定 小節 パターン



### 固定

チェックを入れると、曲全体の設定などで、アルペジオの設定が変更されなくなります。

### 小節

クリックすると、アルペジオパターン画面を表示します。  
※21ページを参照してください。

### 音量・ステレオ設定欄

### 固定

チェックを入れると、曲全体の設定などで、アルペジオの設定が変更されなくなります。

### 小節

クリックすると、アルペジオの音色画面を表示します。  
※21ページを参照してください。

### 音色

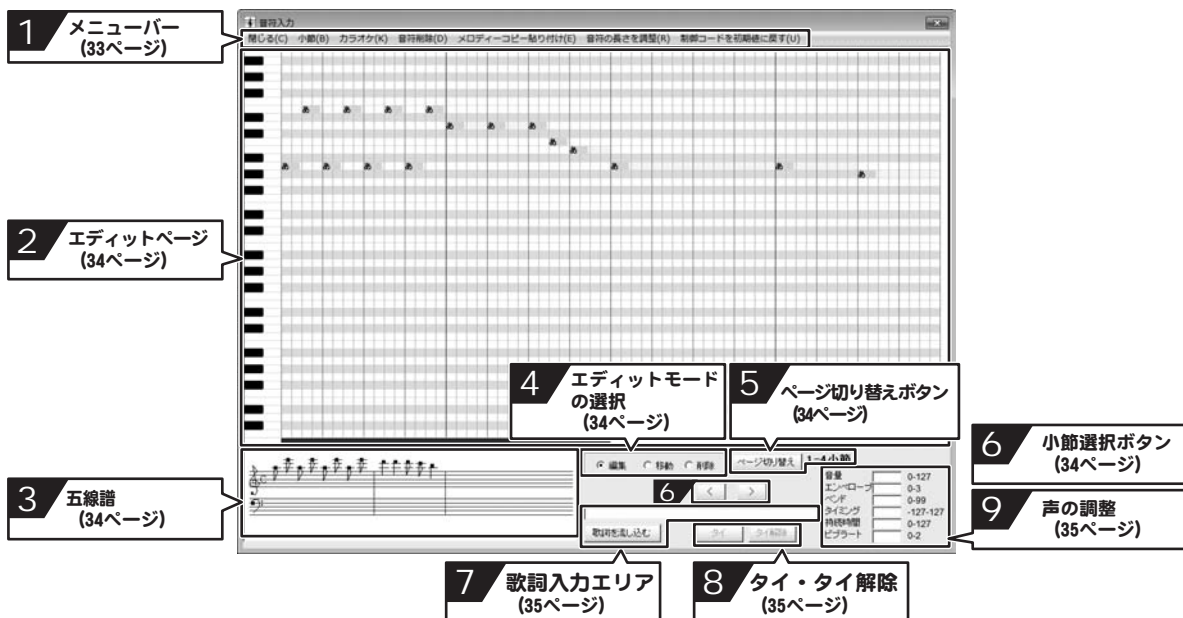
調節バーをドラッグで調節して音量を設定します。

### ステレオ

調節バーをドラッグで調節してステレオバランスを調節します。

# 画面・各部の説明

## 音符入力画面



### 1 メニューバー

閉じる(C) 小節(B) カラオケ(K) 音符削除(D) メロディーコピー貼り付け(E) 音符の長さを調整(R) 制御コードを初期値に戻す(U)

#### 閉じる

音符入力画面を閉じます。

#### 小節

小節の選択画面を開きます。  
エディットする小節を選択します。

#### カラオケ

曲全体の音符を削除します。

#### 音符削除

ポップアップ表示の「実行」を選択すると、エディットページの音符を削除します。

#### メロディーコピー貼り付け

メロディーコピーの貼り付け画面を表示します。  
小節間でメロディーのコピーができます。

#### 音符の長さを調整

音符の長さを調整画面を表示します。  
音符の長さを調整して3連符などを作ります。

#### 制御コードを初期値に戻す

声の調整コードを初期値に戻します。

# 画面・各部の説明

## 2 エディットページ

音符、歌詞入力表示画面。  
入力した音符と歌詞が表示されます。  
画面の縦が4オクターブから7オクターブを表し、横が音符の長さを表します。  
最小の目盛りは16分音符です。  
音符を入力するには、マウスの左ボタンを押しながら左から右にドラッグします。  
音符を消す場合は、右から左にドラッグします。  
エディットページ上で、音符をドラッグすると音符が移動します。  
「Ctrl」キーを押しながらドラッグするとコピーになります。  
歌詞の入力に関しては、45～47ページを参照してください。

## 3 五線譜

エディットページの音符を五線譜で表示します。  
更新するためには、音符の無い部分をダブルクリックします。

## 4 エディットモードの選択

編集    移動    削除

「編集」では、音符や歌詞を入力します。  
「移動」では、音符の移動とコピーをします。  
「削除」では、音符をセル単位で削除します(クリックで削除)。  
音符の右端を左にドラッグしても削除できますが、やりにくい場合には、この方法を使用します。

## 5 ページ切り替えボタン

ページ切り替え

エディットページで、左右のどちらのページをエディットするか選択します。

## 6 小節選択ボタン



エディットする小節を選択します。  
メニューの「小節」とは違い、ボタンを押すと前のページか次のページに行きます。



# 画面・各部の説明

## 7 歌詞入力エリア



歌詞入力ボックス

歌詞を流し込む

エディットページの音符に歌詞を付けます。

「歌詞入力ボックス」に歌詞を入力して、「歌詞を流し込む」ボタンを押します。

「歌詞入力ボックス」には、全てひらがなで、空白なしで書き込みます。

## 8 タイ・タイ解除



偶数小節の最後の音符と、奇数小節の最初の音符をつなげます。

「タイ」ボタンは、画面中央の小節の最後の音符と最初の音符をつなげて1つの音符にします。

(中央の赤線の左右の音符)

「タイ解除」ボタンは、画面中央でつながった音符を、2つの音符に分けます。

音符の編集は、「タイ解除」の状態で行ってください。

## 9 声の調整

各音符には、声を調整するための制御コードが付いています。

エディットページ上で、音符を右クリックすると、その音符の制御コードが画面の右下に表示されます。

数値を更新する場合は、エディットボックスの数値を直接、入力で書き換えます。

音量	<input type="text"/>	0-127
エンベロープ	<input type="text"/>	0-3
バンド	<input type="text"/>	0-99
タイミング	<input type="text"/>	-127-127
持続時間	<input type="text"/>	0-127
ビブラート	<input type="text"/>	0-2

### 音量

音一つ一つに設定する音量です。セット可能な数値は、0～127です。

初期値は、127にセットされています。

### エンベロープ

音量の変化を決めます。セット可能な数値は、0～3です。

### バンド

音の出だしの周波数を下げ、自然な声に近づけます。

### タイミング

音の出だしのタイミングを設定します。セット可能な数値は、-127～127です。

### 持続時間

音の持続時間を設定します。セット可能な数値は、0～127です。

初期値は、100にセットされています。

### ビブラート

母音にビブラートをかけます。セット可能な数値は、0～2です。



# 画面・各部の説明

## 小節の選択画面

メニューバー「小節」を選択すると、下の画面が表示されます。



### 閉じる

小節の選択画面を閉じます。

### 小節選択バー

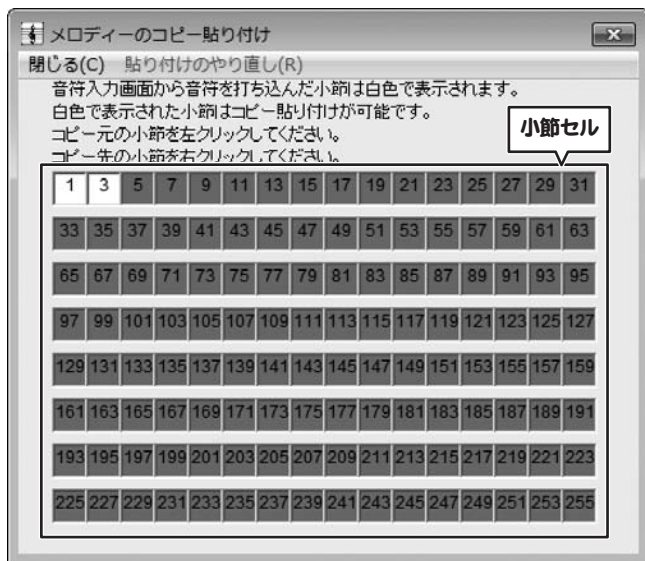
小節の選択画面を閉じます。

### 選択小節表示

現在選択している小節を表示します。

## メロディーのコピー貼り付け画面

メニューバー「メロディーコピー貼り付け」を選択すると、下の画面が表示されます。



### 閉じる

メロディーのコピー貼り付け画面を閉じます。

### 小節セル

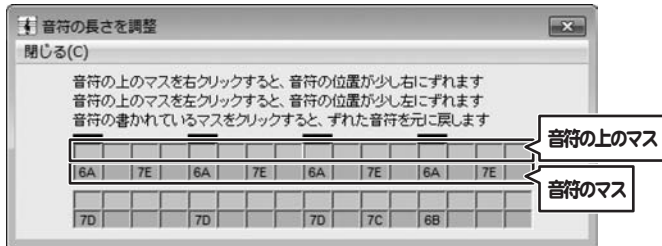
小節を一覧でセル表示します。

※詳細は58、59ページをご覧ください。

# 画面・各部の説明

## 音符の長さを調整画面

メニューバー「音符の長さを調整」を選択すると、下の画面が表示されます。



### 閉じる

音符の長さを調整画面を閉じます。

### 音符の上のマス

マスの上で右クリックすると、「R」の文字が表示され、音符の長さが少し右にずれます。

マスの上で左クリックすると、「L」の文字が表示され、音符の長さが少し左にずれます。

### 音符のマス

メイン画面の楽譜のコードが表示されます。

マスの上で左クリックをすると、音符の上のマスを調節した音符のずれを、元に戻します。

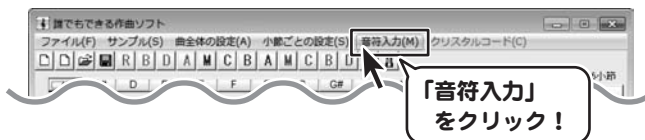
# 作曲してみる

誰でもできる作曲ソフトを使って、簡単な曲を作ります。  
ここでは、「春が来た」の前半4小節の曲を作る説明をします。

## 簡単な曲を作曲する

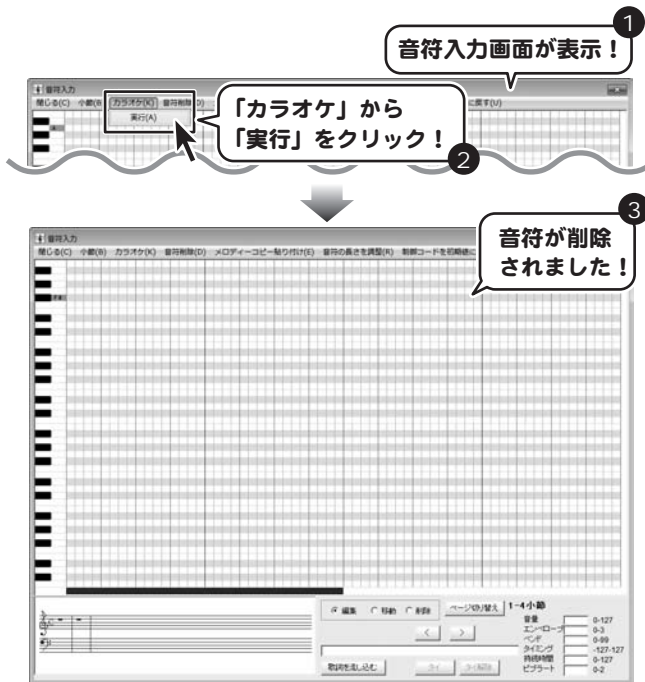
### 1 音符入力画面を表示します

本ソフトを立ち上げたら、  
メニューバー → 「音符入力」をクリックで  
選択して、音符入力画面を表示させます。



### 2 楽譜から音符を削除する

音符入力画面が表示されましたら、  
メニューバー → 「カラオケ」→「実行」を  
クリックで選択します。



# 作曲してみる

## 3 音符の入力をする (左ページ)

次に音符の入力を行います。

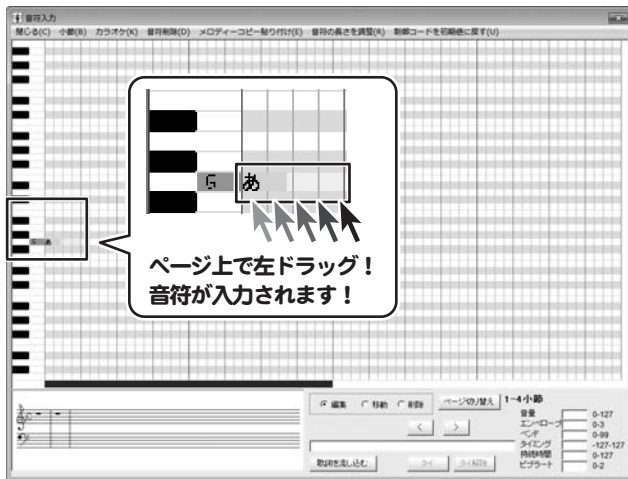
エディットページの  
右図の位置(5オクターブのソ)に  
音符(4分音符)を入力します。

音符を入力するには、マウスの左ボタンを  
押しながら左から右にドラッグします。

※音符を消す場合は、右から左に  
左ドラッグします。

※編集しているページの音符を全て削除  
するには、メニューの「音符削除」を  
クリックします。

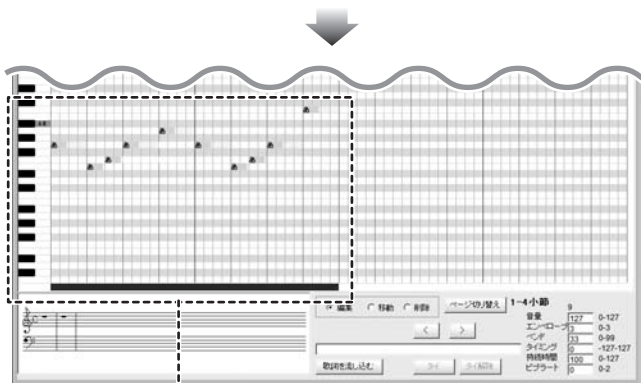
※曲の音符を全て削除するには、  
メニューの「カラオケ」をクリックします。



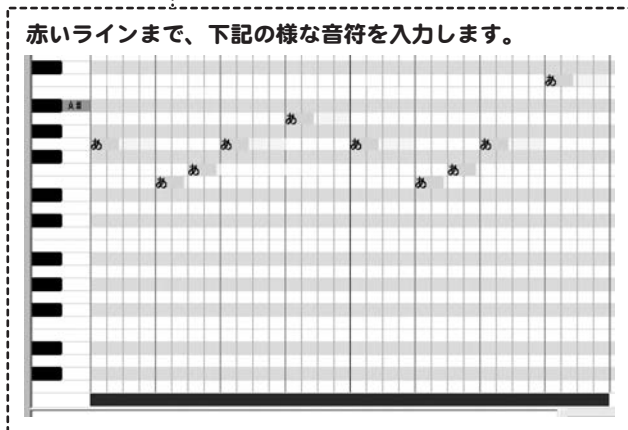
この手順で、「春が来た」の音符を、  
順に入力していきます。

センターの赤いラインまで、  
小節ごとの長さを考えながら、  
音符を入力していきます。

※右の図を参考にしてください。



赤いラインまで、下記の様な音符を入力します。



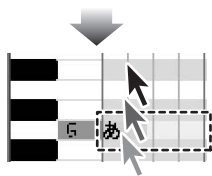
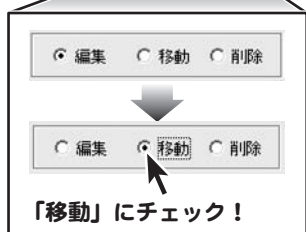
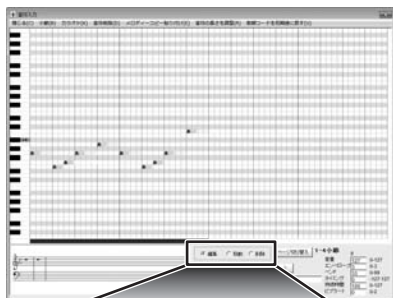
# 作曲してみる



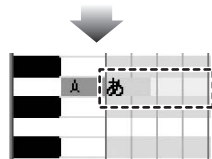
## 音符の移動・コピー・削除

音符の入力位置を間違えた場合は、エディットモードの選択を、「移動」にして音符をドラッグすると音符が移動します。また、「削除」にして音符をクリックすると音符が削除されます。

### 音符を「移動」する場合

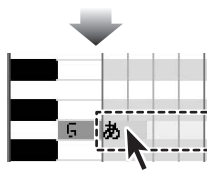
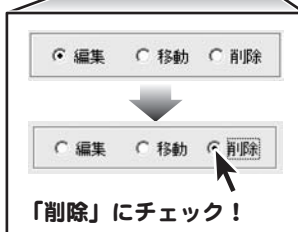
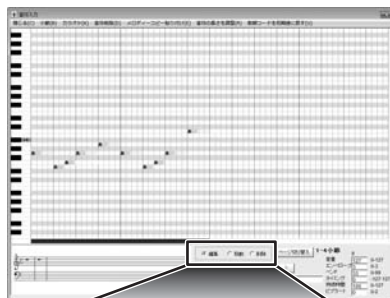


音符を2マス上の音階までドラッグで移動させます。

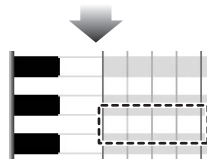


音符が移動しました！

### 音符を「削除」する場合



音符を1マスずつクリックすると、音符が削除されます。



音符が削除されました！

# 作曲してみる

## 3 音符の入力をする(右ページ)

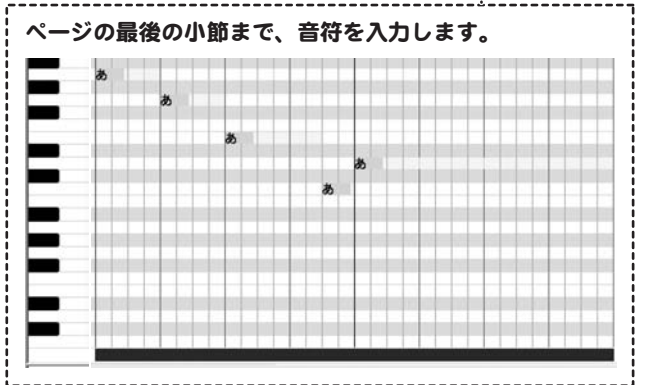
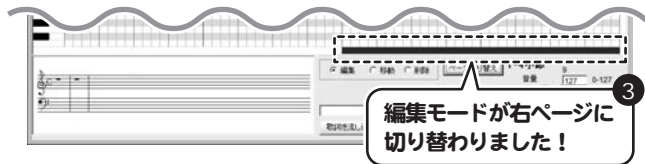
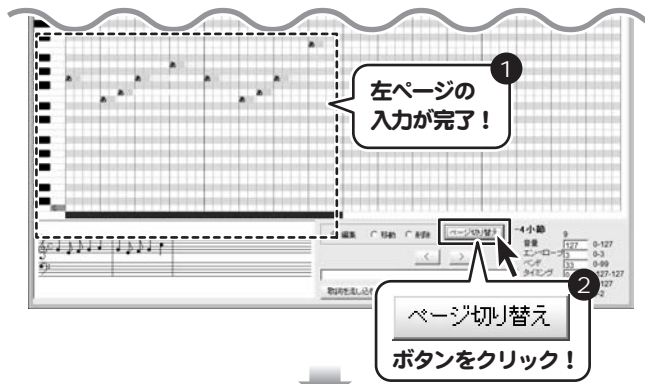
左ページの音符の入力が終わりましたら、右ページの入力に移ります。

**ページ切り替え** ボタンをクリックすると、エディットページの下のパバーが右ページに移動して、右ページの編集が可能になります。

※もう一度 **ページ切り替え** ボタンをクリックすると、左ページの編集モードに切り替わります。

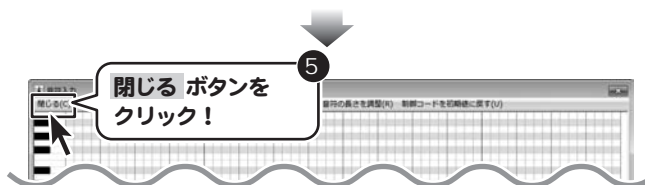
39ページと同様に、右ページに音符を入力していきます。

※右の図のように音符を入力します。



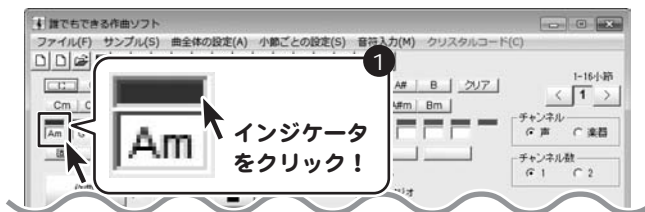
# 作曲してみる

右ページも音符が入力できたら、  
閉じる ボタンをクリックして、  
音符入力画面を閉じます。



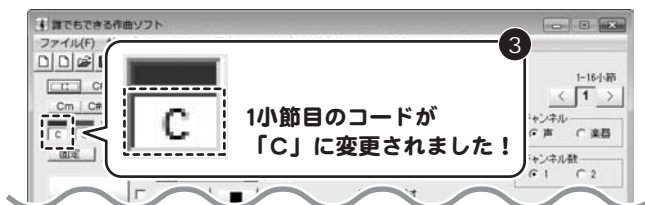
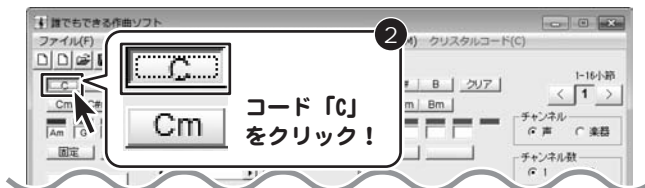
## 4 コードを付ける

メイン画面に戻ったら、  
コード表示エリアのインジケータを  
クリックします。  
インジケータの色が、茶色から緑色に  
変わり、1小節目が選択状態になります。



次に、コード一覧の中から任意のコードを  
クリックで選択します。  
ここでは、「C」コードをクリックします。

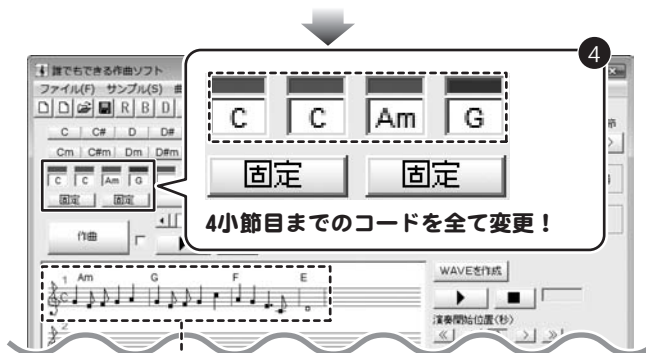
1小節目のコードが「Am」から「C」に、  
変更されました。



# 作曲してみる

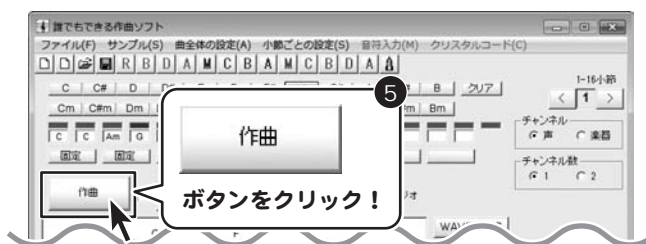
1小節目と同様に、音符の記述のある小節のインジケータをクリックして選択状態にしながら、コードを変更していきます。

楽譜表示エリアのコードも変更されました。



楽譜表示エリアのコードも変更されました!

ここで一度、**作曲** ボタンをクリックして、コードの変更を確定します。



## 5 視聴する

MIDIの曲ができました。  
ここで一度視聴をしてみます。

**▶** ボタンをクリックすると、  
入力した音符とコードが再生されます。  
※MIDIファイルは、コンパクトなファイルで、  
楽器音専用です。





# 作曲してみる

## 6 WAVEを作成する

WAVEの曲を作成します。

**WAVEを作成** ボタンをクリックして、  
WAVEの曲を作成します。  
※WAVEファイルは、大きなファイルですが、  
声と楽器音を同時に出すことができます。



WAVEの作成には少し時間がかかります。  
表示が「作成中」→「完了」になったら作成完了です。



### MIDI と WAVE

本ソフトは、「MIDIファイル」と「WAVEファイル」を作ります。  
「MIDIファイル」は、コンパクトなファイルで、楽器音専用です。  
「WAVEファイル」は、大きなファイルですが、声と楽器音を同時に出すことができます。

歌声を含む「WAVEファイル」は、「MIDIファイル」を元に作られます。  
つまり、「声」を出すためには、最初に「MIDIファイル」を作らなくてはなりません。

「MIDIファイル」は自動的に作られる場合と、

**作曲** ボタンを押すと作られる場合があります。  
メロディーと歌詞を変えた場合は「MIDIファイル」は自動的に作られます。

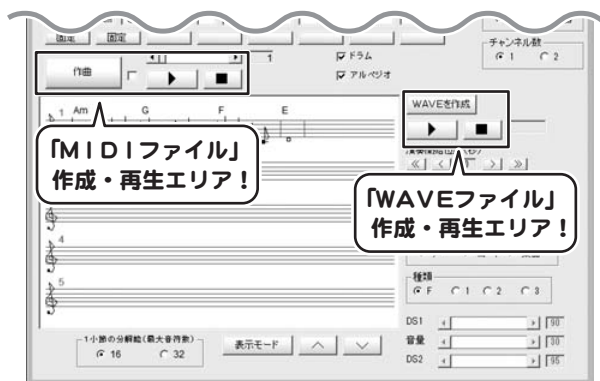
「音量」「音色」「テンポ」などを変えた場合は、

**作曲** ボタンを押すとMIDIファイルが作られます。

※もし、「MIDIファイル」が作られているか

分からない場合は、

**WAVEを作成** ボタンを押す前に、**作曲** ボタンを押してください。



# 作曲してみる

## 7 曲に歌詞を付ける

WAVEに歌詞を付けます。  
メニューバー → 音符入力をクリックして、  
音符入力画面を表示します。

音符入力画面が表示されたら、  
歌詞入力エリアの歌詞入力ボックスに、  
流し込みたい文字を入力します。

歌詞の入力は、左ページ～右ページの順で、  
順番に入力していきます。  
まず、左ページの音符に歌詞を入力します。

ここでは、「はるがきたはるがきた」と言う  
歌詞を入力します。  
※歌詞は全てひらがなで入力して、  
空白を入れずに、続けて書かなければ  
なりません。

正しく文字が入力できたら、  
**歌詞を流し込む** ボタンをクリックして、  
音符に歌詞を流し込みます。

楽譜表示エリアの小節の文字が、  
入力した文字に変更されます。

1  
音符入力をクリック！



2  
文字を入力する！

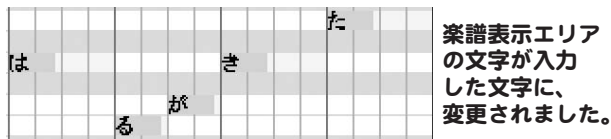
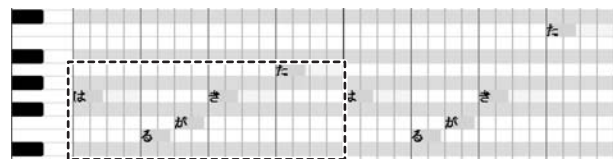
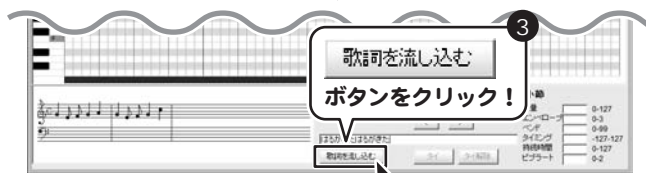


「音符入力」画面の右下の「歌詞入力」ボックスに  
「はるがきたはるがきた」と書き込みます。



※歌詞は全てひらがなで入力します！  
また、空白を入れずに続けて書かなければなりません！

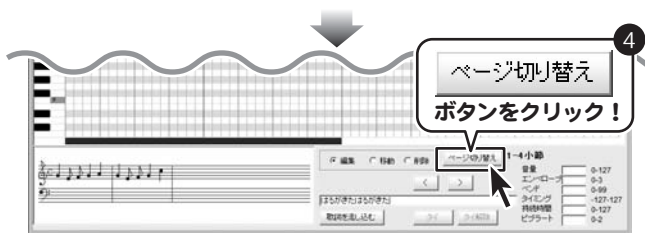
3  
歌詞を流し込む  
ボタンをクリック！



# 作曲してみる

同様に右ページにも歌詞を入力していきます。

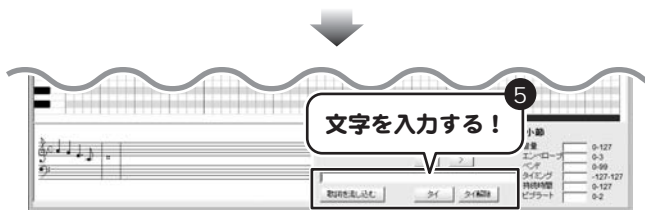
まず、**ページ切り替え** ボタンをクリックして、編集ボードを右ページに切り替えます。



歌詞入力エリアの歌詞入力ボックスに、流し込みたい文字を入力します。

ここでは、「どこにきた」という歌詞を入力します。

※歌詞は全てひらがなで入力して、空白を入れずに、続けて書かなければなりません。



「音符入力」画面の右下の「歌詞入力」ボックスに「どこにきた」と書き込みます。

どこにきた

歌詞を流し込む

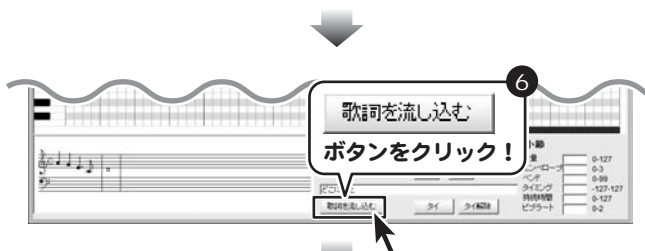
タイ

タイ解除

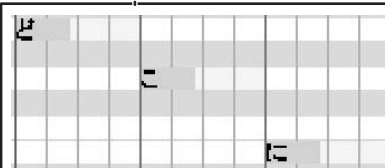
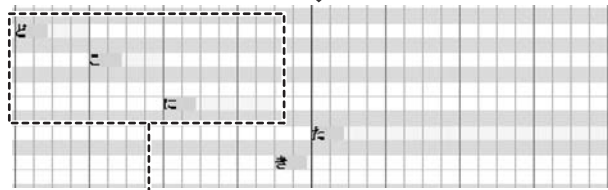
※歌詞は全てひらがなで入力します！  
また、空白を入れずに続けて書かなければなりません！

正しく文字が入力できたら、

**歌詞を流し込む** ボタンをクリックして、音符に歌詞を流し込みます。



楽譜表示エリアの小節の文字が、入力した文字に変更されます。

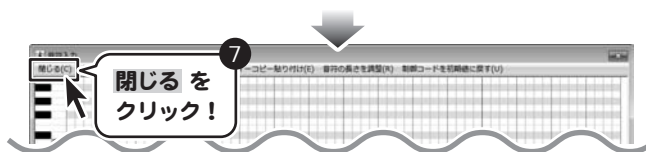


楽譜表示エリアの文字が入力した文字に、変更されました。

## 作曲してみる

これで、ひと通り歌詞が流し込まれました。

メニューバー → 閉じるをクリックして、  
音符入力画面を閉じて、メイン画面に戻ります。



### 8 歌詞付きの WAVE を作成する

メイン画面に戻ったら、流し入れた歌詞付きの  
WAVEを作成します。

**WAVEを作成** ボタンをクリックして、  
WAVEの曲を作成します。



WAVEの作成には少し時間がかかります。  
表示が「作成中」→「完了」になったら作成完了です。



### 9 歌詞付きの曲を視聴する

メイン画面に戻ったら、流し入れた歌詞付きの  
WAVEを作成します。

**▶** ボタンをクリックすると、  
曲に合わせて、入力した歌詞が流れます。



# 作曲してみる

## 10 作曲した曲を保存する

作曲した曲を保存します。  
メニューバー → ファイル →  
「曲のデータを名前を付けて保存」  
をクリックします。

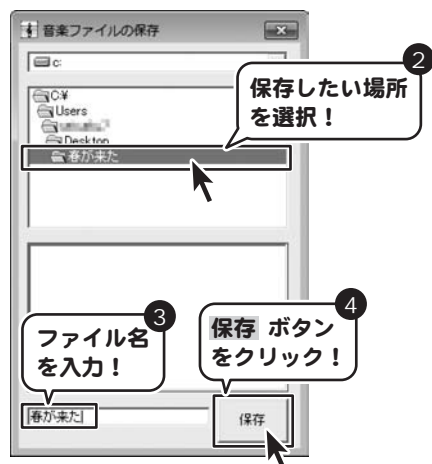
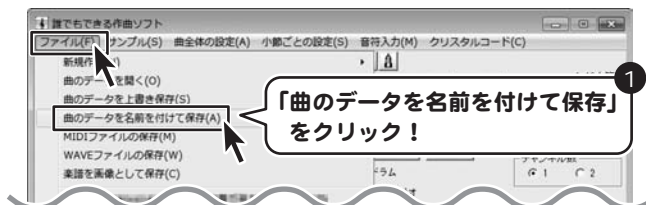
音楽ファイルの保存画面が表示されますので、  
保存したい場所を選択して、  
保存名を入力します。

ここでは、デスクトップにあらかじめ  
作成しておいた「春が来た」というフォルダを  
選択して、ファイル名には  
「春が来た」と付けました。

保存の設定ができましたら、  
保存 ボタンをクリックして、曲を保存します。

設定したフォルダを開くと、保存したデータが  
確認できます。

保存形式は「.dmu」になります。



# 作曲してみる

## 11 作曲した曲をMIDIファイルとして保存する

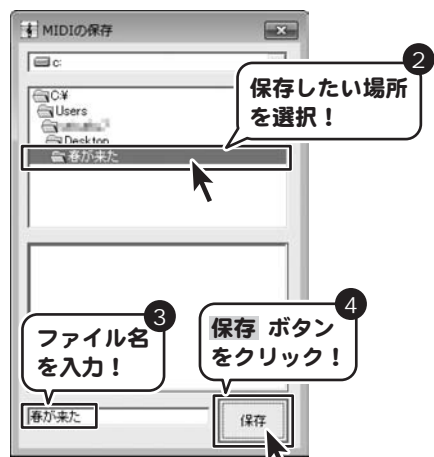
作曲した曲をMIDIファイルとして保存します。  
メニューバー → ファイル →  
「MIDIファイルの保存」をクリックします。



MIDIの保存画面が表示されますので、  
保存したい場所を選択して、  
保存名を入力します。

ここでは、デスクトップにあらかじめ  
作成しておいた「春が来た」というフォルダを  
選択して、ファイル名には  
「春が来た」と付けました。

保存の設定ができましたら、  
保存 ボタンをクリックして、曲を保存します。



設定したフォルダを開くと、保存したデータが  
確認できます。

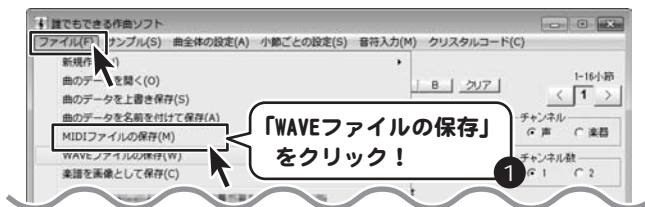
保存形式は「.mid」になります。



# 作曲してみる

## 12 作曲した曲をWAVEファイルとして保存する

作曲した曲をWAVEファイルとして保存します。  
メニューバー → ファイル →  
「WAVEファイルの保存」をクリックします。



WAVEの保存画面が表示されますので、  
保存したい場所を選択して、  
保存名を入力します。

ここでは、デスクトップにあらかじめ  
作成しておいた「春が来た」というフォルダを  
選択して、ファイル名には  
「春が来た」と付けました。

保存の設定ができましたら、  
保存 ボタンをクリックして、曲を保存します。



設定したフォルダを開くと、保存したデータが  
確認できます。

保存形式は「.wav」になります。




# 作曲してみる


誰でもできる作曲ソフトで、自動作曲の曲を作ります。  
ここでは、「春が来た」の前半4小節の曲を作る説明をします。

## 自動作曲を使った曲をつくる


### 1 4小節の曲のメロディーを作る

本ソフトを立ち上げると、自動的に4小節の曲が作られます。

 ボタンをクリックすると、4小節の曲のメロディーが書き換えられます。

 ボタンをクリックして、曲を視聴します。

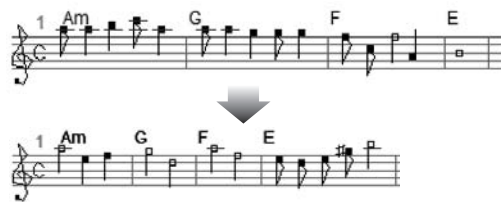
気に入るメロディーが流れるまで、

 ボタンをクリックして、メロディーを書き換えていきます。



 ボタンをクリックする度に、楽譜の音符が書き換えられます。

 ボタンをクリックして視聴しながら、気に入るメロディーを選択します。




気に入ったメロディーが出てきたら、コード表示エリアの **固定** ボタンをクリックして、「固定」の文字を表示させます。

※最初の2小節だけに入って、後の2小節が気に入らないときは、最初の2小節だけ「固定」にし、**作曲** ボタンを押すと後半の2小節のメロディーが変わります。

3、4小節も気に入ったメロディーが出てきたら、3、4小節も「固定」にします。

「固定」表示された事で、メロディーが固定され、

 ボタンをクリックしてもメロディーが変更されなくなりました。





# 作曲してみる

## 2 メロディーの音色を変える

メロディーが決まったら、メロディーの音色を変えてみます。

メニューバー「曲全体の設定」→「音色」→「メロディー」をクリックします。  
メロディーの音色画面が表示されます。

128種類の音色が表示されます。

初期設定では、「Piano 2」が選択状態になっていますので、「Piano 2」にチェックが入っています。  
メロディーの音色は、聞きたいメロディーに

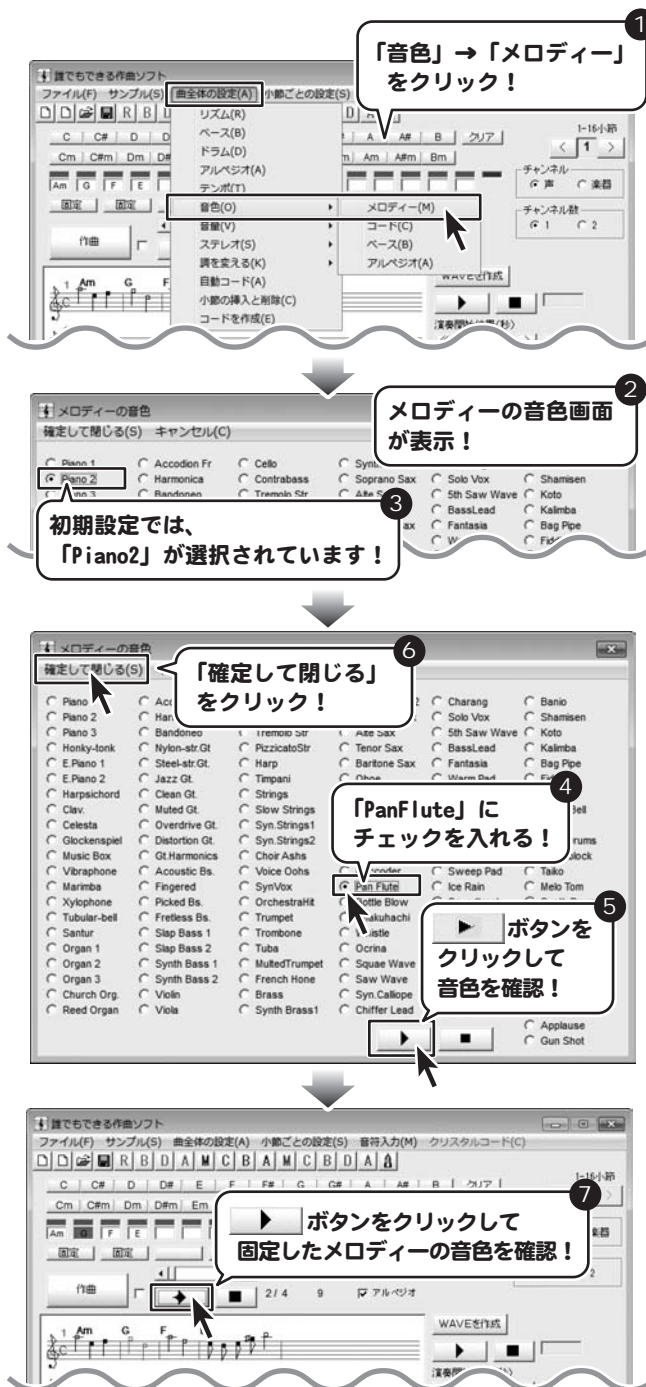
チェックを入れて、▶ ボタンをクリックすることで、視聴することができます。

ここでは、「PanFlute」を選択します。

気に入った音色に、チェックを入れて、メニューバーの「確定して閉じる」をクリックして画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

メイン画面に戻ったら、固定したメロディーが、選択した音色で再生されるので、

▶ ボタンをクリックして、確認します。



# 作曲してみる

## 3 リズムパターンを変える

次にリズムのパターンを変更します。


メニューバー「曲全体の設定」→「リズム」をクリックします。  
リズムパターン画面が表示されます。

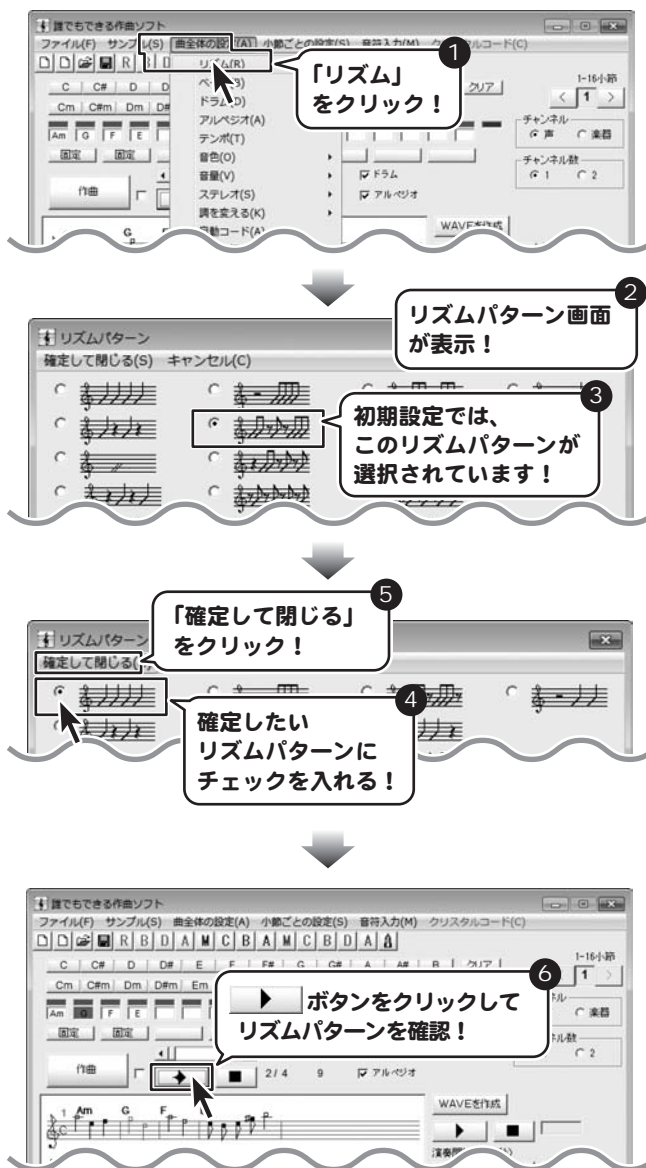
31種類のリズムパターンが表示されます。

チェックがついているパターンが現在使われているリズムパターンです。  
※リズムパターン画面では、視聴して確認することができません。  
楽譜の音符リズムで選択するか、一度「確定して閉じる」をクリックしてから、メイン画面でリズムパターンを確認します。

ここでは、右図のリズムパターンを選択します。  
メニューバー「確定して閉じる」をクリックして画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

メイン画面に戻ったら、固定したメロディーに選択したリズムパターンが設定されて再生されますので、

 ボタンをクリックして、確認します。



# 作曲してみる

## 4 ベースパターンを変える

次にベースのパターンを変更します。

メニューバー「曲全体の設定」→「ベース」をクリックします。  
ベースパターン画面が表示されます。

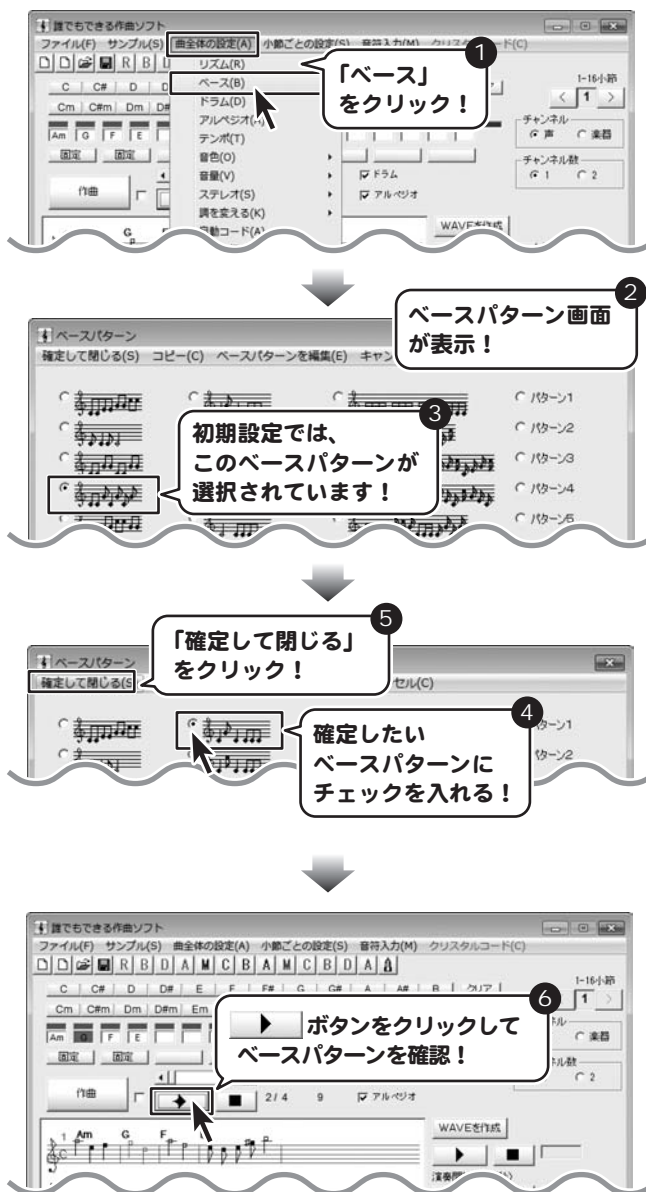
33種類のベースパターンが表示されます。

チェックがついているパターンが現在使われているベースパターンです。  
※ベースパターン画面では、視聴して確認することができません。  
楽譜の音符リズムで選択するか、一度「確定して閉じる」をクリックしてから、メイン画面でベースパターンを確認します。

ここでは、右図のベースパターンを選択します。  
メニューバー「確定して閉じる」をクリックして画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

メイン画面に戻ったら、固定したメロディーに選択したベースパターンが設定されて再生されますので、

 ボタンをクリックして、確認します。

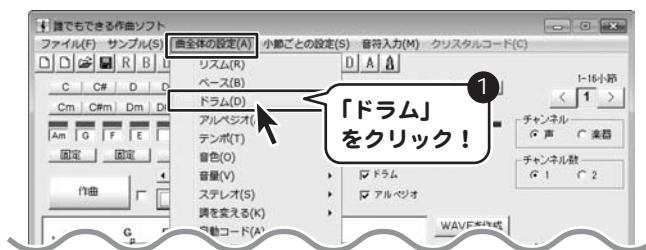


# 作曲してみる

## 5 ドラムパターンを変える


次にドラムのパターンを変更します。

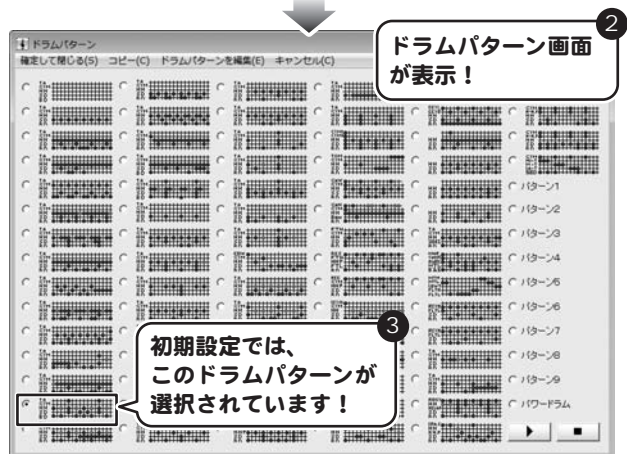
メニューバー「曲全体の設定」→「ドラム」をクリックします。  
ドラムパターン画面が表示されます。



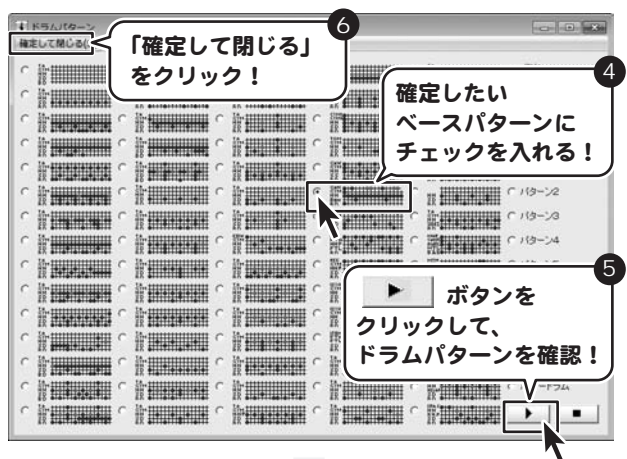
79種類のドラムパターンが表示されます。

初期設定では、右図のパターンにチェックが入っています。  
聞きたいドラムパターンにチェックを入れて、

 ボタンをクリックすることで、視聴することができます。




ここでは、右図のドラムパターンを選択します。  
メニューバー「確定して閉じる」をクリックして画面を閉じて、メイン画面に戻ります。



# 作曲してみる

メイン画面に戻ったら、  
固定したメロディーに選択したドラムパターン  
が設定されて再生されますので、

 ボタンをクリックして、確認します。



## 6 テンポを変える

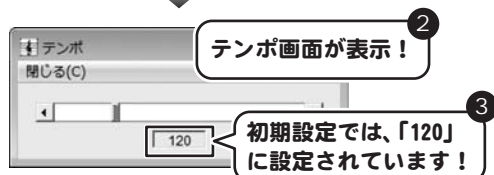
次に、テンポを変えます。

メニューバー「曲全体の設定」→  
「テンポ」をクリックします。  
テンポ画面が表示されます。



テンポ画面が表示されます。

初期設定では、「120」に設定されています。  
速度調節バーを左右にドラッグして、  
50(遅い)~350(早い)まで、  
曲のテンポが変えられます。




ここでは、「150」に設定します。

メニューバーの 閉じる ボタンを  
クリックして画面を閉じて、メイン画面に  
戻ります。



メイン画面に戻ったら、  
固定したメロディーが設定したテンポで  
再生されますので、

 ボタンをクリックして、確認します。





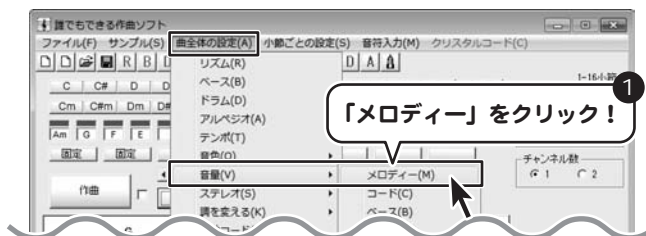
# 作曲してみる

## 7 音量を変える

音量は、「メロディー」「ベース」「コード」「ドラム」「アルペジオ」の5つの項目別に設定することができます。どの項目も同様の手順の音量調節になります。ここでは、「メロディー」の音量を変える説明をします。

メロディーの音量を変えてみます。

メニューバー「曲全体の設定」→「音量」→「メロディー」をクリックします。テンポ画面が表示されます。

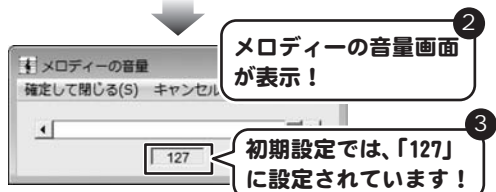


メロディーの音量が表示されます。

初期設定では、最大音量の「127」に設定されています。音量調節バーを左右にドラッグして、0(小さい)~127(大きい)まで、メロディーの音量が変えられます。

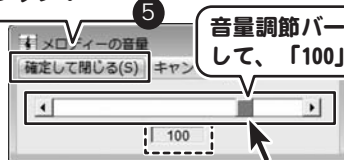
ここでは、「100」に設定します。

メニューバーの「確定して閉じる」ボタンをクリックして画面を閉じて、メイン画面に戻ります。



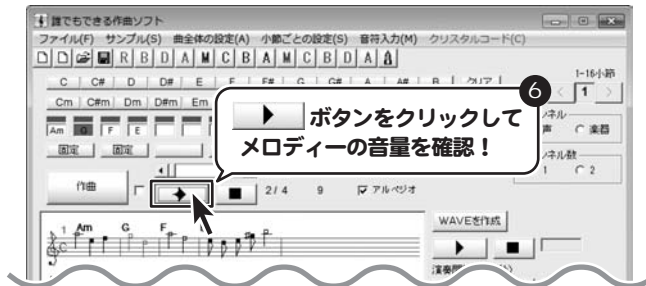
「確定して閉じる」をクリック!

音量調節バーをドラッグして、「100」に設定!



メイン画面に戻ったら、固定したメロディーが設定したテンポで再生されますので、

▶ ボタンをクリックして、確認します。メロディーの音量だけが少し小さく聞こえます。



# 作曲してみる

## 8 小節の挿入で作成した曲をコピーする

ここでは、今作成した4小節の曲をコピーして8小節の今日に編集する方法を説明します。

小節の挿入をします。

メニューバー「曲全体の設定」→  
「小節の挿入と削除」をクリックします。  
小節の挿入と削除画面が表示されます。

小節の挿入と削除画面が表示されます。

セルの中に、1~255までの数字が  
書かれています。(小節の数です)  
曲に使用されている小節は「白色」、  
使用されていない小節は「灰色」で  
表示されます。  
今、作成中の曲は4小節の曲なので、  
1(1,2小節)のセルと3(3,4小節)のセルが  
「白色」で表示されています。

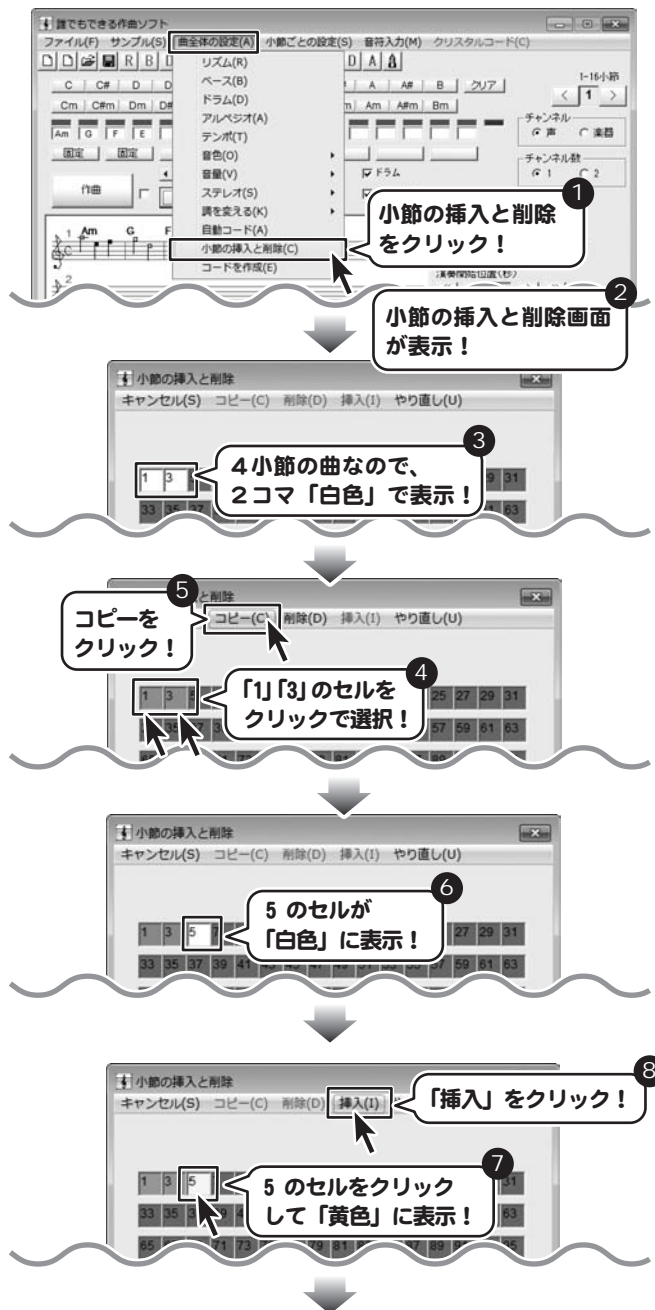
ここでは、4小節分コピーをするので、  
「1」「3」のセルをクリックで選択します。  
選択されるとセルの色が「ピンク色」に  
変わります。

セルが選択状態になると、メニューバーの  
「コピー」がクリックできるようになりますので、  
メニューバー→「コピー」をクリックします。

「5」のセルが白色で表示されます。


次に「5」のセルをクリックして選択状態にすると、  
「黄色」に表示されます。

メニューバーの「挿入」がクリックできるよう  
になりますので、「挿入」をクリックすると、  
小節の挿入と削除画面が閉じて、  
メイン画面に戻ります。




# 作曲してみる

メイン画面に戻ったら、楽譜表示エリアに、4小節文の楽譜がコピーされて8小節の曲に編集されているのを確認してください。

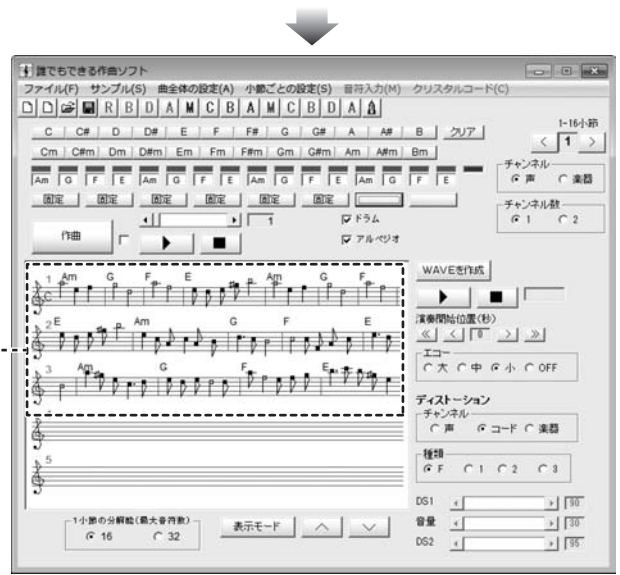
 ボタンをクリックして、確認します。同じ4小節のメロディーが2回繰り返されます。

8小節の曲に書き足されました！



この様に、小節の挿入と削除・固定の切り替えと  ボタンでの自動自作機能を使って、曲を長くしていく事ができます。

曲が長くなりました！

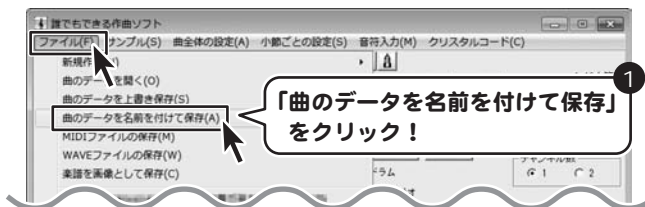




# 作曲してみる

## 9 自動作曲した曲を保存する

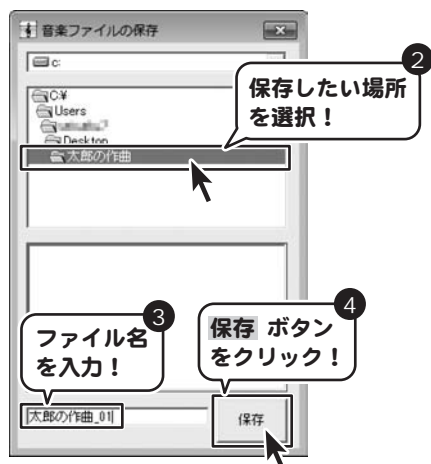
作曲した曲を保存します。  
メニューバー → ファイル →  
「曲のデータを名前を付けて保存」を  
クリックします。



音楽ファイルの保存画面が表示されますので、  
保存したい場所を選択して、  
保存名を入力します。

ここでは、デスクトップにあらかじめ  
作成しておいた「太郎の作曲」というフォルダを  
選択して、ファイル名には  
「太郎の作曲\_01」と付けました。

保存の設定ができましたら、  
保存 ボタンをクリックして、曲を保存します。



設定したフォルダを開くと、保存したデータが  
確認できます。

保存形式は「.dmu」になります。



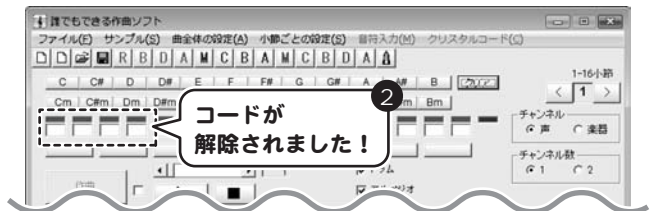
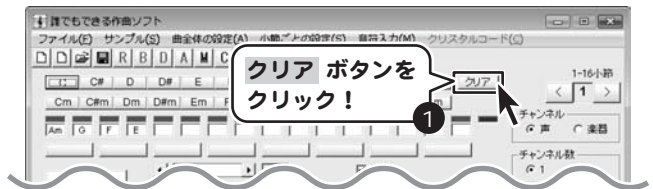
## その他の機能

コードをセットした小節の長さが、曲の長さになります。  
ここでは4小節にコードをセットし、4小節の曲を作成します。

### コードの入力をする

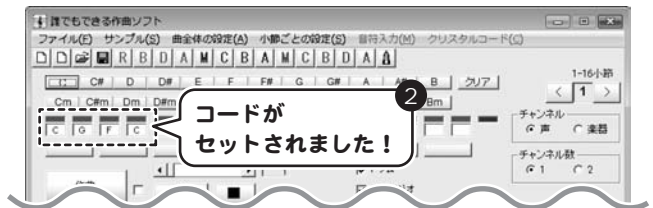
#### 1 コードをクリアします。

クリア ボタンを4回クリックして、  
今セットされているコードを解除します。



#### 2 コードセットします。

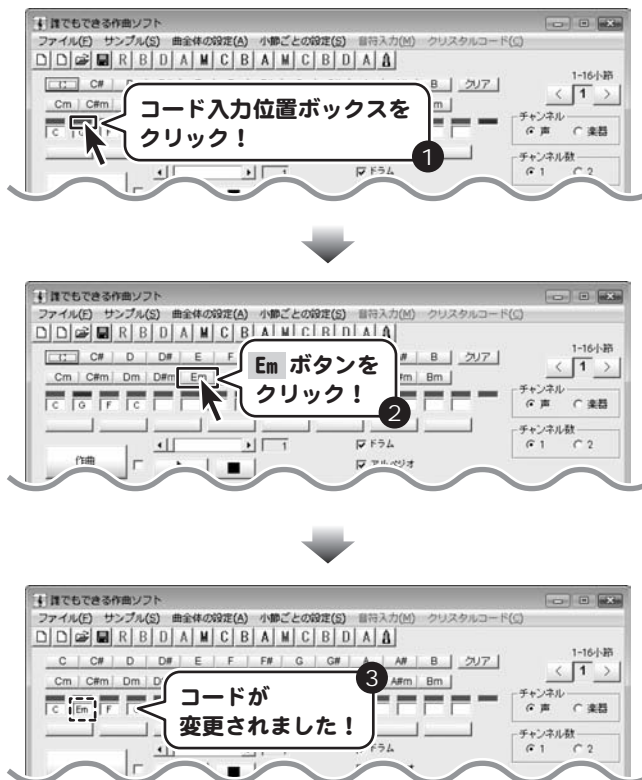
コードボタンをC → G → F → Cとクリックして、  
コードをセットします。  
これで4小節の曲を作ることができます。



## その他の機能

### 2 コードを変更します。

コードを変更したい2小節目の  
コード入力位置ボックスをクリックし、  
コードボタンの Em をクリックしますと、  
選択した小節のコードが変更されます。



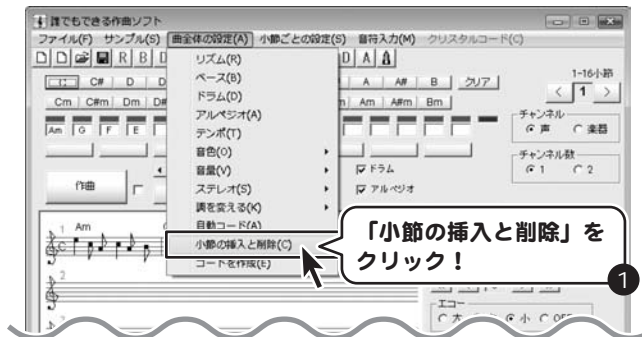
## その他の機能

小節の挿入と削除を使うと、曲に前奏をつける作業や、曲を繰り返す作業が簡単になります。

### 小節の挿入と削除

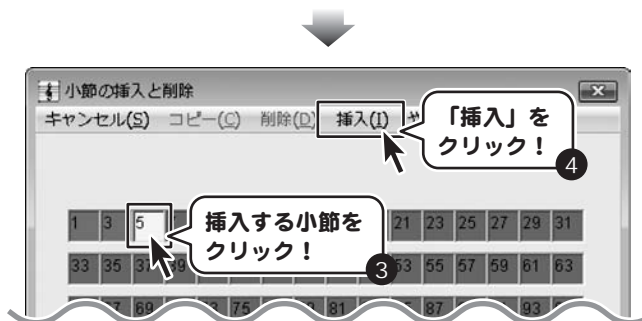
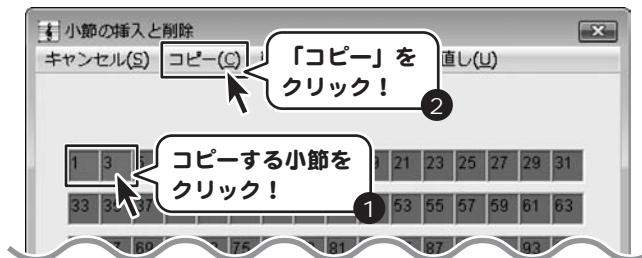
#### 1 小節の挿入と削除画面を表示します

メニューから「曲全体の設定」→  
「小節の挿入と削除」をクリックします。



#### 2 コピーする小節を選択し、挿入します。

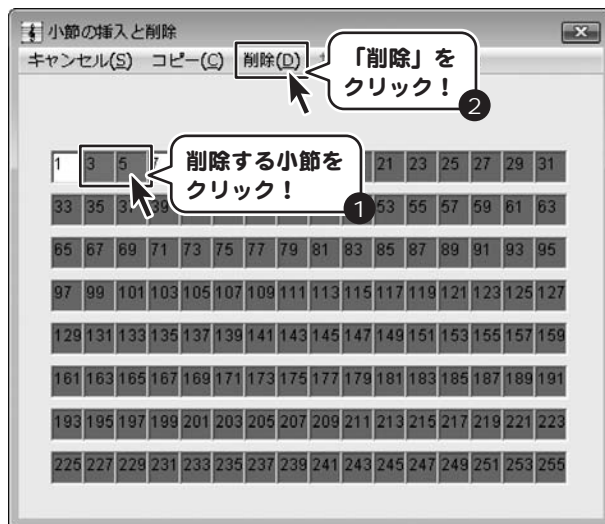
コピーしたい小節の始まりと終わりを  
クリックして、コピーする範囲を選択して、  
メニューの「コピー」をクリックします。  
コピーができましたら、  
小節を挿入したい位置をクリックして、  
メニューの「挿入」をクリックします。



## その他の機能

### 3 小節を削除します

小節の挿入と削除画面にて、  
削除したい小節の始まりと終わりを  
クリックして、削除する範囲を選択して、  
メニューの削除をクリックしますと、  
選択した小節が削除されます。



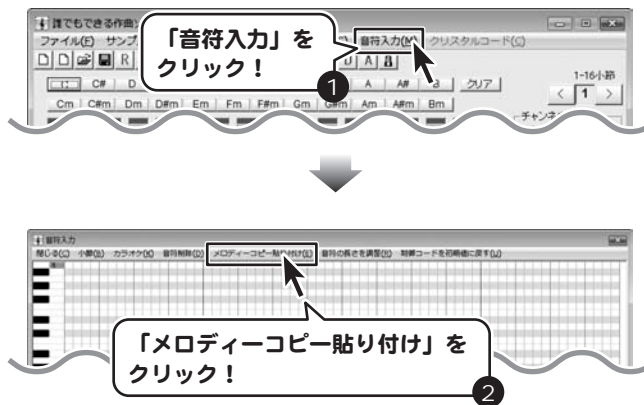
## その他の機能

「音符入力」の画面から、メロディーを小節ごとにコピーや貼り付けをすることができます。

### メロディーのコピーと貼り付け

#### 1 メロディーのコピー貼り付け画面を表示します

メニューから「音符入力」をクリックすると、音符入力画面を表示されますので、音符入力画面のメニューから「メロディーコピー貼り付け」をクリックします。



#### 2 メロディーをコピーして貼り付けます

コピーしたい小節をクリックして選択し、貼り付けたい小節を右クリックしますと、選択した小節のメロディーが右クリックした小節に貼り付けられます。



## その他の機能

メロディーに合ったコード（和音）を、自動でつけることができます。

### 自動コード

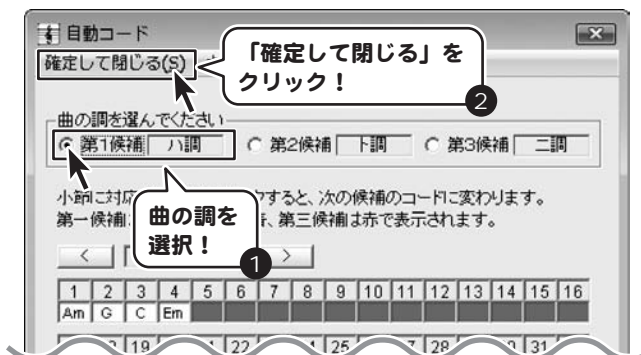
#### 1 自動コード画面を表示します。

メニューから「曲全体の設定」→  
「自動コード」をクリックします。



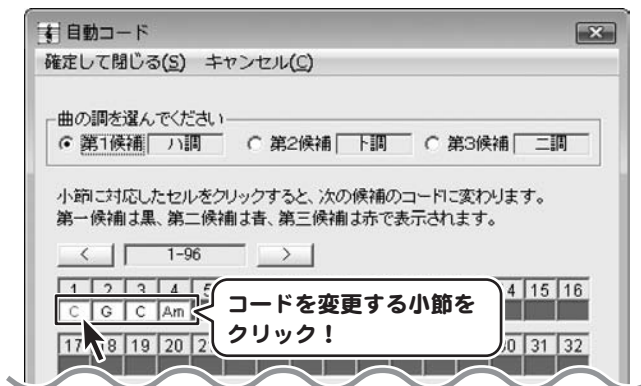
#### 2 自動コードの設定をします。

曲の調を選択して、  
メニューの「確定して閉じる」をクリックします。



#### 3 自動コードの設定を調整します。

元の画面で再生し、違和感があったときは  
コードを調整することができます。  
自動コード画面で、  
違和感のあった小節のコードをクリックすると、  
コードが切り替わります。  
1回クリックすると第二候補に、  
2回クリックすると第三候補が表示されます。



## その他の機能

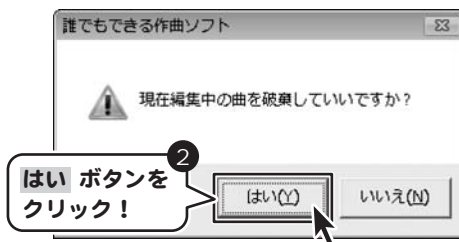
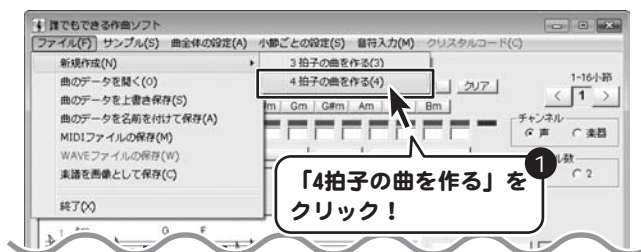
自動作曲で曲を作る場合、最初に各小節にコードを設定します。

### サンプルコード進行を使って作曲する

#### 1 新しく曲を作成します

メニューの「ファイル」→「新規作成」で3拍子の曲を作るか、4拍子の曲を作るかを選択します。

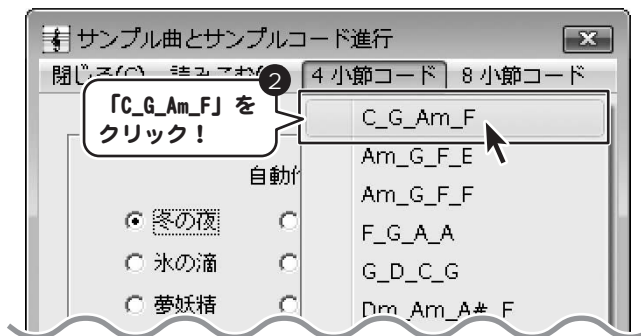
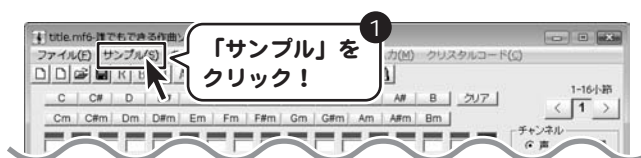
ここでは4拍子を選択します。確認画面が表示されますので、はい ボタンをクリックします。



#### 2 サンプルコードを選択します

メニューの「サンプル」をクリックすると、サンプル曲とサンプルコード進行画面が表示されますので、

画面のメニューから「4 小節コード」→サンプルコードを選択します。ここでは「C\_G\_Am\_F」を選択します。





## その他の機能

### 3 自動作曲をします

メイン画面に戻りますと、コード表示ボックスに選択したコードが表示されます。

**作曲** ボタンをクリックしますと、楽譜表示エリアにメロディが表示されますので、▶ボタンをクリックして曲を聴いてください。

気に入ったメロディーがあったら、**固定** ボタンをクリックしますと、その小節のメロディーを固定することができます。

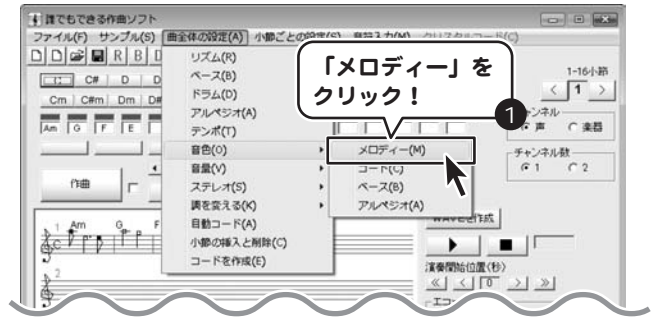


# その他の機能

## 音色などの設定をする

### 1 曲全体の音色を変更する

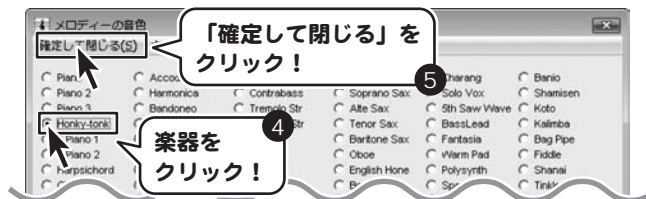
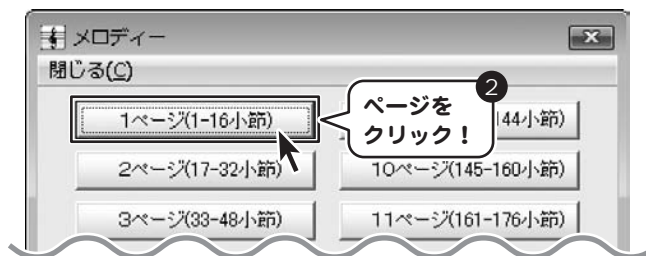
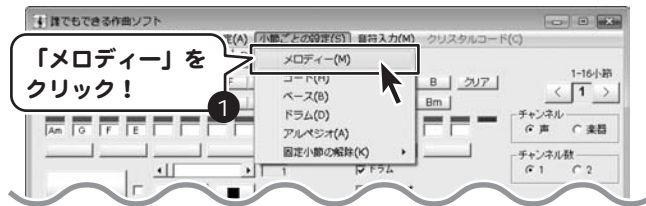
メニューから「曲全体の設定」→  
「音色」と選択し、  
音色を変更したいパートを選択します。  
ここでは「メロディー」を選択します。  
メロディーの音色画面が表示されますので、  
メロディーに使用したい楽器を選択し、  
▶ ボタンをクリックすると、  
楽器の音色を確認することができます。  
楽器が選択できたら、  
「確定して閉じる」をクリックすると、  
メロディーの音色が変更されます。



# その他の機能

## 2 小節ごとに音色を変更する

メニューから「小節ごとの設定」をクリックし、音色を変更したいパートを選択します。ここでは「メロディー」を選択します。メロディー画面が表示されましたら、変更する小節のあるページをクリックし、小節をクリックしますと、メロディーの音色画面が表示されますので、楽器をクリックして、「確定して閉じる」をクリックしますと、選択した小節の音色が変更されます。



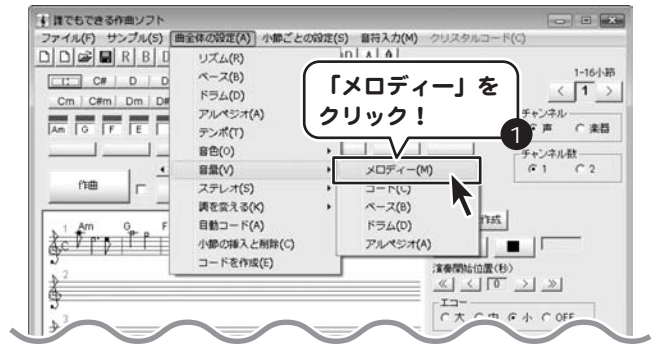
楽器が変更されました!



## その他の機能

### 3 曲全体の音量を変更します

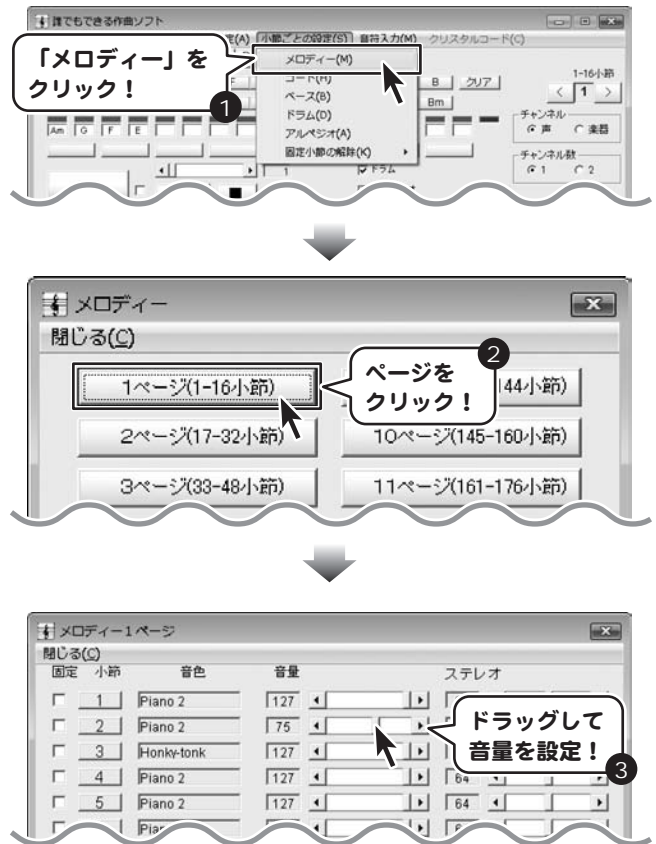
メニューから「曲全体の編集」→  
「音量」と選択し、  
音量を変更したいパートを選択します。  
ここでは「メロディー」を選択します。  
メロディーの音量画面が表示されましたら、  
つまみをドラッグして、音量を設定します。  
音量は0～127の間で設定することができます。  
「確定して閉じる」をクリックしますと、  
メロディーの音量が変更されます。



## その他の機能

### 4 小節ごとに音量を変更する

メニューから「小節ごとの設定」をクリックし、音量を変更したいパートを選択します。ここでは「メロディー」を選択します。メロディー画面が表示されましたら、変更する小節のあるページをクリックします。変更する小節の音量のつまみをドラッグして、音量を設定します。



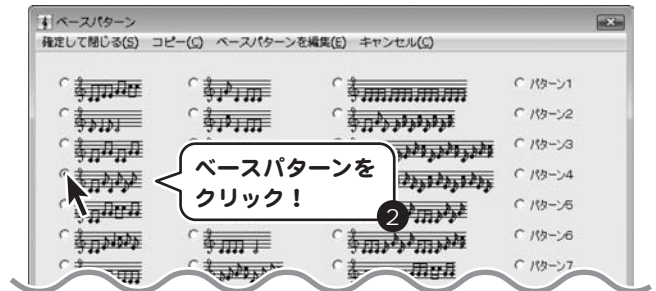
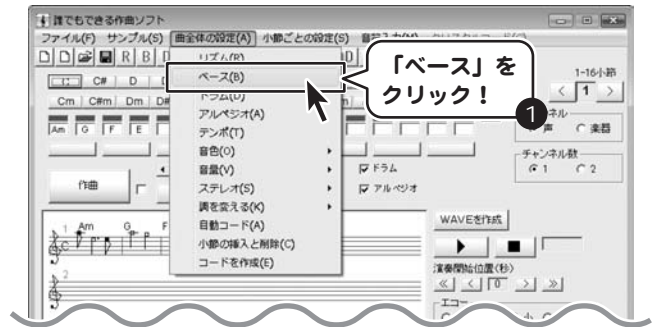
## その他の機能

### 5 曲全体のベースパターンを変更する

メニューから「曲全体の編集」→「ベース」をクリックします。

ベースパターン一覧が表示されますので、好きなベースパターンを選択し、「確定して閉じる」をクリックします。

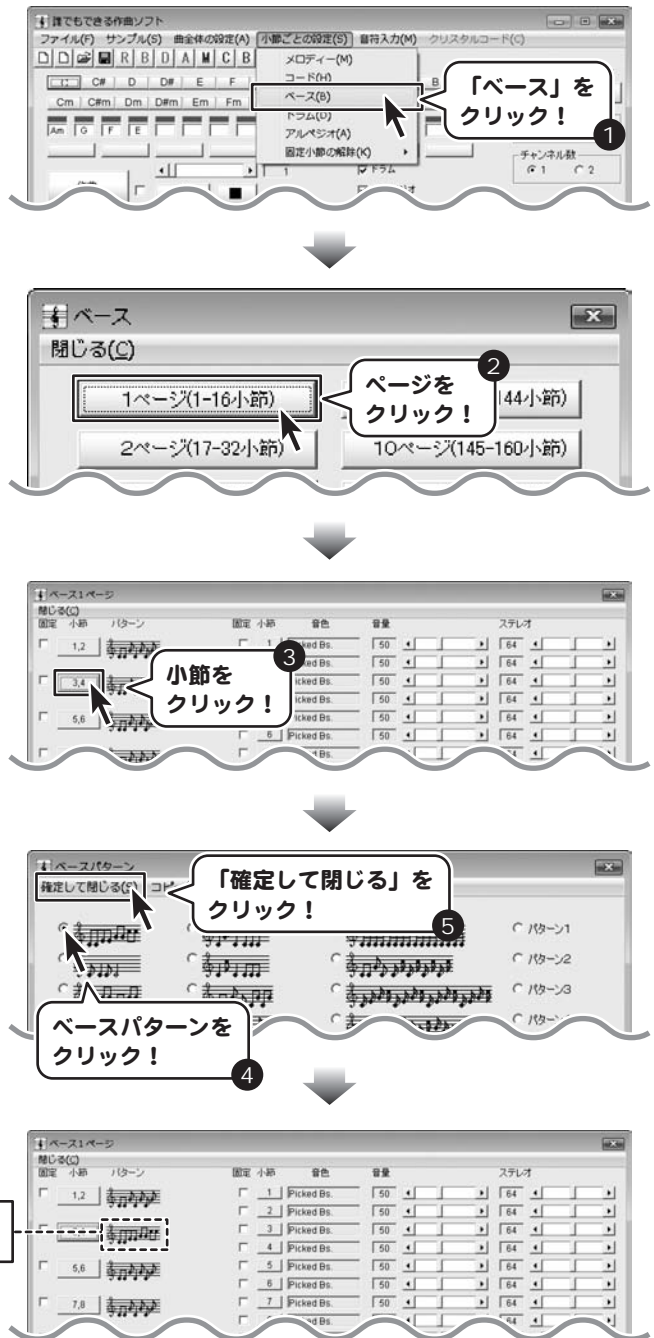
メイン画面で作曲 ボタンをクリックすると、ベースパターンが変更されます。



## その他の機能

### 6 小節ごとにベースパターンを変更する

メニューから「小節ごとの設定」→  
「ベース」をクリックします。  
ベース画面が表示されましたら、  
変更する小節のあるページをクリックし、  
小節をクリックしますと、  
ベースパターン画面が表示されますので、  
ベースパターンをクリックして、  
「確定して閉じる」をクリックしますと、  
選択した小節のベースパターンが、  
変更されます。

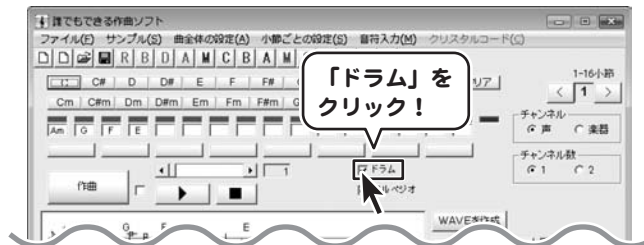


## その他の機能

### 7 ドラムの設定をする

曲にドラムを使うときは、メイン画面の「ドラム」をクリックしてチェックマークをつけます。ドラムを使わないときは、チェックマークをはずします。

ドラムも他の楽器と同じように、曲全体と小節ごとに音色やパターン、音量の設定をすることができます。



### 8 アルペジオの設定をする

曲にアルペジオを使うときは、メイン画面の「アルペジオ」をクリックしてチェックマークをつけます。アルペジオを使わないときは、チェックマークをはずします。

アルペジオも他の楽器と同じように、曲全体と小節ごとに音色やパターン、音量の設定をすることができます。





## その他の機能

「メロディー」「コード」「ベース」「ドラム」「アルペジオ」に、ステレオの設定ができます。

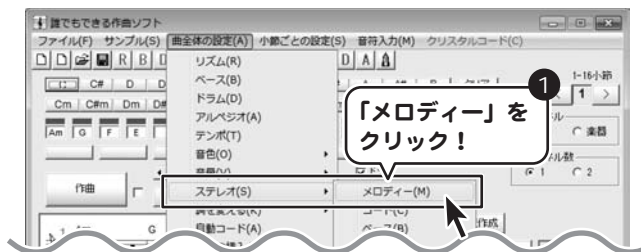
### ステレオの調節で音の出る方向を設定する

ここでは、「メロディー」のステレオを設定します。

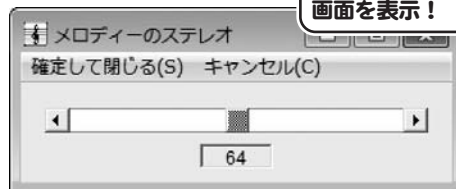
#### 全小節を1つの値に設定する

#### 1 メロディーのステレオ画面を表示します

メニューの「曲全体の設定」→「ステレオ」→「メロディー」を選択して、メロディーのステレオ画面を表示します。



メロディーのステレオ画面を表示！

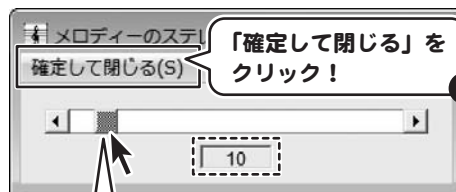


#### 2 ステレオを調節します

ステレオバランス数を見ながら、調節バーを左右にドラッグして数値を変更します。

ステレオは「0～127」の数値で調節します。初期設定では設定されている「64」が、左右のステレオの音量バランスが均一の数値になります。数値が「0」に近いほど、右のステレオから、「127」に近いほど左のステレオからの音量が大きくなります。

ここでは、「10」に設定します。メニューの「確定して閉じる」をクリックして、




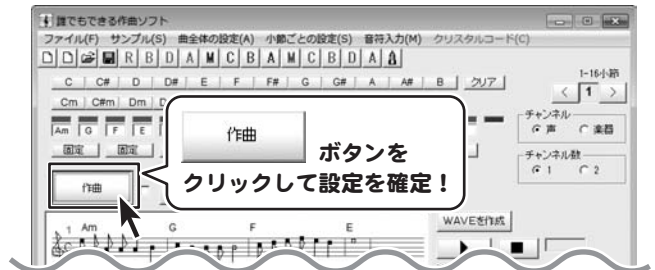
ドラッグして、ステレオバランスを設定！

## その他の機能


### 3 ステレオの設定を確認します

メイン画面に戻ったら、

 ボタンをクリックして、ステレオの設定の変更を確認して、曲に反映させます。  
※この操作をしないと、ステレオバランスは変更されません。  
※曲の変更をしたくない場合は、予めコード表示エリアの **固定設定** ボタンの表示を「固定」に設定しておく必要があります。



### 4 視聴します

 ボタンをクリックして、視聴してみると、メロディーの音量バランスが変更されているのが確認できます。ここでは、左のステレオから聞こえるメロディー音量が大きく聞こえます。

※パソコンの設定内容によっては、明確に確認できない場合もあります。



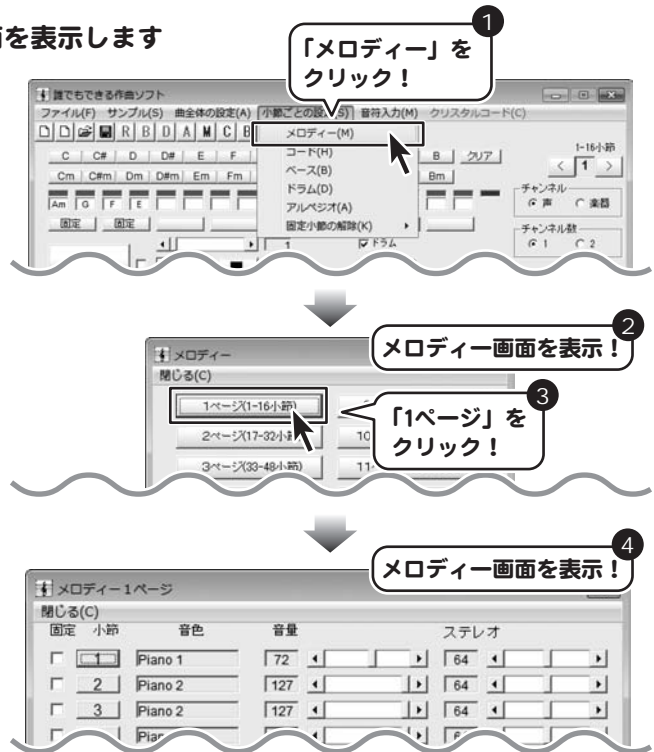
# その他の機能

## 小節ごとに設定する

### 1 小節ごとの設定 メロディーページ画面を表示します

メニューの「小節ごとの設定」→「メロディー」をクリックして、メロディー画面を表示します。

「1ページ(1~16小節)」をクリックして、メロディーページ画面を表示します。



### 2 ステレオを調節します

ステレオバランス数を見ながら、調節バーを左右にドラッグして数値を変更します。

ステレオは「0~127」の数値で調節します。初期設定では設定されている「64」が、左右のステレオの音量バランスが均一の数値になります。数値が「0」に近いほど、右のステレオから、「127」に近いほど左のステレオからの音量が大きくなります。


ここでは、1小節目を「43」に、2小節目を「86」に設定します。メニューの「閉じる」をクリックします。



## その他の機能

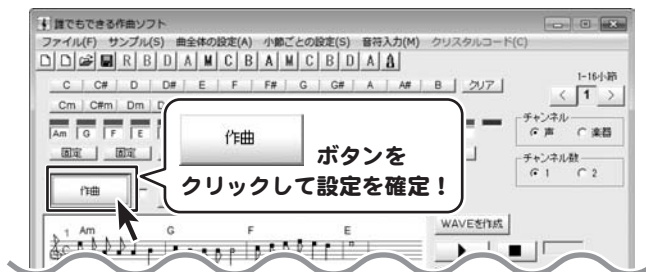
### 3 ステレオの設定を確認します

メイン画面に戻ったら、


 ボタンをクリックして、ステレオの設定の変更を確認して、曲に反映させます。

※この操作をしないと、ステレオバランスは変更されません。

※曲の変更をしたくない場合は、予めコード表示エリアの **固定設定** ボタンの表示を「固定」に設定しておく必要があります。



### 4 視聴します

 ボタンをクリックして、視聴してみると、小説ごとにメロディーの音量バランスが変更されているのが確認できます。

※パソコンの設定内容によっては、明確に確認できない場合もあります。



# その他の機能

## 三連符を作成する

三連符は、「音符の長さを調整」画面で作ります。

「音符の長さを調整」では、音符の長さを少しだけ短く、または長くすることができます。(長さは3連符に対応)

この機能を使って3連符を作ります。

音符の描かれているセルの上のセルを右クリックするとRが表示され、音符が少し右に動きます。

音符の描かれているセルの上のセルを左クリックするとLが表示され、音符が少し左に動きます。

音符の描かれているセルをクリックすると、RとLの文字が消え、音符の長さは元に戻ります。

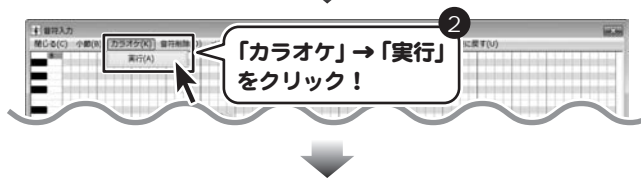
### 16分音符2個、8分音符1個で3連符を作る

#### 1 音符の長さ調節画面を表示します

メニューの「音符入力」を選択して、  
音符入力画面を表示します。

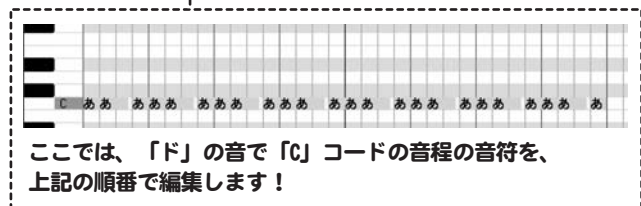


音符入力画面のメニューの  
「カラオケ」→「実行」をクリックして、  
エディットページの音符を削除します。



音符を打ち込んで編集します。  
ここでは、三連符の作成が分かりやすい様に、  
16分音符2個・8分音符1個・16分音符2個  
を繰り返して、2小節作成します。

※右下の図を参考に作成してください。



# その他の機能

## 2 音符の長さを調整します

音符入力画面のメニューから「音符の長さを調整」をクリックして、音符の長さを調整画面を表示します。

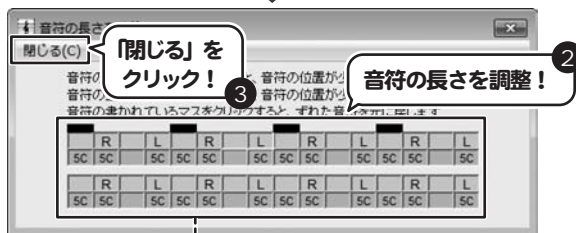
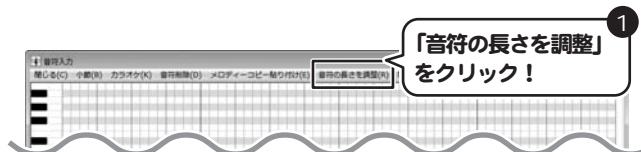
音符の長さを調整画面で音符一つ一つの長さを微妙に調整することで、三連符を作成します。

ここでは右図のように、最初の8分音符を右に長くして、次の16分音符を左に長く設定することで、並んだ3つの音符で三連符を作成します。それを繰り返して、三連符を連続して作成します。

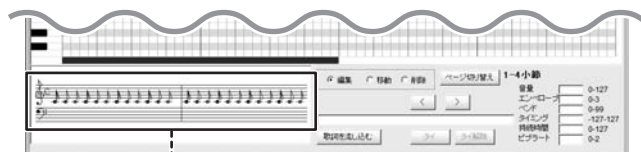
音符の長さの調整が済んだら、メニュー→「閉じる」をクリックして、音符の長さを調整画面を閉じて、音符入力画面に戻ります。

音符入力画面に戻って、五線譜を確認します。

楽譜上では、左に動かした音符は紫、右に動かした音符は緑で表示されます。2小節に4分音符長の3連符を8個作っています。



上記のように、隣り合った8分音符と16分音符を近づける感じで、音符の長さを調整します!




左に動かした音符は紫、右に動かした音符は緑で表示されます。


## その他の機能

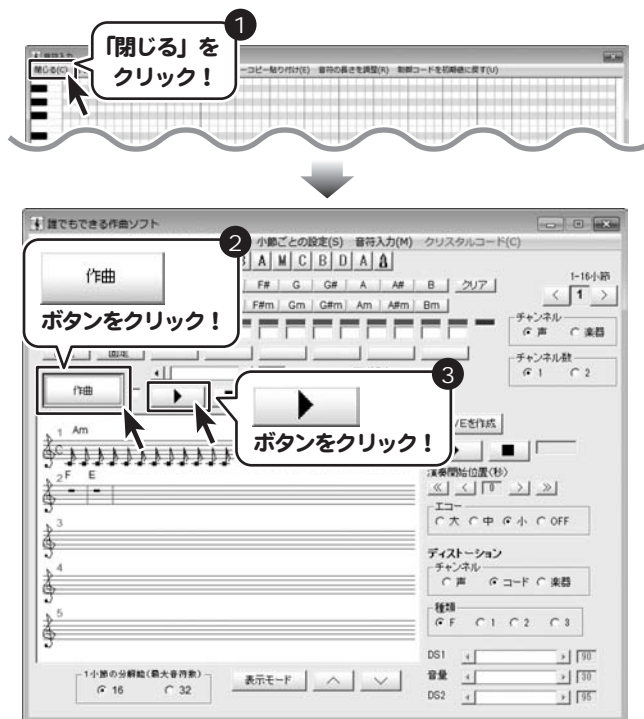
### 3 視聴してみます

音符入力画面のメニュー → 「閉じる」をクリックして、メイン画面に戻ります。

メイン画面に戻ったら、

 ボタンをクリックして、設定を確定させます。

 ボタンをクリックして、作成した三連符を視聴して確認します。



## その他の機能

### 8分音符2個、16分音符1個で3連符を作る

#### 1 音符の長さ調節画面を表示します

メニューの「音符入力」を選択して、  
音符入力画面を表示します。

音符入力画面のメニューの  
「カラオケ」→「実行」をクリックして、  
エディットページの音符を削除します。

音符を打ち込んで編集します。  
ここでは、三連符の作成が分かりやすい様に、  
16分音符1個・8分音符2個  
を繰り返して、2小節作成します。

※右下の図を参考に作成してください。

1 「音符入力」をクリック！

2 「カラオケ」→「実行」をクリック！

3 エディットページに音符を編集します！

ここでは、「ド」の音で「C」コードの音程の音符を、上記の順番で編集します！



# その他の機能

## 2 音符の長さを調整します

音符入力画面のメニューから「音符の長さを調整」をクリックして、音符の長さを調整画面を表示します。

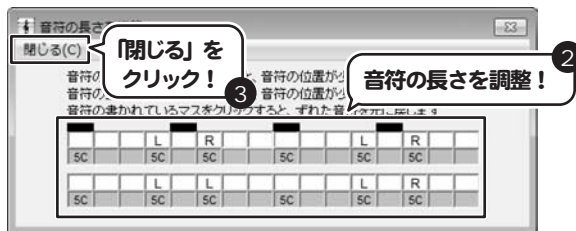
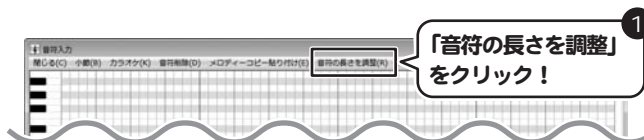
音符の長さを調整画面で、音符一つ一つの長さを微妙に調整することで、三連符を作成します。

ここでは右図のように、最初の16分音符を左に長くして、次の8分音符を右に長く設定することで、並んだ3つの音符で三連符を作成します。それを繰り返して、三連符を連続して作成します。

音符の長さの調整が済んだら、メニュー→「閉じる」をクリックして、音符の長さを調整画面を閉じて、音符入力画面に戻ります。

音符入力画面に戻って、五線譜を確認します。

楽譜上では、左に動かした音符は紫、右に動かした音符は緑で表示されます。2小節に2分音符長の3連符を、4個作っています。





## その他の機能

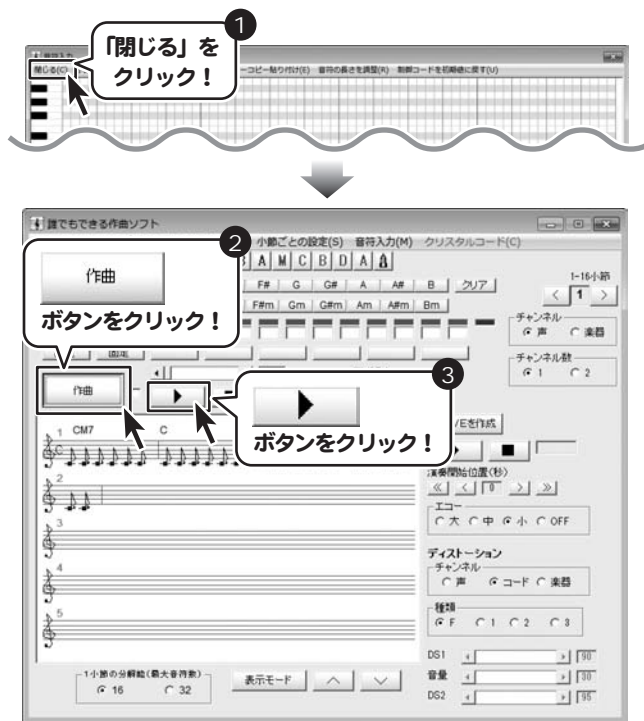
### 3 視聴してみます

音符入力画面のメニュー → 「閉じる」をクリックして、メイン画面に戻ります。

メイン画面に戻ったら、

 ボタンをクリックして、設定を確定させます。

 ボタンをクリックして、作成した三連符を視聴して確認します。



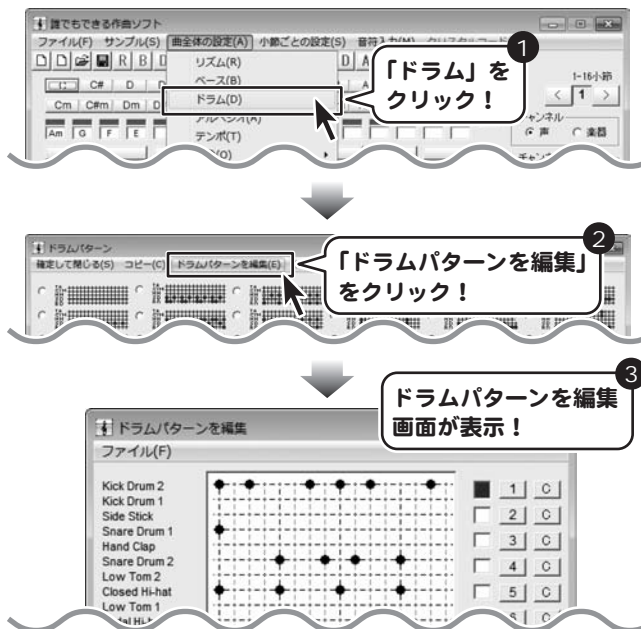
## その他の機能

### ドラムパターンを編集する

47種類の打楽器を組み合わせてドラムパターンを作ることができます

#### 1 ドラムパターン編集画面を表示します

メニュー → 「曲全体の設定」 → 「ドラム」を  
クリックします。  
「ドラムパターン」画面が表示されますので、  
メニュー → 「ドラムパターンを編集」を  
クリックして、ドラムパターンの編集画面を  
表示します。



#### 2 ドラムパターンをコピーする

ドラムパターンは、パターン1～パターン3まで、  
初期設定で適当なドラムパターンが  
編集されています。  
ここでは、パターン1をアレンジして、  
オリジナルのドラムパターンを編集します。

まず、**1** ボタンをクリックすると、  
エディット画面にパターン1のドラムパターンが  
表示されます。  
次に、**C** ボタンをクリックすると、

**1** ボタンの左の枠内が赤い表示に  
切り替わります。  
パターン1のドラムパターンがコピーされます。



## その他の機能

次に、コピーしたドラムパターンを、パターン4にペーストします。


**4** ボタンをクリックすると、左の枠内の表示が青くなり、エディット画面に、パターン1のドラムパターンがコピーされました。

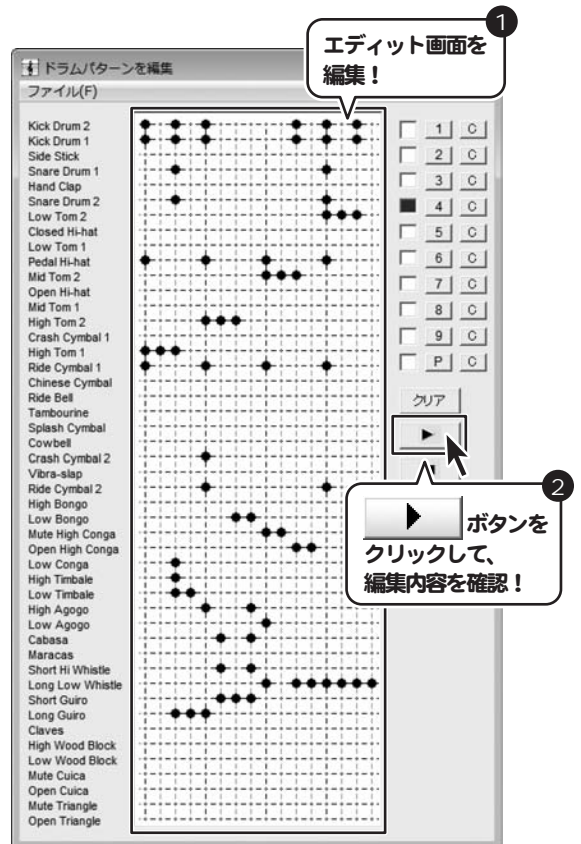


### 3 ドラムパターンを編集する

エディット画面は、縦軸が「楽器」で、横軸が「時間」です。交点をクリックすると、黒点が表示されます。もう一度クリックすると、黒点が消えます。黒点で音が出ます。

47種類のドラム音を好きな表現編集します。

途中で、編集パターンを視聴したい時は、 ボタンをクリックして、編集内容を確認します。



## その他の機能

### 4 ドラムパターンを保存する

パターンが編集できたら、一度、作成したドラムパターンを保存しておきます。

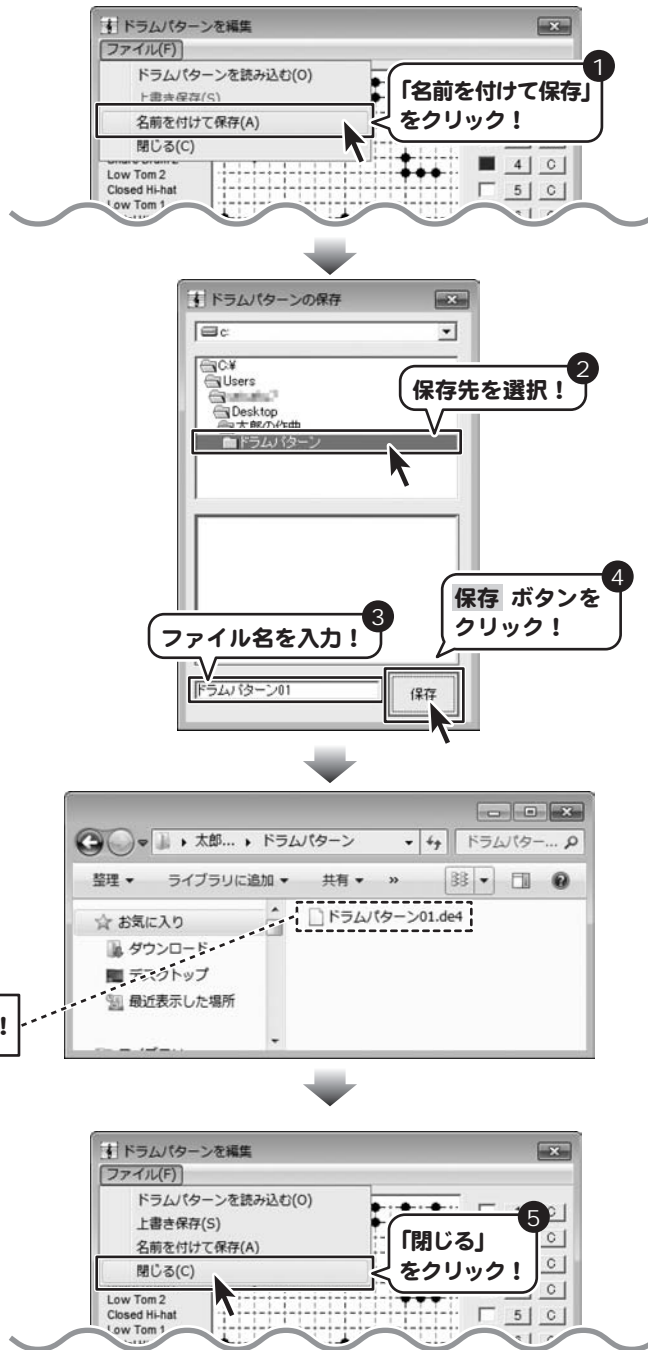
メニュー → 「ファイル」 → 「名前を付けて保存」をクリックして、ドラムパターンの保存画面を表示します。

保存先を選択して、ファイル名を入力したら、**保存** ボタンをクリックします。

保存先のフォルダを開いて、ファイルを確認します。  
保存形式は、「.de4」になります。

ファイルが保存されました！

ドラムパターンの保存ができたら、ドラムパターンの編集画面を閉じます。





## その他の機能

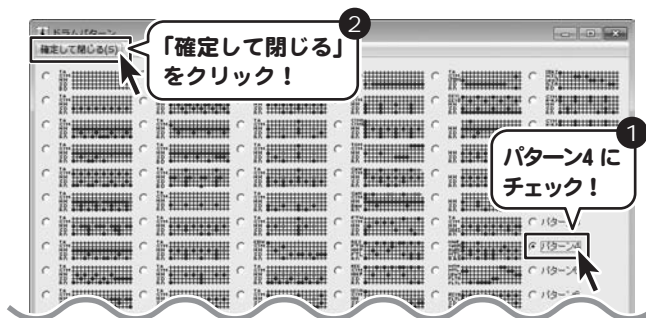
### 5 ドラムパターンを確定する

ドラムパターン画面に戻ったら、  
先程、編集したパターン4にチェックを入れて、  
メニュー → 「確定して閉じる」をクリックします。

メイン画面に戻りますので、

 ボタンをクリックして、  
編集したドラムパターンを確定させます。

 ボタンをクリックして、  
編集したドラムパターンを、  
メロディーと一緒に聴いてみます。



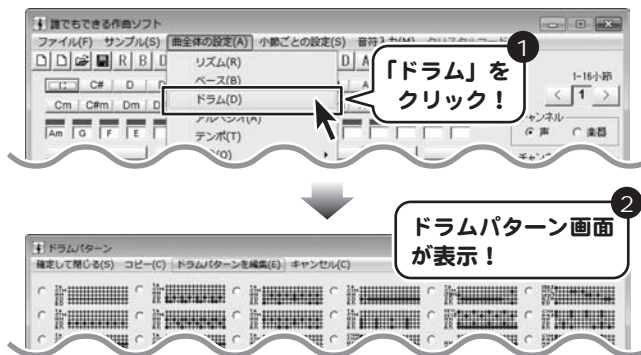
## その他の機能

パワードラムとは、複雑なドラムパターンを自動的に作成する機能です。  
非常に強力なリズムを作ることができます。

### パワードラムを作成する

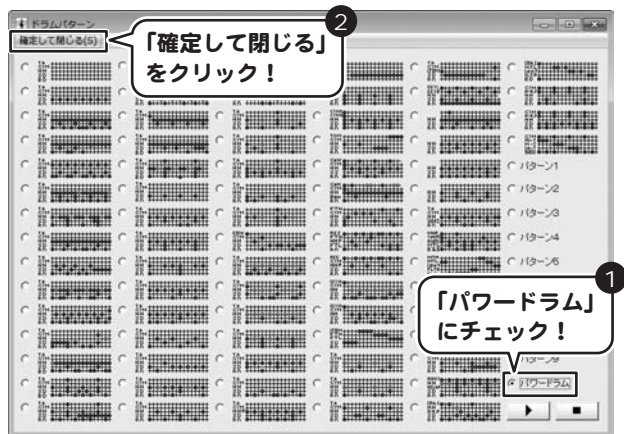
#### 1 ドラムパターン画面を表示します

メニュー → 「曲全体の設定」 → 「ドラム」を  
クリックします。  
「ドラムパターン」画面が表示されます。



#### 2 パワードラムを選択します

ドラムパターン画面のオリジナルパターン一覧  
の中から、「パワードラム」にチェックを入れて、  
メニュー → 「確定して閉じる」をクリックします。



メイン画面に戻りますので、

作曲

ボタンをクリックして、



ボタンをクリックすると、

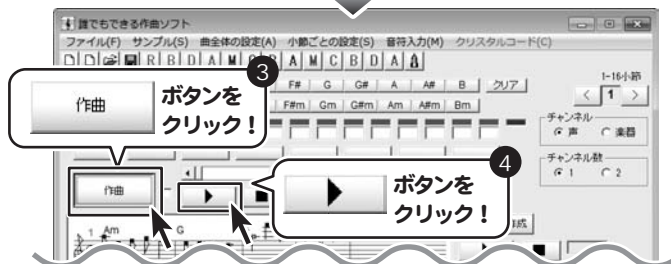
パワードラムで作られたドラムパターンが  
演奏されます。

さらに 作曲

ボタンをクリックして、

ボタンをクリックすると、

今回は、前回とは違うドラムパターンが  
演奏されます。





## その他の機能

### 3 ドラム以外の音を消します

ドラム音以外の音を消して、  
パワードラムの音を選択しやすくします。

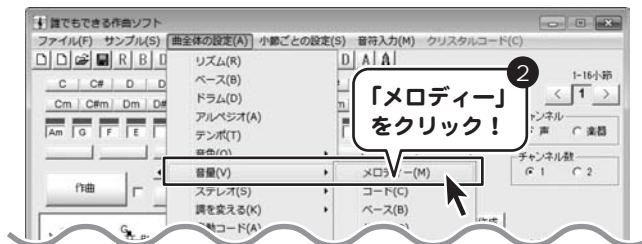
はじめに、アルペジオのチェックを外して、  
アルペジオの音を消します。



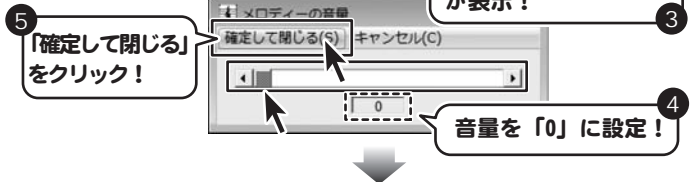
メロディーの音を消します。

メニュー → 「曲全体の設定」 → 「音量」 →  
「メロディー」をクリックします。

メロディーの音量画面が表示したら、  
音量調節バーを左に一番左までドラッグして、  
音量数値を「0」に設定します。  
メニュー → 「確定して閉じる」をクリックします。




メロディーの音量画面  
が表示!



同様に、コードとベースの音も消します。

メイン画面に戻りますので、

 ボタンをクリックして、

 ボタンをクリックすると、  
今回はドラムの音しか聞こえなくなります。





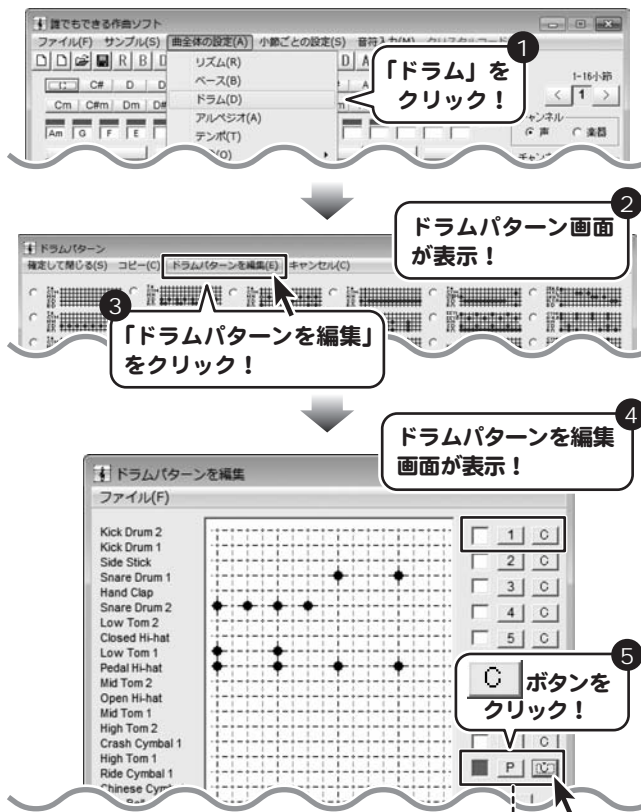
## その他の機能

### 4 気に入ったドラムパターンを保存します

メニュー → 「曲全体の設定」 → 「ドラム」  
をクリックして、ドラムパターン画面が  
表示されますので、  
メニュー → 「ドラムパターンを編集」を  
クリックして、ドラムパターンを編集画面を  
表示します。

まず、**P** ボタンをクリックすると、  
エディット画面にパワードラムの  
ドラムパターンが表示されます。  
次に、**C** ボタンをクリックすると、

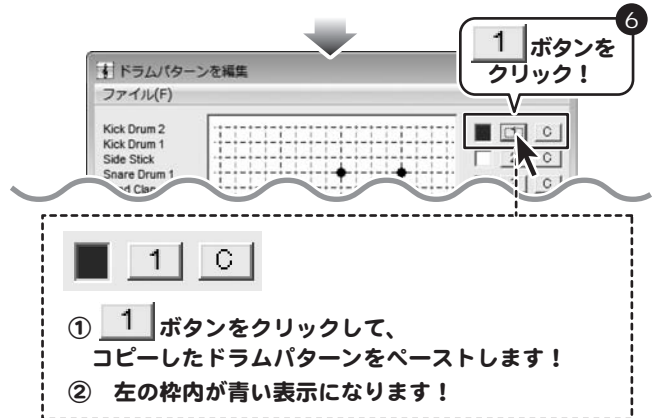
**P** ボタンの左の枠内が赤い表示に  
切り替わります。  
パワードラムのドラムパターンが  
コピーされます。



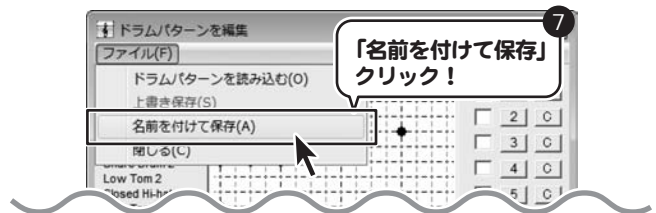
- ① **P** ボタンをクリックして編集モードにします！
- ② **C** ボタンをクリックしてコピーします！
- ③ 左の枠内が赤い表示になります！

## その他の機能

次に、**1** ボタンをクリックして、  
パワードラムのドラムパターンを、パターン1に  
ペーストされます。

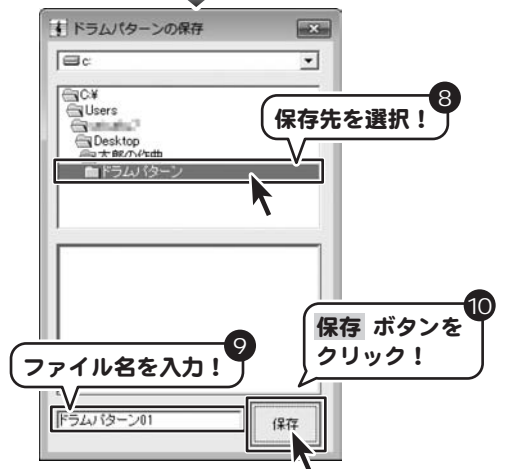


メニュー → 「ファイル」 → 「名前を付けて保存」  
をクリックして、ドラムパターンの保存画面を  
表示します。



88ページを参考に、任意の名前を付けて  
保存してください。

これで、新しい曲を作る場合などに、  
このドラムパターンを使うことができます。



## その他の機能

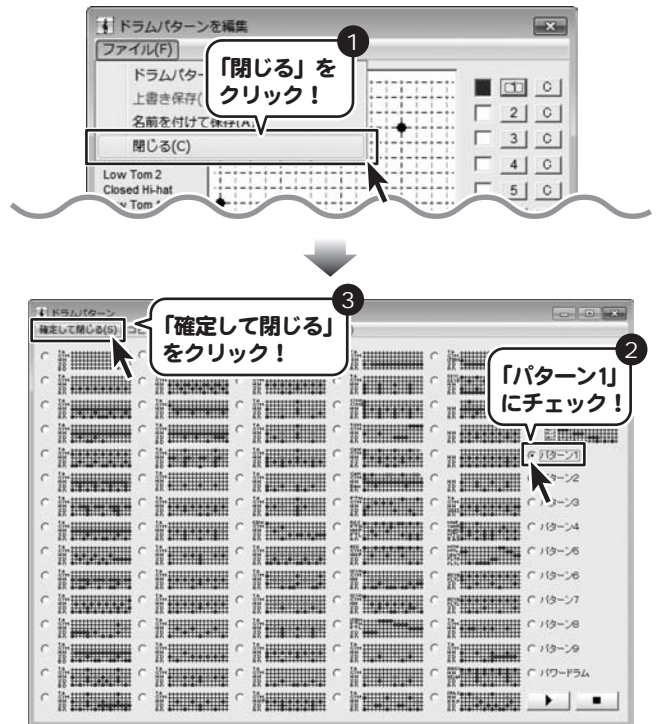
### 5 パワードラムを確定させる

メニュー → 「閉じる」をクリックして、  
ドラムパターンを編集画面を閉じます。

「ドラムパターン」画面で、  
「パターン1」にチェックを入れて、  
メニュー → 「閉じる」をクリックして、  
ドラムパターン画面を閉じます。

これでパワードラムで作ったドラムパターンが  
通常のドラムパターンとして演奏されます。

※「作曲」ボタンをクリックしても、  
前回のように入力したドラムパターンは変わりません。  
※ここでは、パワードラムで作った  
ドラムパターンを、パターン1に格納しましたが、  
パターン1～9まで自由に使用できます。



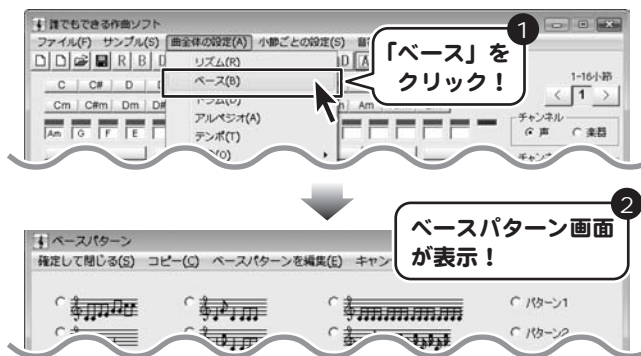
## その他の機能

パワーベースとは、複雑なベースパターンを自動的に作成する機能で、非常に強力なベースラインを作ります

### パワーベースを作成する

#### 1 ベースパターン画面を表示します

メニュー→「曲全体の設定」→「ベース」をクリックします。  
「ベースパターン」画面が表示されます。



#### 2 パワーベースを選択します

ベースパターン画面のオリジナルパターン一覧の中から、「パワーベース」にチェックを入れて、メニュー→「確定して閉じる」をクリックします。

メイン画面に戻りますので、

作曲

ボタンをクリックして、



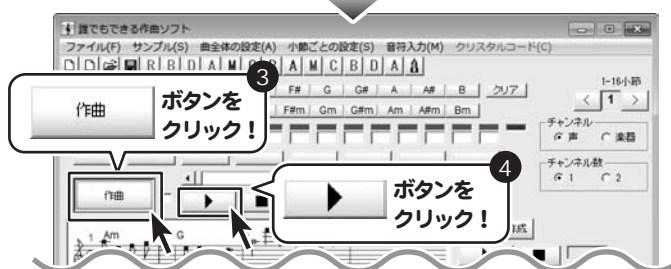
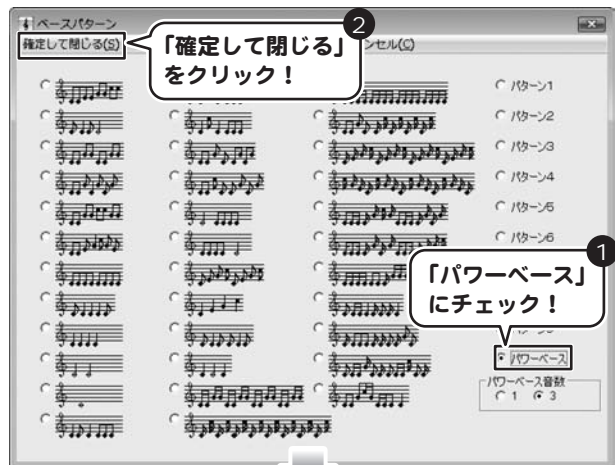
ボタンをクリックすると、  
パワーベースで作られたベースパターンが  
演奏されます。

さらに

作曲

ボタンをクリックして、

ボタンをクリックすると、  
今回は、前回とは違うベースパターンが  
演奏されます。

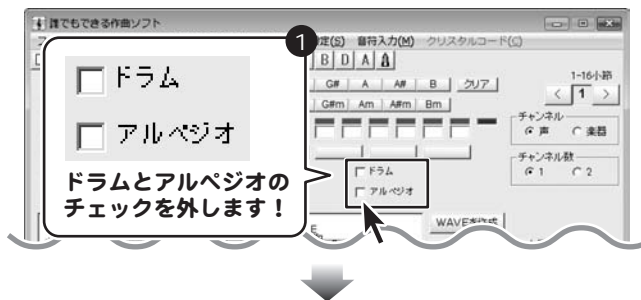


## その他の機能

### 3 ベース以外の音を消します

ベース音以外の音を消して、  
パワーベースの音を選択しやすくします。

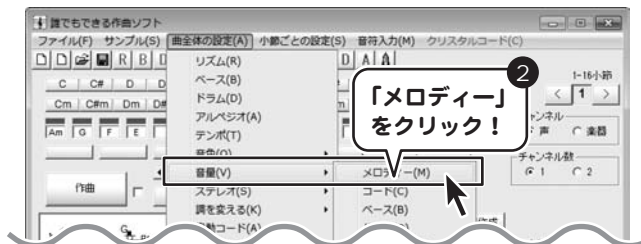
はじめに、ドラムとアルペジオのチェックを外して、  
ドラムとアルペジオの音を消します。



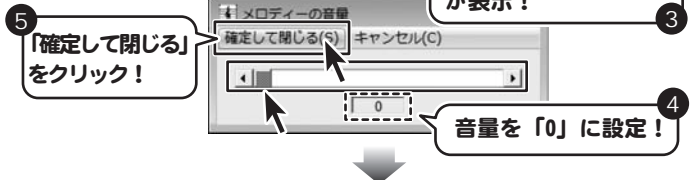
メロディーの音を消します。

メニュー → 「曲全体の設定」 → 「音量」 →  
「メロディー」をクリックします。

メロディーの音量画面が表示したら、  
音量調節バーを左に一番左までドラッグして、  
音量数値を「0」に設定します。  
メニュー → 「確定して閉じる」をクリックします。




メロディーの音量画面  
が表示!



同様に、コードの音も消します。

メイン画面に戻りますので、

 ボタンをクリックして、

 ボタンをクリックすると、  
今回はベースの音しか聞こえなくなります。



## その他の機能

### 4 気に入ったベースパターンを保存します

メニュー → 「曲全体の設定」 → 「ベース」をクリックして、ベースパターン画面が表示されますので、メニュー → 「ベースパターンを編集」をクリックして、ベースパターンを編集画面を表示します。

まず、**P** ボタンをクリックすると、エディット画面にパワーベースのベースパターンが表示されます。次に、**C** ボタンをクリックすると、

**P** ボタンの左の枠内が赤い表示に切り替わります。パワーベースのベースパターンがコピーされます。

1 「ベース」をクリック！

2 ベースパターン画面が表示！

3 「ベースパターンを編集」をクリック！

4 ベースパターンを編集画面が表示！

5 **C** ボタンをクリック！

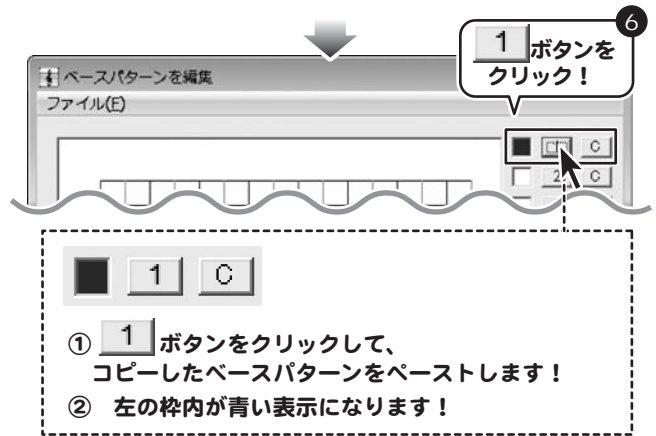
① **P** ボタンをクリックして編集モードにします！

② **C** ボタンをクリックしてコピーします！

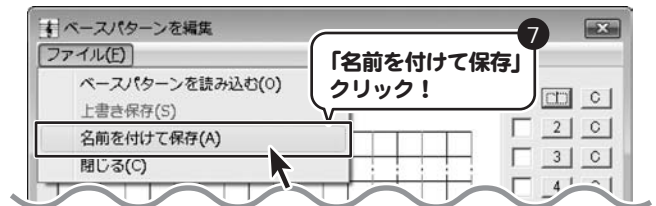
③ 左の枠内が赤い表示になります！

## その他の機能

次に、**1** ボタンをクリックして、パワーベースのベースパターンが、パターン1にペーストされます。



メニュー → 「ファイル」 → 「名前を付けて保存」をクリックして、ベースパターンの保存画面を表示します。



88ページを参考に、任意の名前を付けて保存してください。

これで、新しい曲を作る場合などに、このベースパターンを使うことができます。





## その他の機能

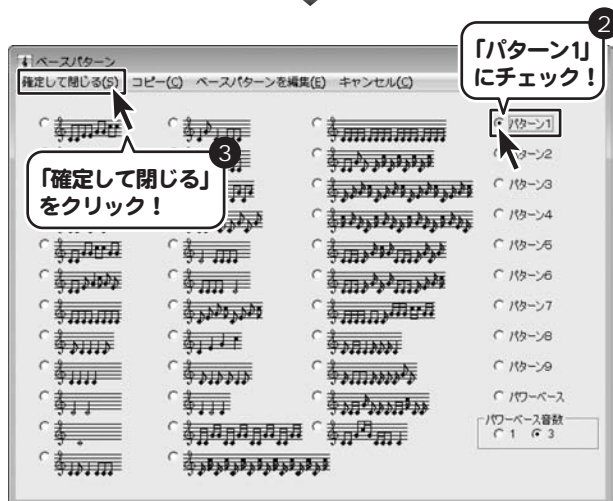
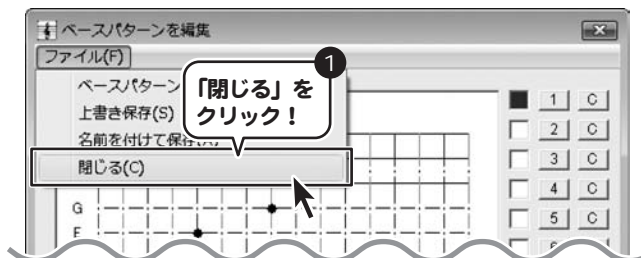
### 5 パワーベースを確定させる

メニュー → 「閉じる」をクリックして、ベースパターンを編集画面を閉じます。

「ベースパターン」画面で、「パターン1」にチェックを入れて、メニュー → 「閉じる」をクリックして、ベースパターン画面を閉じます。

これでパワーベースで作ったベースパターンが通常のベースパターンとして演奏されます。

※「作曲」ボタンをクリックしても、前回のようにベースパターンは変わりません。  
※ここでは、パワーベースで作ったベースパターンを、パターン1に格納しましたが、パターン1~9まで自由に使えます。





## その他の機能

歌詞を入力する方法は、「歌詞を一気に流し込む方法」と、「歌詞を音符に1つずつ付けていく方法」の2つの方法があります。ここでは「歌詞を音符に1つずつ付けていく方法」を説明します。

### 歌詞を入力する

#### 1 音符入力画面を表示します

メニューバー→音符入力をクリックして、音符入力画面を表示します。

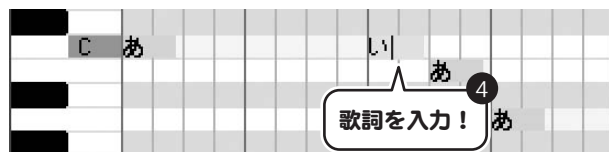
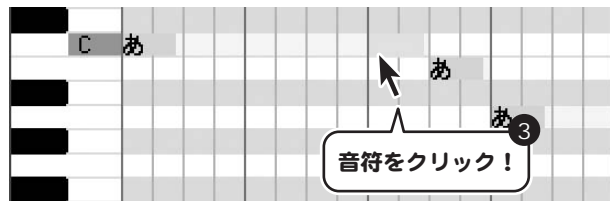


#### 1 音符に歌詞を入力します

音符入力画面が表示されましたら、編集にチェックが付いていることを確認し、歌詞を入力したい音符をダブルクリックします。音符の先頭部分が水色に変わりましたら、水色の部分をクリックして、歌詞を入力します。

入力が完了しましたら、空白部分をダブルクリックしますと、歌詞の入力を完了します。

続けて他の音符に歌詞を入力する際はダブルクリックは必要ありません。



## その他の機能



### 歌詞に使用可能な文字

歌詞として使用できるのは下記の文字です。(カタカナ、漢字、アルファベットは使えません。)  
下記の文字に「っ」を付けると、短く発音します。

あ	い	う	え	お	が	ぎ	ぐ	げ	ご
か	き	く	け	こ	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
さ	し	す	せ	そ	だ	でい	どう	で	ど
た	ち	つ	て	と	ば	び	ぶ	べ	ぼ
な	に	ぬ	ね	の	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
は	ひ	ふ	へ	ほ	きゃ	きゅ	きえ	きよ	
ま	み	む	め	も	しゃ	しゅ	しえ	しよ	
や	ゆ	い	え	よ	ちゃ	ちゅ	ちえ	ちよ	
ら	り	る	れ	ろ	にゃ	にゅ	にえ	によ	
わ	う	う	え	う	ひゃ	ひゅ	ひえ	ひよ	
ん					みゃ	みゅ	みえ	みよ	
					りゃ	りゅ	りえ	りよ	
					ぎゃ	ぎゅ	ぎえ	ぎよ	
					じゃ	じゅ	じえ	じよ	
					ぴゃ	ぴゅ	ぴえ	ぴよ	
					てい	とう			
					ふあ	ふい	ふえ	ふお	

## その他の機能

各音符には、声を調整するための制御コードが付いています。  
制御コードは「音符入力」画面で編集します。

### 声の調整をする

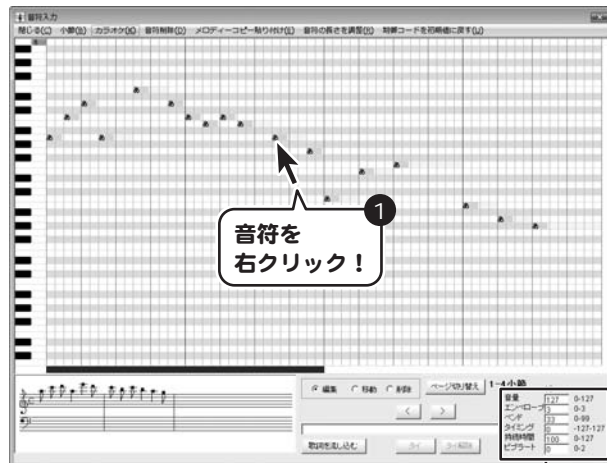
#### 1 音符入力画面を表示します

メニューバー→音符入力をクリックして、  
音符入力画面を表示します。



#### 2 音符入力画面を表示します

音符入力画面が表示されましたら、  
声を調整したい音符を右クリックしますと、  
右クリックした音符の現在の  
声の制御コードが表示されますので、  
各項目の数値を入力します。  
各項目については、35ページをご覧ください。



音量	127	0-127
エンベロープ	3	0-3
バンド	33	0-99
タイミング	0	-127-127
持続時間	100	0-127
ビブラート	0	0-2

各数値を  
入力!

## その他の機能

クリスタルコードは、曲に透明感のあるダイナミックなコード（和音）を付けることができる機能です。

### クリスタルコードを作成する

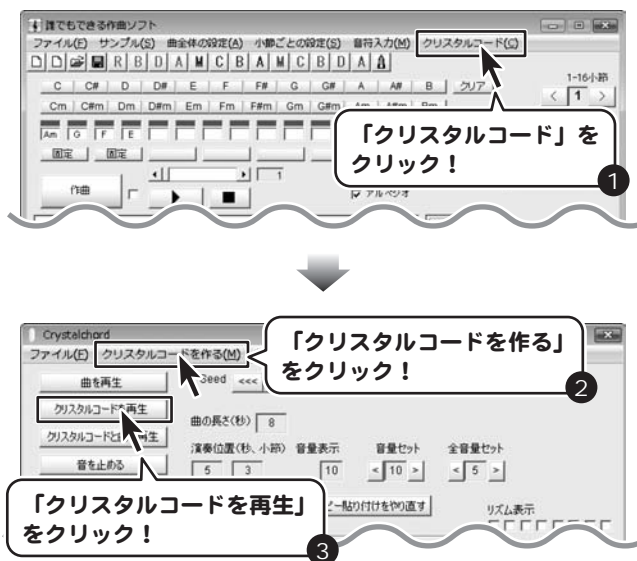
#### 1 WAVEを作成します

作曲ができましたら、メイン画面のWAVEを作成 ボタンをクリックしますと、WAVEが作成され、クリスタルコードが使用できるようになります。



#### 2 クリスタルコードを作ります

WAVEが作成できると、メニューの「クリスタルコード」が使用できるようになりますので、「クリスタルコード」をクリックします。クリスタルコード画面が表示されましたら、「クリスタルコードを作る」をクリックします。作成されたクリスタルコードはクリスタルコードを再生 ボタンをクリックすると再生されます。



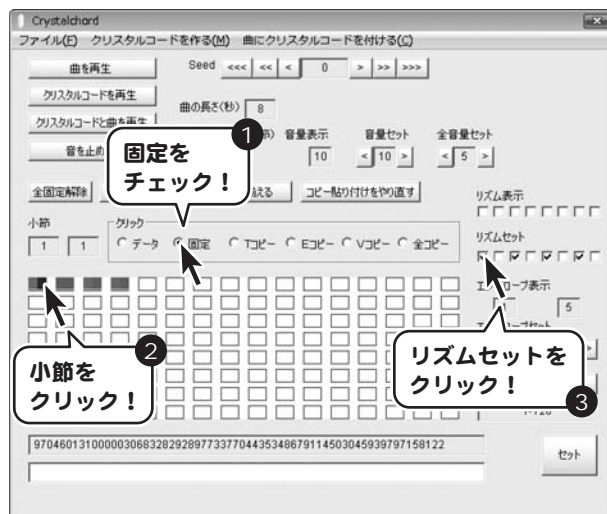
## その他の機能

### 3 クリスタルコードの設定をします

気に入った音色ができたなら、その小節の音色を固定します。クリック欄の固定をチェックして、音色を固定したい小節をクリックします。小節の右側の色が青に変わり、固定されます。

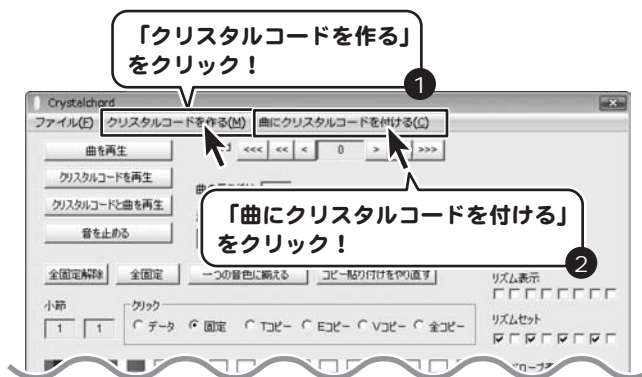
リズムを変えるには、リズムセットのチェックボックスをクリックしてチェックします。

設定が変更できたら、「クリスタルコードを作る」をクリックします。気に入ったクリスタルコードができたなら、「曲にクリスタルコードを付ける」をクリックして、画面を閉じます。



### 4 曲にクリスタルコードを付けます

設定が変更できたら、「クリスタルコードを作る」をクリックします。気に入ったクリスタルコードができたなら、「曲にクリスタルコードを付ける」をクリックして、画面を閉じます。



## その他の機能

本ソフトではメロディーとして「声」の他に、「楽器」を使うことができます。

### 「楽器」チャンネルを使う

#### 1 「楽器」チャンネルを表示します

メイン画面で、チャンネル数欄の2をクリックしてチェックし、チャンネル欄の楽器をクリックします。



#### 2 音符を入力します

「楽器」チャンネルが選択できましたら、メニュー→「音符入力」をクリックして、音符入力画面を表示し、38~42ページの手順と同様に音符を入力します。

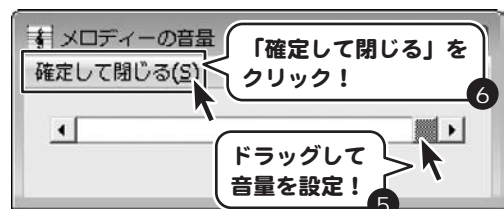
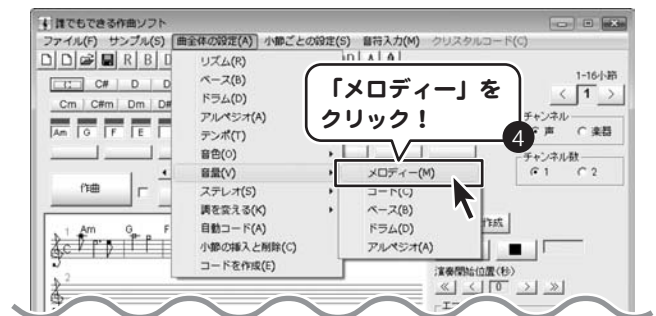
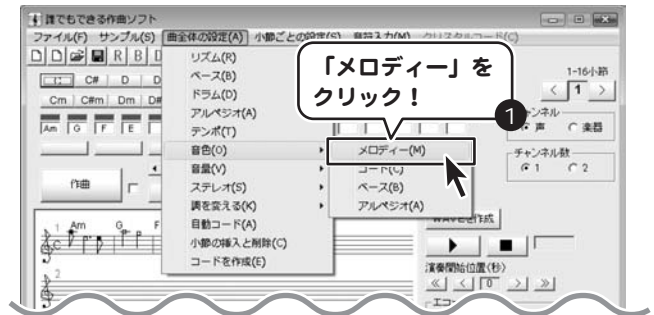


## その他の機能

### 3 「楽器」の音色と音量を設定

メニューから「曲全体の設定」→「音色」→「メロディー」をクリックします。  
メロディーの音色画面が表示されますので、「楽器」チャンネルで使用したい音色をチェックして、「確定して閉じる」をクリックします。

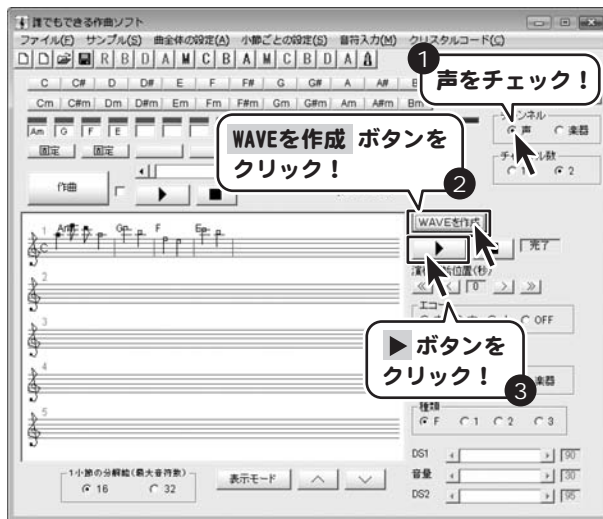
音量を設定するには、メニューから「曲全体の設定」→「音量」→「メロディー」をクリックします。  
メロディーの音量画面が表示されますので、つまみをドラッグして音量を設定し、「確定して閉じる」をクリックします。



## その他の機能

### 4 視聴します

音色と音量が設定できたら、チャンネル欄の「声」をチェックし、WAVEを作成 ボタンをクリックして、WAVEを作成し、▶ ボタンをクリックして曲を聴きます。





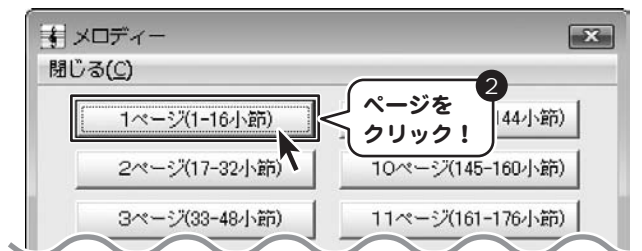
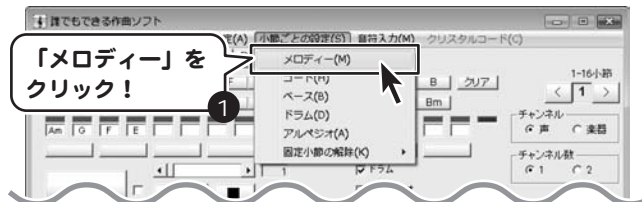
## その他の機能

連続した小節を、簡単に同じ音色にすることができます。

### 連続した小節の音色を変更する

#### 1 音色を変更する小節を選択します

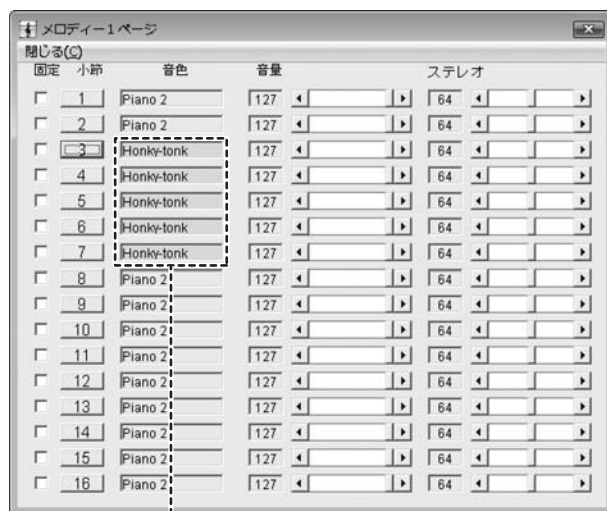
メニューから「小節ごとの設定」をクリックし、音色を変更したいパートを選択します。ここでは「メロディー」を選択します。メロディー画面が表示されましたら、変更する小節のあるページをクリックします。メロディーページ画面が表示されますので、音色を変更する最初の小節をクリックし、次に最後の小節をクリックします。音色を変更する小節の範囲を設定できたら、小節のボタンをクリックします。



## その他の機能

### 2 選択した小節の音色を変更する

メロディーの音色画面が表示されましたら、楽器をクリックして、「確定して閉じる」をクリックしますと、選択した小節の音色が変更されます。



楽器が変更されました！

## その他の機能

最初から登録されているコード以外のコードを使う場合、コードを自由に作成して、使うことができます。

### コードを作成する

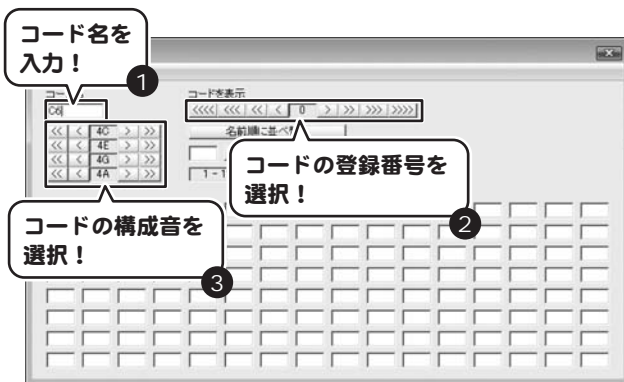
#### 1 コードを作成画面を表示します

メニューから「曲全体の設定」→「コードを作成」をクリックします。



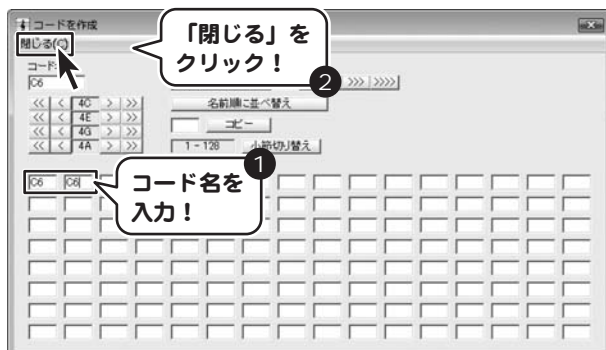
#### 2 コードを作成します

コードを作成画面が表示されました、コード名にコードの名前を入力します。ここではコード「C6」を作成します。名前を入力できたら、コードを表示欄で < > ボタンをクリックして、コードを登録する番号を選択します。コードの登録番号が選択できたら、コードの構成音を選択し、< > ボタンをクリックして選択します。今回は「4C」「4E」「4G」「4A」を選択します。



#### 3 小節にコードをセットします

コードが作成できました、コードを使用したい小節にコード名を入力し、「閉じる」をクリックすると、入力した小節にコードがセットされます。コードがセットされましたら、メイン画面に戻りますので、51ページと同様の手順で自動作曲を行うことができます。



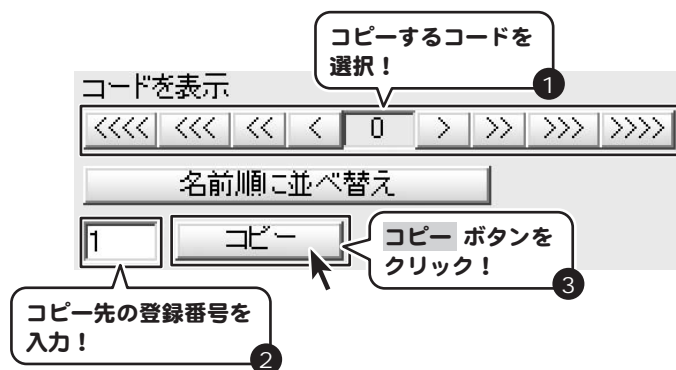
## その他の機能



### 作成したコードをコピーする

作成したコードを別のコード登録番号にコピーすることで、かんたんに似た構成音のコードを作成することができます。

コードを表示欄で<>ボタンをクリックして、コピーしたいコードを選択したら、コピー先の登録番号を入力して、コピーボタンをクリックしますと、表示されているコードが入力した登録番号にコピーされます。



## その他の機能

ディストーションは、「声」「コード」「楽器」に別々にかけることができ、また同時にかけることもできます。

### ディストーションを使用する

#### 1 ディストーションを選択します

メイン画面にて、ディストーションのチャンネル欄からディストーションをかけたいチャンネルを選択し、種類欄でディストーションの種類を選択します。ここでは、チャンネルは「コード」、種類は「1」を選択します。



#### 2 ディストーションの強さ、音量を設定します

かけるディストーションの選択ができましたら、DS1のつまみでディストーションの強さを、音量のつまみでディストーションの音量を、それぞれドラッグして設定します。

※種類で「2」を選択した場合は、DS2のつまみでディストーションの強さだけを設定することができます。また、「3」を選択した場合は、すべての設定をすることができます。



## その他の機能

### 3 WAVEを作成して試聴します

ディストーションの設定ができましたら、  
WAVEを作成 ボタンをクリックして、  
WAVEを作成し、  
▶ ボタンをクリックして、試聴します。



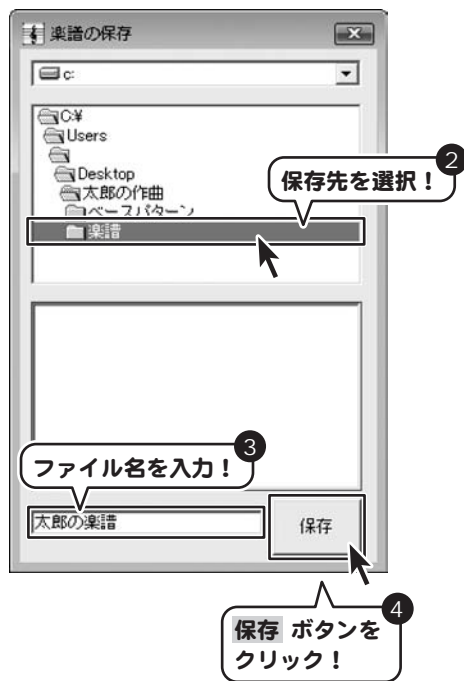
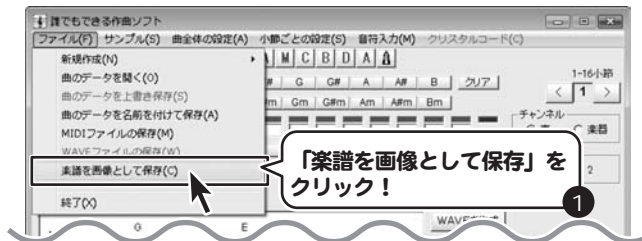
## その他の機能

楽譜を画像として保存することで、印刷をしたりすることができます。

### 楽譜を画像として保存する

#### 1 楽譜を画像として保存します

作曲ができましたら、メニューから、「ファイル」→「楽譜を画像として保存」をクリックします。  
楽譜の保存画面が表示されますので、保存先を選択し、ファイル名を入力して、保存 ボタンをクリックしますと、作曲した曲の楽譜が画像として保存されます。



## インストール・起動について

### Q：インストールができない

- A：以下の項目をご確認ください。
- ウイルス対策などのソフトが起動していないか。
  - HDD(ハードディスク)の空き容量は十分にあるか。
  - 管理者権限でログインしているか。
  - Windowsを最新の状態にアップデートしてあるか。

**Q：管理者権限を持っていないユーザーアカウントでパソコンを起動し、インストールしようとする  
「続行するには管理者アカウントのパスワードを入力して、[OK]をクリックしてください。」(Vista/7)  
「インストールプログラムにはディレクトリ〜にアクセスする権限がありません。インストールを継続できません。  
管理者としてログインするか、またはシステム 管理者にお問い合わせください。」(XP)と表示されてインストールが  
できません**

A：本ソフトをご利用の際には管理者権限を持ったユーザーアカウント上でご利用ください。

### Q：ソフトの起動ができません

- A：以下の項目をご確認ください。
- インストールは完了しているか。
  - 管理者権限でログインしているか。
  - 外付けの機器(ハードディスクやUSBメモリ等)にソフトをインストールしている場合、  
それらの機器がパソコンに接続され、パソコン上で認識されているか。

### Q：完全アンインストールの方法を教えてください。

A：OS毎に異なりますので以下の内容をご確認ください。

【Windows XPの場合】

1. 「アンインストール方法 (4ページ)」より、アンインストール作業を行います。
2. マイコンピュータ→Cドライブ→Documents and Settings→All Users→Application Data※→IRT→  
dare\_musicフォルダーを削除します。

【Windows Vista, 7の場合】

1. 「アンインストール方法 (4ページ)」より、アンインストール作業を行います。
2. コンピュータ→Cドライブ→Program Data※→IRT→dare\_musicフォルダーを削除します。

※初期設定では隠しフォルダーになっている為、表示されていない場合があります。  
画面に表示されていない場合は、「ツール」メニューから「フォルダオプション」→  
「表示」→「詳細設定」の中の「ファイルとフォルダの表示」を「すべてのファイルとフォルダを表示する」または  
「隠しファイル及び隠しフォルダを表示する」にチェックを入れて「OK」ボタンを  
クリックして頂きますようお願い致します。



## 操作について

**Q：数字や文字が入力できません 入力しているのに登録されない**

A：次の内容をご確認ください。

- ・入力する欄でカーソルが点滅しているか(例:名前を入力する場合は、名前欄の枠の中でカーソルが点滅)
- ・キーボードの設定(NumLockキーのオン/オフ等)
- ・入力した文字が確定された状態であるか(文字を入力したら、ENTERキーを押して確定してください)
- ・日付や数字を入力する際、半角で入力しているか
- ・漢字やひらがなを入力する際、全角で入力しているか

**Q：小節はいくつまで作成できますか。**

A：256小節まで作成できます。

**Q：歌詞にアルファベットを入れたい。**

A：歌詞はひらがなのみになります。

**Q：保存できる形式は？**

A：MIDI / WAVEです。

楽譜はBMPで保存できます。

**Q：小節ごとにコード数が異なるコード作成はできますか。**

A：小節ごとにコード数が異なるコード作成を行うことはできません。

**Q：コードを作成したい。**

A：「曲全体の設定」の「コードを作成」で作成できます。

作成できるコードの数は1,000個です。

詳細については取扱説明書110、111ページをご覧ください。

**Q：「作曲」ボタンを押しても自動作曲ができない。**

A：コードが固定になっている場合に、  
自動でメロディーが表示されません。

固定を外して「作曲」ボタンを押してください。

**Q：曲のデータを名前を付けて保存ができない。**

A：「作曲」ボタンを押してから保存してください。

**その他****Q：本ソフトを他のパソコンと同時に使うことはできるの？**

A：ネットワーク経由や、他のパソコンのデータとの同期はできません。  
本ソフトはインストールを行ったパソコン上でご使用ください。

**Q：新しいパソコンに買い換えただ、データを使うことはできるの？**

A：曲のデータを名前を付けて保存で保存したファイルは新しいパソコン(※)上でそのデータをご利用いただくことができます。  
※本ソフトの動作環境を満たしているパソコンが前提となります。

**Q：入力した文字が文字化けしてしまう**

A：ご利用パソコンの言語設定をご確認ください。また併せて日付の設定もご確認ください。

**Q：画面の端が切れて表示される**

A：【Windows XPの場合】

1. デスクトップ画面の何も無い所を右クリックします。
2. 「プロパティ」をクリックし、設定タブをクリックします。
3. 画面の解像度のバーを動かし、1024×768以上に設定します。
4. 「OK」をクリックすれば設定完了です。

【Windows Vistaの場合】

1. デスクトップ画面の何も無い所を右クリックします。
2. 「個人設定」をクリックし、画面の設定をクリックします。
3. 解像度を1024×768以上に設定し「OK」をクリックで設定完了です。

【Windows7の場合】

1. スタートメニューより「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「デスクトップのカスタマイズ」をクリックし、「画面の解像度の調整」をクリックします。
3. 解像度を1024×768以上に設定し「OK」をクリックで設定完了です。

※機種によっては推奨解像度が表示できないものもあります。

## Q：ボタンが見えなくなってしまう クリックしても反応しない

A：お使いのパソコンのDPI設定が標準以外(96DPI以外)に変更されている可能性があります。  
以下の手順にてDPI設定を変更してください。

【Windows XPの場合】

1. デスクトップ画面の何も無い所を右クリックします。
2. 「プロパティ」を左クリックし、「設定」タブをクリックします。
3. 「詳細設定」をクリックし、「全般」タブの「DPI設定」を「96DPI」に設定します。
4. 「OK」をクリックし、パソコンを再起動すれば設定完了です。

【Windows Vistaの場合】

1. デスクトップ画面の何も無い所を右クリックします。
2. 「個人設定」を左クリックし、「フォントサイズ(DPI)の調整」をクリックします。
3. 「あなたの許可が必要です」と許可を求められますので「続行」をクリックします。
4. 「規定のスケール(96DPI)」にチェックを付け、「OK」をクリックします。
5. パソコンが自動的に再起動されますので、再起動したら設定完了です。

【Windows 7の場合】

1. スタートメニューより「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「デスクトップのカスタマイズ」をクリックし、「テキストやその他の項目の大きさを変更します」をクリックします。
3. 小-100%(規定)にチェックを入れ「適用」をクリックします。
4. 「これらの変更を適用するには、コンピューターからログオフする必要があります。」と確認を求められますので、「今すぐログオフ」をクリックします。
5. パソコンからログオフされますので、再度ログインすると設定完了です。

---

## Q：「2011 \*\*\*\*」は日付ではありません…というエラーメッセージが表示される

A：Windowsの日付形式の設定が標準のもの以外になっているとアプリケーションソフトが正常に動作(表示等)がされない場合があります。

以下の手順で設定をご確認の上、標準の設定にて本ソフトをご使用ください。

【Windows Vistaの場合】

1. 本ソフトを含め、起動している全てのソフトを終了させます。
2. スタートメニューより「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「時計・言語・および地域」→「地域と言語のオプション」をクリックします。
4. 「形式」を選択して、「日本語」に設定されていることを確認後、「この形式のカスタマイズ」をクリックします。
5. 「日付」をクリックして、表示されている設定項目を以下の通りに変更します。  
「データ形式」 短い形式(S) yyyy/MM/dd  
長い形式(L) yyyy'年'M'月'd'日'  
「カレンダーの種類」 西暦(日本語)
6. 「適用」→「OK」の順にクリックし、パソコンを再起動させます。

Windows OSやパソコン本体・プリンターなどの周辺機器に関する詳細は、各メーカー様へお問い合わせください。  
弊社では一切の責任を負いかねます。

# ユーザーサポート

本ソフトに関する、ご質問・ご不明な点などございましたら、パソコンの状況など具体例を参考に出来るだけ詳しく書いていただき、メール・電話・FAX等でユーザーサポートまでご連絡ください。

○ソフトのタイトル・バージョン

例:「誰でもできる作曲ソフト」

○ソフトのシリアルナンバー

本書の表紙に貼付されています。

○ソフトをお使いになられているパソコンの環境

・OS及びバージョン

例:Windows 7

WindowsUpdateでの最終更新日〇〇年〇月〇日

・ブラウザのバージョン

例:InternetExplorer 8

・パソコンの仕様

例:SONY Vaio XXXX-XXX-XX

PentiumIII 1GHz HDD 60GB Memory 512MB

・プリンターなど接続機器の詳細

例:プリンター EPSONのXXXX(型番)を直接ケーブルで接続している  
インクジェットプリンター、ドライバーソフトは更新済み

○お問合せ内容

例:~の操作を行ったら、~というメッセージがでてソフトが動かなくなった  
□□□部分の操作について教えてほしい…etc

○お名前

○ご連絡先など

■ご注意

※お客様より頂いたお問合せに返信できない現象が多発しております。

FAX及びe-mailでのお問合せの際には、ご連絡先を正確に明記の上、サポートまでお送りくださいますよう宜しくお願い申し上げます。

また、お問い合わせいただく前に、プリンター等の設定などを今一度ご確認ください。

時間帯等によっては、混雑等により一時的に電話が繋がりにくい場合があります。

その際はお手数ですが、時間をずらしておかけ直してください。



ご質問・ご不明な点がございましたら、サポート専用番号へご連絡ください。  
コンピューターのスペックや周辺機器などの状況を詳しくお調べのうえお伝えください。

TEL 048-640-2582 FAX 048-640-2582  
E-mail [info@irtnet.jp](mailto:info@irtnet.jp) URL <http://irtnet.jp/>

受付時間 平日AM10:00~PM5:30  
土、日、祭日を除く